

健診検査データ資料作成にあたり

当法人は、出雲圏域を中心とする住民の皆さんの健康診断と地域医療機関等への診療支援のための臨床検査の実施、そして、その実施状況データの地域社会への還元という役割を担っています。

その役割に沿って当センターの各種健診事業及び臨床検査事業の実施状況をまとめたものがこのデータ集です。我が国では、公益社団法人日本人間ドック学会から毎年、ドックの各種検査値が公表されていますが、当センターもそれに倣い、より具体的な数値に基づいて年次別推移等を取りまとめました。

これらの各種データが医療機関、またそれに関連した方々に多少なりとも参考になれば幸いです。

なお、このデータ集における検査・健診結果の判定基準は、当法人の判定規程による基準を使用しております。また、参考資料として人間ドック学会が公表している全国集計結果を当法人にてグラフ等に加工し、掲載させていただきました。

最後にご支援をいただきました医療機関等の方々へ深く感謝申し上げます。

平成29年6月

公益財団法人
ヘルスサイエンスセンター島根
研究局次長 武田 勇（医師）

当法人は、これまで出雲圏域を中心とする住民の皆さんを対象とした健康診断などの事業を行って参りました。平成24年4月1日をもって、公益財団法人へ移行いたしました。これまで以上に健康増進に関する情報発信や啓発活動に努め、公益法人としての公益的役割をより高めて参りたいと考えております。

その目的に沿って、当センターの各種健診事業の実施状況をまとめたものがこのデータ集です。直近の5～7年間のデータをもとに経年的に取りまとめをさせていただきましたが、公益社団法人日本人間ドック学会から公表されている全国のデータと比較すると、出雲圏域としての動向や特徴が垣間見られる様なデータも散見されます。

これらのデータが、地域の住民の皆様にも多少なりとも参考になれば幸いです。

最後にご支援をいただきました島根県の担当部局や地域医療機関等の方々へ深く感謝申し上げます。

平成29年6月

公益財団法人
ヘルスサイエンスセンター島根
研究局次長 村田 幸治（医師）

I 各種健診・ドック・がん検診等の実施状況（出雲圏域中心）

1. 各種別受診者数（過去7年間の実績）

（単位：人）

区分	年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
1. 生活習慣病予防健診 （協会けんぽ）		3,994	4,418	4,511	4,536	4,758	5,018	5,165
2. 事業所 健診	基本健診 （Aコース）	2,184	2,193	1,392	1,370	1,511	1,581	2,342
	基本健診 （Bコース）			397	390	434	492	563
	一般健診	215	218	217	401	441	414	410
	勤労者健診	381	350	375	536	400	398	基本健診 Aコースに含む
3. 特定健康診査		142	116	161	198	218	234	249
4. 特定保健指導		93	125	114	109	164	147	229
5. 人間ドック		1,926	1,970	2,173	2,204	2,224	2,221	2,086
6. 脳ドック		174	149	121	203	208	193	212
7. 全身ドック		32	47	54	54	49	35	52
8. アンチエイジング脳ドック		48	37	31	23	11	12	13
9. 骨と血管ドック		25	66	55	37	26	6	5
10. 乳がん検診 *1)		887	1,021	728	899	934	576	652
11. 労災二次健診		81	109	91	80	88	89	84
12. MRI検査		2,920	3,037	2,839	2,932	3,223	3,326	3,777
合 計		13,102	13,856	13,259	13,972	14,689	14,742	15,842

*1) 市町村からの委託分のみの件数である。

①過去7年間（2009年～2015年）の各種健診・ドック・がん検診等の推移については、

- 生活習慣病予防健診（協会けんぽ）、事業所健診、人間ドック、全身ドック、労災二次健診については、地域での健康意識や予防医学的な面からの医療ニーズの高まりなどを反映して、受診者数は経年的には横ばいまたは増加傾向にある。
- 脳ドックについては、受診者数の減少を認めた時期もあったが、近年では増加傾向に転じている。当初は、「脳血管疾患（脳卒中など）の発見や発症・進行予防」を主な目的としていた脳ドックに対して、地域での認知症に対する関心の高まりなどを受けて、新たな医療ニーズが出てきている可能性が考えられる。
- 2008年度から新たに国の制度として開始された特定健康診査・特定保健指導については、受診者数が経年的に増加傾向にあり、国の新たな制度が地域社会に確実に浸透しつつある状況が窺える。
- アンチエイジング脳ドック・骨と血管ドックについては、近年受診者数は減少傾向にあるが、当法人としての「新たな健診メニューの開発」という立場から島根大学と共同した医学研究事業として実施しているという側面もあり、当法人の公益性という点を視野に入れながら、今後の動向については注視していくこととしている。

・乳がん検診については、近年受診者数（市町村からの受託件数）が減少傾向にあるが、地域から「女性技師による検査を希望する」などの新たなニーズが出てきていることが一因となっている可能性が考えられる。近年では都市部などで「女性技師による乳がん検診」の実施施設であることを特徴に掲げている健診センター等も散見されるようになってきており、地域のがん対策における当法人の公益性という点を視野に入れながら、今後の動向については注視していくこととしている。

②MRI検査については、受診者数の減少を認めた時期もあったが、県が定める県内の医療圏域単位でみた場合に、近年、出雲圏域内における各医療機関において高度な医療機器の整備が着実に進みつつある状況などを反映し、受診者の受診先医療機関が分散してきていることも一因となっていたと考えられる。2015年9月には、地域医療への質的貢献を高めていく立場から当センターのMRIを最新型の機器に更新し、MRIによる診断機能の向上を図ったところであり、今後の動向については注視していくこととしている。

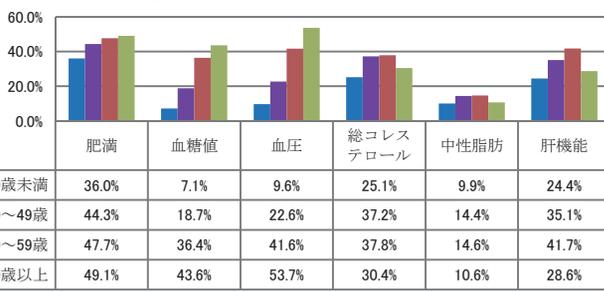
2. 生活習慣病主要6項目診査における結果状況

～2015年度結果～

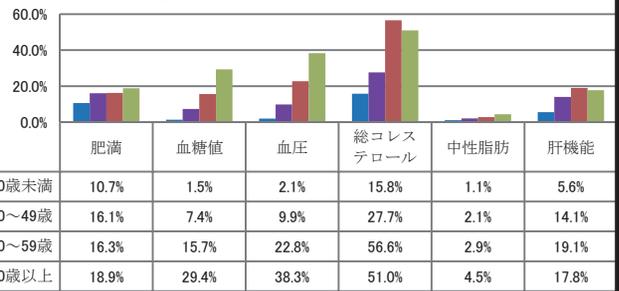
以下のデータは、2015年度に当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果から肥満をはじめ主要6項目について当法人判定基準に基づいて集計したものである。

年齢	判定	① 肥満			② 血糖値			③ 血圧			④ 総コレステロール			⑤ 中性脂肪			⑥ 肝機能		
		男	女	男女	男	女	男女	男	女	男女	男	女	男女	男	女	男女	男	女	男女
39歳以下	異常なし	1,114	876	1,990	1,205	1,156	2,361	1,571	1,238	2,809	1,201	952	2,153	1,286	1,100	2,386	1,028	1,043	2,071
	軽度異常	1	3	4	423	119	542	5	26	31				164	27	191	196	34	230
	経過観察	628	411	1,039	95	12	107	128	18	146	296	107	403	75	6	81	196	52	248
	要治療							5		5									
	要精査		1	1	17	5	22	16	3	19	107	72	179	85	7	92	200	12	212
	治療継続				12	2	14	18	6	24									
	計	1,743	1,291	3,034	1,752	1,294	3,046	1,743	1,291	3,034	1,604	1,131	2,735	1,610	1,140	2,750	1,620	1,141	2,761
40歳～49歳	異常なし	899	871	1,770	724	898	1,622	1,245	1,112	2,357	1,006	904	1,910	1,185	1,197	2,382	764	1,013	1,777
	軽度異常	1	1	2	590	277	867	6	30	36				198	44	242	288	67	355
	経過観察	717	394	1,111	212	68	280	159	62	221	453	283	736	93	13	106	331	139	470
	要治療				2	1	3	6	3	9									
	要精査		1	1	58	12	70	52	8	60	142	63	205	139	14	153	234	37	271
	治療継続				31	13	44	149	52	201							3	1	4
	計	1,617	1,267	2,884	1,617	1,269	2,886	1,617	1,267	2,884	1,601	1,250	2,851	1,615	1,268	2,883	1,620	1,257	2,877
50歳～59歳	異常なし	834	912	1,746	426	646	1,072	927	964	1,891	990	545	1,535	1,151	1,167	2,318	653	921	1,574
	軽度異常				589	428	1,017	4	19	23				217	72	289	265	102	367
	経過観察	761	360	1,121	360	146	506	235	111	346	476	537	1,013	90	28	118	461	191	652
	要治療				5	3	8	6	1	7						1		1	
	要精査		1	1	114	30	144	50	12	62	126	174	300	143	9	152	192	49	241
	治療継続				101	21	122	373	166	539						3	1	4	
	計	1,595	1,273	2,868	1,595	1,274	2,869	1,595	1,273	2,868	1,592	1,256	2,848	1,601	1,276	2,877	1,575	1,264	2,839
60歳以上	異常なし	569	475	1,044	260	245	505	513	412	925	778	327	1,105	897	632	1,529	592	477	1,069
	軽度異常				370	234	604	5	6	11				144	51	195	190	69	259
	経過観察	549	203	752	257	142	399	131	66	197	263	239	502	59	18	77	217	100	317
	要治療				3		3	2		2									
	要精査				100	26	126	30	9	39	77	101	178	64	14	78	94	17	111
	治療継続				127	31	158	437	185	622						3	1	4	
	計	1,118	678	1,796	1,117	678	1,795	1,118	678	1,796	1,118	667	1,785	1,164	715	1,879	1,096	664	1,760
39歳以下	受診者数	1,743	1,291	3,034	1,752	1,294	3,046	1,743	1,291	3,034	1,604	1,131	2,735	1,610	1,140	2,750	1,620	1,141	2,761
	有所見者数	628	412	1,040	124	19	143	167	27	194	403	179	582	160	13	173	396	64	460
	有所見率	36.0%	31.9%	34.3%	7.1%	1.5%	4.7%	9.6%	2.1%	6.4%	25.1%	15.8%	21.3%	9.9%	1.1%	6.3%	24.4%	5.6%	16.7%
40歳～49歳	受診者数	1,617	1,267	2,884	1,617	1,269	2,886	1,617	1,267	2,884	1,601	1,250	2,851	1,615	1,268	2,883	1,620	1,257	2,877
	有所見者数	717	395	1,112	303	94	397	366	125	491	595	346	941	232	27	259	568	177	745
	有所見率	44.3%	31.2%	38.6%	18.7%	7.4%	13.8%	22.6%	9.9%	17.0%	37.2%	27.7%	33.0%	14.4%	2.1%	9.0%	35.1%	14.1%	25.9%
50歳～59歳	受診者数	1,595	1,273	2,868	1,595	1,274	2,869	1,595	1,273	2,868	1,592	1,256	2,848	1,601	1,276	2,877	1,575	1,264	2,839
	有所見者数	761	361	1,122	580	200	780	664	290	954	602	711	1,313	233	37	270	657	241	898
	有所見率	47.7%	28.4%	39.1%	36.4%	15.7%	27.2%	41.6%	22.8%	33.3%	37.8%	56.6%	46.1%	14.6%	2.9%	9.4%	41.7%	19.1%	31.6%
60歳以上	受診者数	1,118	678	1,796	1,117	678	1,795	1,118	678	1,796	1,118	667	1,785	1,164	715	1,879	1,096	664	1,760
	有所見者数	549	203	752	487	199	686	600	260	860	340	340	680	123	32	155	314	118	432
	有所見率	49.1%	29.9%	41.9%	43.6%	29.4%	38.2%	53.7%	38.3%	47.9%	30.4%	51.0%	38.1%	10.6%	4.5%	8.2%	28.6%	17.8%	24.5%
合計	受診者数	6,073	4,509	10,582	6,081	4,515	10,596	6,073	4,509	10,582	5,915	4,304	10,219	5,990	4,399	10,389	5,911	4,326	10,237
	有所見者数	2,655	1,371	4,026	1,494	512	2,006	1,797	702	2,499	1,940	1,576	3,516	748	109	857	1,935	600	2,535
	有所見率	43.7%	30.4%	38.0%	24.6%	11.3%	18.9%	29.6%	15.6%	23.6%	32.8%	36.6%	34.4%	12.5%	2.5%	8.2%	32.7%	13.9%	24.8%
全国	有所見率	35.4%	22.9%	30.4%	28.9%	18.5%	24.7%	28.9%	16.7%	24.0%	34.1%	32.4%	33.4%	17.7%	7.6%	13.6%	40.2%	22.8%	33.2%

生活習慣病主要6項目(男 有所見者率)



生活習慣病主要6項目(女 有所見者率)



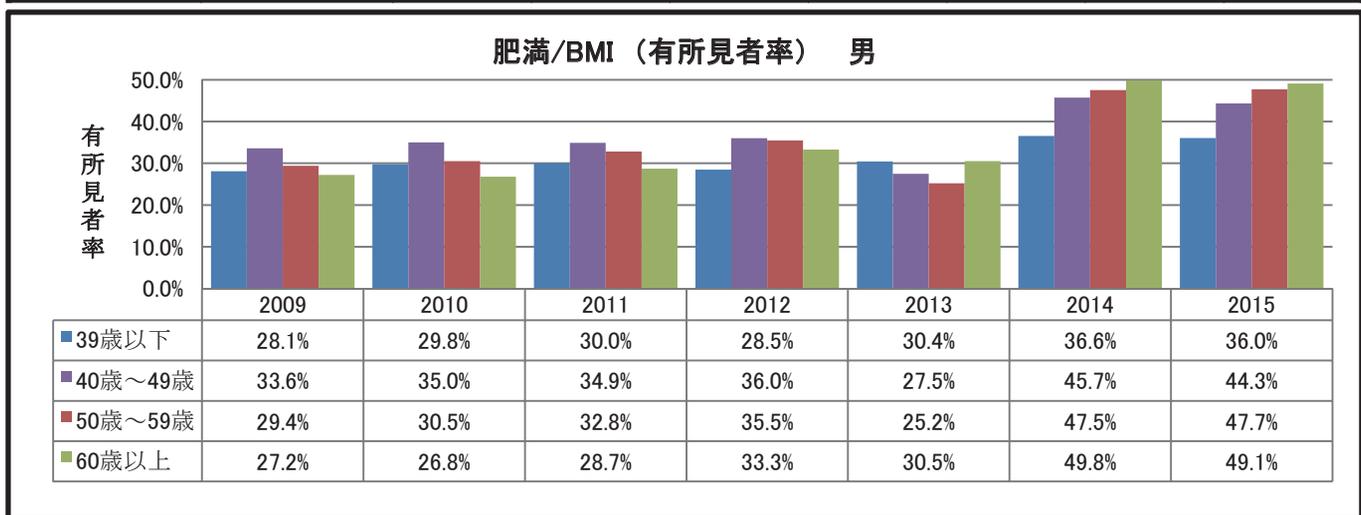
注) 有所見者とは、経過観察(経過を見ていく必要ありと判断された者)、要治療(治療を要すると判断された者)、要精査(精密検査を必要とすると判断された者)、治療継続(現在、治療をされている者)に該当する者をいう。なお、上表の全国欄の有所見率は日本人間ドック学会の2015年度の全国集計結果の数値である。

① 肥満/BMI（有所見者数・率） ～過去7年間の推移～

男

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	1,010	969	1,025	1,087	790	1,070	1,114
	軽度異常	137	139	97	110	38	1	1
	経過観察	448	468	480	476	361	617	628
	要治療							
	要精査		2	1	1	1		
	治療継続							
	計	1,595	1,578	1,603	1,674	1,190	1,688	1,743
40歳～49歳	異常なし	625	642	682	715	786	815	899
	軽度異常	201	194	194	167	19		1
	経過観察	418	450	470	496	304	687	717
	要治療							
	要精査							
	治療継続					1		
	計	1,244	1,286	1,346	1,378	1,110	1,502	1,617
50歳～59歳	異常なし	691	697	695	730	893	801	834
	軽度異常	282	289	279	259	21	1	
	経過観察	406	433	475	544	308	726	761
	要治療							
	要精査							
	治療継続							
	計	1,379	1,419	1,449	1,533	1,222	1,528	1,595
60歳以上	異常なし	413	464	478	465	405	549	569
	軽度異常	196	215	198	179	5		
	経過観察	228	248	272	321	180	545	549
	要治療							
	要精査							
	治療継続							
	計	837	927	948	965	590	1094	1118
39歳以下	受診者数	1,595	1,578	1,603	1,674	1,190	1,688	1,743
	有所見者数	448	470	481	477	362	617	628
	有所見率	28.1%	29.8%	30.0%	28.5%	30.4%	36.6%	36.0%
40歳～49歳	受診者数	1,244	1,286	1,346	1,378	1,110	1,502	1,617
	有所見者数	418	450	470	496	305	687	717
	有所見率	33.6%	35.0%	34.9%	36.0%	27.5%	45.7%	44.3%
50歳～59歳	受診者数	1,379	1,419	1,449	1,533	1,222	1,528	1,595
	有所見者数	406	433	475	544	308	726	761
	有所見率	29.4%	30.5%	32.8%	35.5%	25.2%	47.5%	47.7%
60歳以上	受診者数	837	927	948	965	590	1094	1118
	有所見者数	228	248	272	321	180	545	549
	有所見率	27.2%	26.8%	28.7%	33.3%	30.5%	49.8%	49.1%
合計	受診者数	5,055	5,210	5,346	5,550	4,112	5,812	6,073
	有所見者数	1,500	1,601	1,698	1,838	1,155	2,575	2,655
	有所見率	29.7%	30.7%	31.8%	33.1%	28.1%	44.3%	43.7%



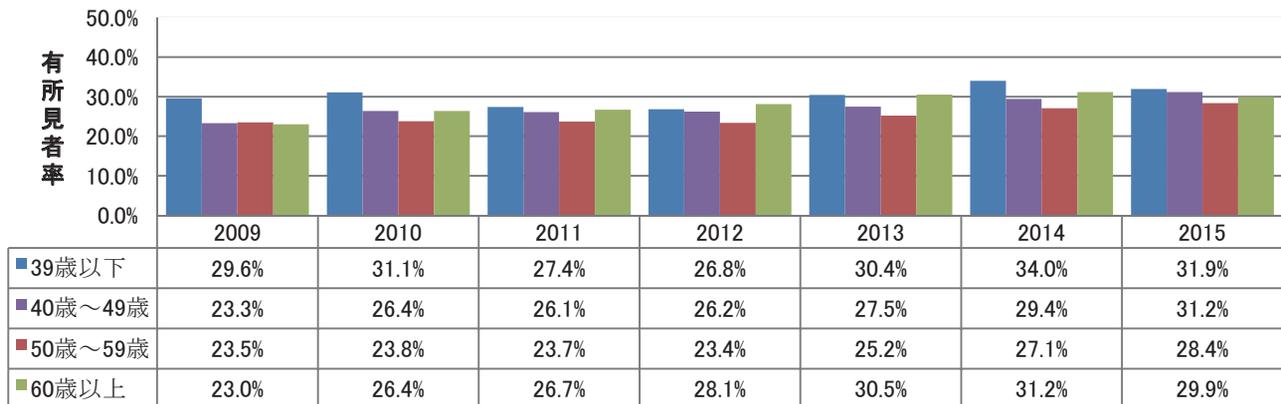
(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	718	682	795	789	790	807	876
	軽度異常	28	28	37	48	38		3
	経過観察	314	321	314	306	361	416	411
	要治療							
	要精査				1	1		1
	治療継続							
	計	1,060	1,031	1,146	1,144	1,190	1,223	1,291
40歳～49歳	異常なし	748	814	797	770	786	857	871
	軽度異常	24	18	23	30	19		1
	経過観察	234	298	290	284	304	357	394
	要治療							
	要精査							
	治療継続					1		
	計	1,006	1,130	1,110	1,084	1,110	1,214	1,267
50歳～59歳	異常なし	725	799	807	880	893	868	912
	軽度異常	37	32	35	34	21		
	経過観察	233	260	262	279	308	322	360
	要治療	1						
	要精査							
	治療継続							
	計	996	1,091	1,104	1,193	1,222	1,190	1,273
60歳以上	異常なし	284	336	347	373	405	426	475
	軽度異常	24	24	20	26	5		
	経過観察	92	129	134	156	180	193	203
	要治療							
	要精査							
	治療継続							
	計	400	489	501	555	590	619	678
39歳以下	受診者数	1,060	1,031	1,146	1,144	1,190	1,223	1,291
	有所見者数	314	321	314	307	362	416	412
	有所見率	29.6%	31.1%	27.4%	26.8%	30.4%	34.0%	31.9%
40歳～49歳	受診者数	1,006	1,130	1,110	1,084	1,110	1,214	1,267
	有所見者数	234	298	290	284	305	357	395
	有所見率	23.3%	26.4%	26.1%	26.2%	27.5%	29.4%	31.2%
50歳～59歳	受診者数	996	1,091	1,104	1,193	1,222	1,190	1,273
	有所見者数	234	260	262	279	308	322	361
	有所見率	23.5%	23.8%	23.7%	23.4%	25.2%	27.1%	28.4%
60歳以上	受診者数	400	489	501	555	590	619	678
	有所見者数	92	129	134	156	180	193	203
	有所見率	23.0%	26.4%	26.7%	28.1%	30.5%	31.2%	29.9%
合計	受診者数	3,462	3,741	3,861	3,976	4,112	4,246	4,509
	有所見者数	874	1,008	1,000	1,026	1,155	1,288	1,371
	有所見率	25.2%	26.9%	25.9%	25.8%	28.1%	30.3%	30.4%

肥満/BMI（有所見者率） 女

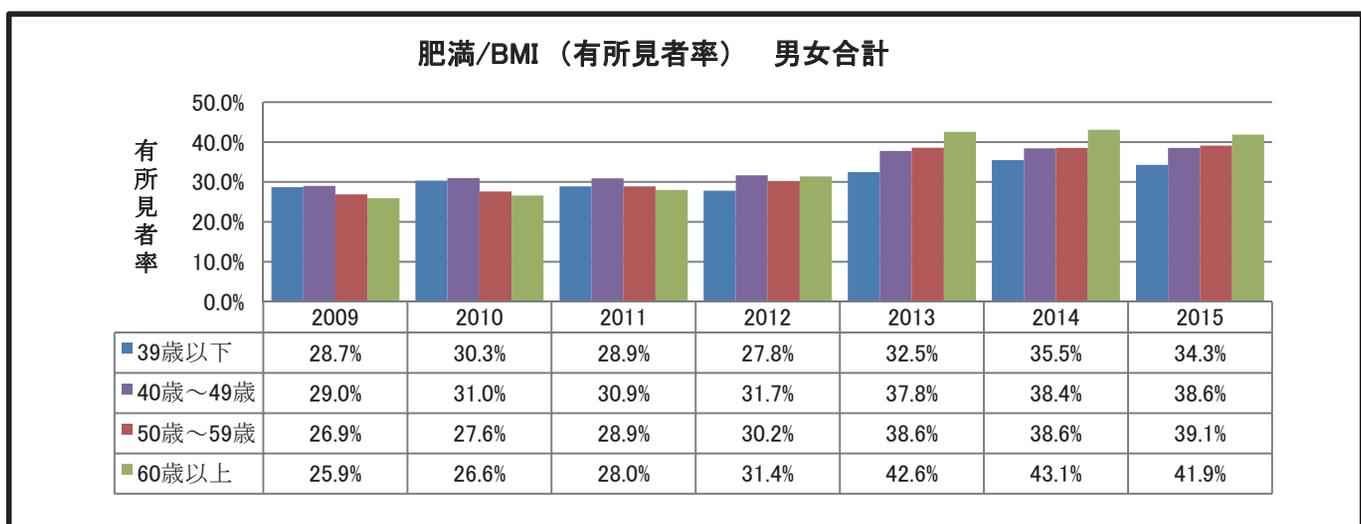


(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。
 なお、2005年、2006年は1（異常なし）と3（経過観察）だけの判定となっている。

男女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	受診者数	2,655	2,609	2,749	2,818	2,921	2,911	3,034
	有所見者数	762	791	795	784	948	1,033	1,040
	有所見率	28.7%	30.3%	28.9%	27.8%	32.5%	35.5%	34.3%
40歳～49歳	受診者数	2,250	2,416	2,456	2,462	2,543	2,716	2,884
	有所見者数	652	748	760	780	961	1,044	1,112
	有所見率	29.0%	31.0%	30.9%	31.7%	37.8%	38.4%	38.6%
50歳～59歳	受診者数	2,375	2,510	2,553	2,726	2,706	2,718	2,868
	有所見者数	640	693	737	823	1,044	1,048	1,122
	有所見率	26.9%	27.6%	28.9%	30.2%	38.6%	38.6%	39.1%
60歳以上	受診者数	1,237	1,416	1,449	1,520	1,618	1,713	1,796
	有所見者数	320	377	406	477	689	738	752
	有所見率	25.9%	26.6%	28.0%	31.4%	42.6%	43.1%	41.9%
合計	受診者数	8,517	8,951	9,207	9,526	9,788	10,058	10,582
	有所見者数	2,374	2,609	2,698	2,864	3,642	3,863	4,026
	有所見率	27.9%	29.1%	29.3%	30.1%	37.2%	38.4%	38.0%



(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

肥満/BMI（有所見者数・率）について、過去7年間（2009年～2015年）の推移を見ると、

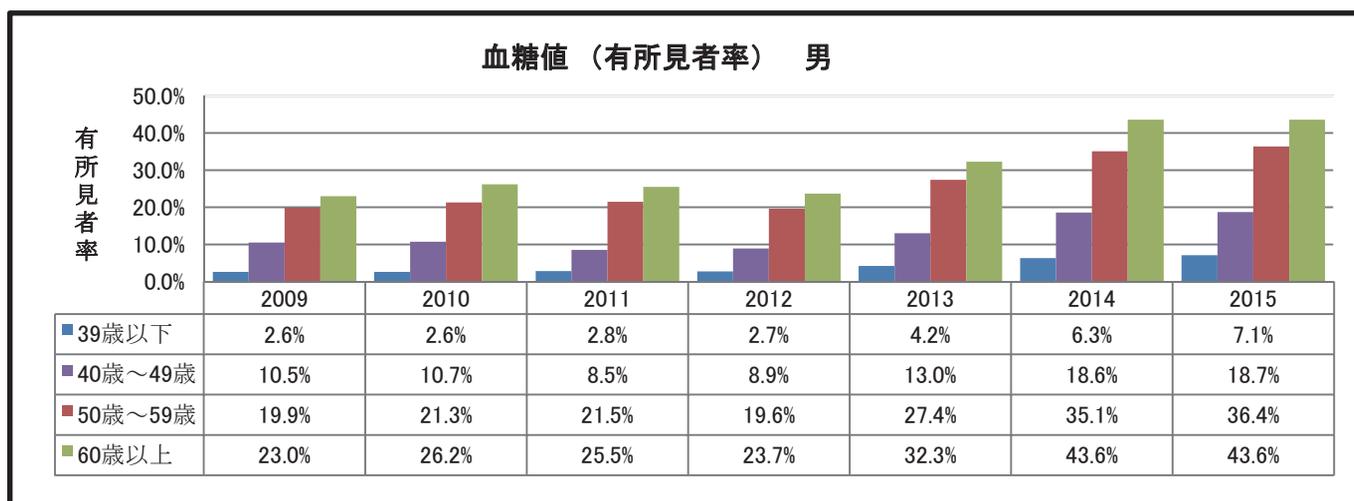
- ・男性では、全年齢層で有所見率が上昇している。特に、40歳以上の年齢層で約10%以上と比較的有所見率の上昇幅が大きい点については、注意を要すると考えられる。
- ・女性では、全年齢層で有所見率が緩やかに上昇している。特に、これまで上昇傾向を認めていなかった39歳以下の年齢層においても比較的有所見率の上昇が大きい点については、注意を要すると考えられる。

② 血糖値（有所見者数・率） ～過去7年間の推移～

男

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	1,493	1,486	1,524	1,603	1,523	1,208	1,205
	軽度異常	24	24	21	25	135	381	423
	経過観察	21	12	23	26	47	77	95
	要治療	1	1	0	5	2	0	0
	要精査	16	22	15	10	17	22	17
	治療継続	3	5	6	5	6	7	12
	計	1,558	1,550	1,589	1,674	1,730	1,695	1,752
40歳～49歳	異常なし	1,066	1,104	1,193	1,208	975	700	724
	軽度異常	48	44	42	48	272	523	590
	経過観察	45	53	36	40	117	185	212
	要治療	5	10	5	16	5	4	2
	要精査	45	47	42	34	31	58	58
	治療継続	36	28	31	33	33	32	31
	計	1,245	1,286	1,349	1,379	1,433	1,502	1,617
50歳～59歳	異常なし	1,019	1,039	1,070	1,126	728	439	426
	軽度異常	82	78	68	106	350	553	589
	経過観察	83	84	91	76	198	304	360
	要治療	7	9	8	30	5	4	5
	要精査	104	128	108	84	99	121	114
	治療継続	80	82	104	111	104	108	101
	計	1,375	1,420	1,449	1,533	1,484	1,529	1,595
60歳以上	異常なし	587	639	656	675	468	283	260
	軽度異常	57	47	52	62	229	334	370
	経過観察	49	68	66	53	133	229	257
	要治療	3	2	5	12	3	2	3
	要精査	70	88	83	66	85	136	100
	治療継続	70	85	88	98	111	110	127
	計	836	929	950	966	1,029	1,094	1,117
39歳以下	受診者数	1,558	1,550	1,589	1,674	1,730	1,695	1,752
	有所見者数	41	40	44	46	72	106	124
	有所見率	2.6%	2.6%	2.8%	2.7%	4.2%	6.3%	7.1%
40歳～49歳	受診者数	1,245	1,286	1,349	1,379	1,433	1,502	1,617
	有所見者数	131	138	114	123	186	279	303
	有所見率	10.5%	10.7%	8.5%	8.9%	13.0%	18.6%	18.7%
50歳～59歳	受診者数	1,375	1,420	1,449	1,533	1,484	1,529	1,595
	有所見者数	274	303	311	301	406	537	580
	有所見率	19.9%	21.3%	21.5%	19.6%	27.4%	35.1%	36.4%
60歳以上	受診者数	836	929	950	966	1,029	1,094	1,117
	有所見者数	192	243	242	229	332	477	487
	有所見率	23.0%	26.2%	25.5%	23.7%	32.3%	43.6%	43.6%
合計	受診者数	5,014	5,185	5,337	5,552	5,676	5,820	6,081
	有所見者数	638	724	711	699	996	1,399	1,494
	有所見率	12.7%	14.0%	13.3%	12.6%	17.5%	24.0%	24.6%

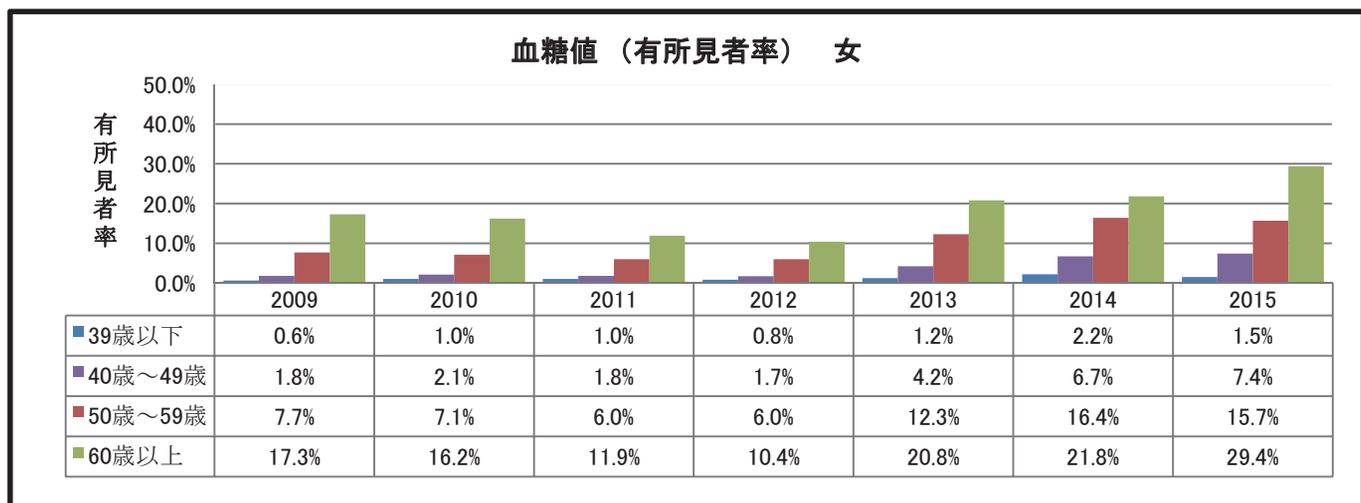


(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	1,032	1,005	1,123	1,125	1,134	1,085	1,156
	軽度異常	8	7	8	10	39	114	119
	経過観察	3	8	5	1	10	18	12
	要治療	0	0	0	0	-	0	0
	要精査	1	0	4	2	3	5	5
	治療継続	2	2	2	6	1	4	2
	計	1,046	1,022	1,142	1,144	1,187	1,226	1,294
40歳～49歳	異常なし	977	1,102	1,081	1,055	941	904	898
	軽度異常	11	4	10	11	122	229	277
	経過観察	5	10	9	10	29	63	68
	要治療	0	1	1	2	2	0	1
	要精査	6	9	5	3	9	14	12
	治療継続	7	4	5	3	7	5	13
	計	1,006	1,130	1,111	1,084	1,110	1,215	1,269
50歳～59歳	異常なし	901	988	1,012	1,097	877	653	646
	軽度異常	17	25	26	25	195	342	428
	経過観察	31	37	23	24	94	140	146
	要治療	3	0	0	3	2	3	3
	要精査	24	23	26	21	30	29	30
	治療継続	19	18	17	23	24	23	21
	計	995	1,091	1,104	1,193	1,222	1,190	1,274
60歳以上	異常なし	317	400	432	471	321	250	245
	軽度異常	14	10	11	27	146	234	234
	経過観察	29	26	25	24	74	87	142
	要治療	1	2	1	2	0	0	0
	要精査	17	28	14	12	23	22	26
	治療継続	22	23	20	20	26	26	31
	計	400	489	503	556	590	619	678
39歳以下	受診者数	1,046	1,022	1,142	1,144	1,187	1,226	1,294
	有所見者数	6	10	11	9	14	27	19
	有所見率	0.6%	1.0%	1.0%	0.8%	1.2%	2.2%	1.5%
40歳～49歳	受診者数	1,006	1,130	1,111	1,084	1,110	1,215	1,269
	有所見者数	18	24	20	18	47	82	94
	有所見率	1.8%	2.1%	1.8%	1.7%	4.2%	6.7%	7.4%
50歳～59歳	受診者数	995	1,091	1,104	1,193	1,222	1,190	1,274
	有所見者数	77	78	66	71	150	195	200
	有所見率	7.7%	7.1%	6.0%	6.0%	12.3%	16.4%	15.7%
60歳以上	受診者数	400	489	503	556	590	619	678
	有所見者数	69	79	60	58	123	135	199
	有所見率	17.3%	16.2%	11.9%	10.4%	20.8%	21.8%	29.4%
合計	受診者数	3,447	3,732	3,860	3,977	4,109	4,250	4,515
	有所見者数	170	191	157	156	334	439	512
	有所見率	4.9%	5.1%	4.1%	3.9%	8.1%	10.3%	11.3%



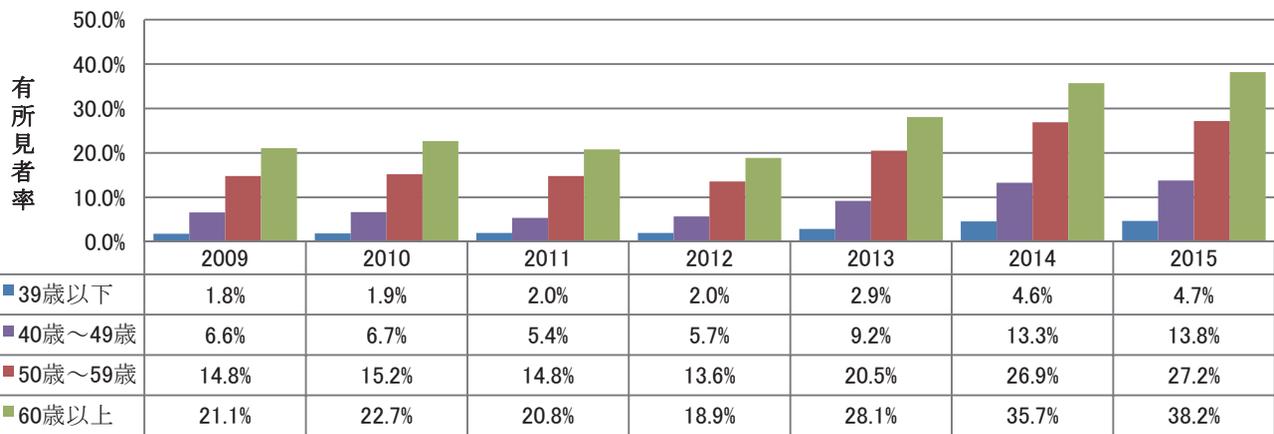
(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

男女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	受診者数	2,604	2,572	2,731	2,818	2,917	2,921	3,046
	有所見者数	47	50	55	55	86	133	143
	有所見率	1.8%	1.9%	2.0%	2.0%	2.9%	4.6%	4.7%
40歳～49歳	受診者数	2,251	2,416	2,460	2,463	2,543	2,717	2,886
	有所見者数	149	162	134	141	233	361	397
	有所見率	6.6%	6.7%	5.4%	5.7%	9.2%	13.3%	13.8%
50歳～59歳	受診者数	2,370	2,511	2,553	2,726	2,706	2,719	2,869
	有所見者数	351	381	377	372	556	732	780
	有所見率	14.8%	15.2%	14.8%	13.6%	20.5%	26.9%	27.2%
60歳以上	受診者数	1,236	1,418	1,453	1,522	1,619	1,713	1,795
	有所見者数	261	322	302	287	455	612	686
	有所見率	21.1%	22.7%	20.8%	18.9%	28.1%	35.7%	38.2%
合計	受診者数	8,461	8,917	9,197	9,529	9,785	10,070	10,596
	有所見者数	808	915	868	855	1330	1838	2006
	有所見率	9.5%	10.3%	9.4%	9.0%	13.6%	18.3%	18.9%

血糖値（有所見者率） 男女合計



(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

血糖値（有所見者数・率）について、過去7年間（2009年～2015年）の推移を見ると、

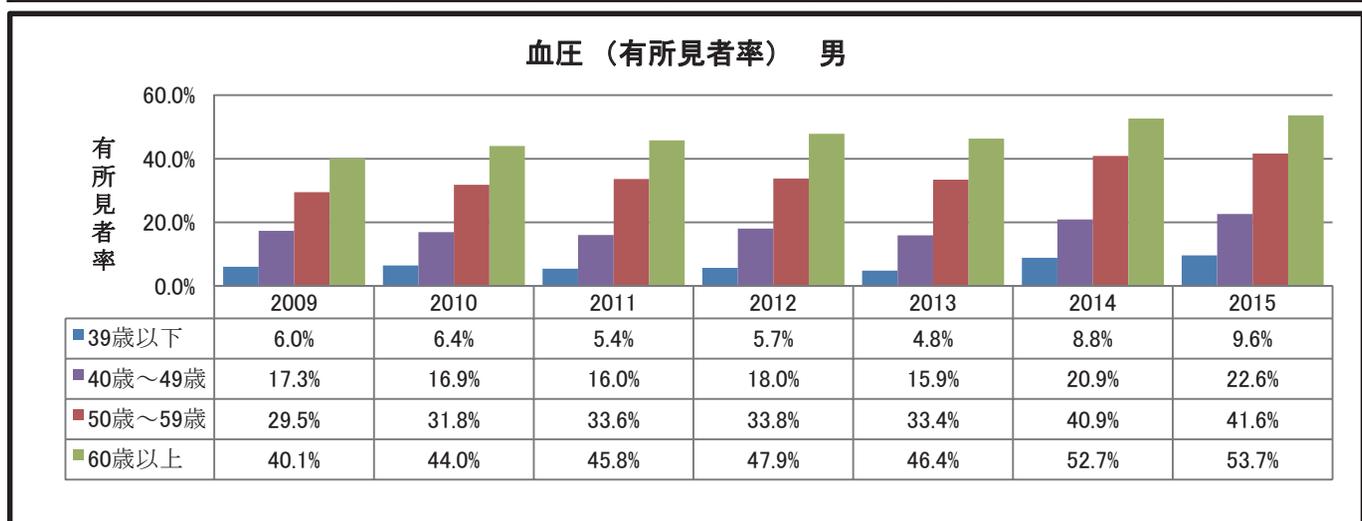
- ・男性では、全年齢層で有所見率が上昇している。特に、50歳以上の年齢層で10%以上と比較的有所見率の上昇幅が大きい点については、注意を要すると考えられる。
- ・女性では、全年齢層で有所見率が上昇している。特に、これまで上昇傾向を認めていなかった39歳以下の年齢層においても有所見率の上昇が認められる点については、注意を要すると考えられる。
- ・男女ともに、前述の「肥満/BMI（有所見者数・率）」の過去7年間（2009年～2015年）の推移と、「血糖値（有所見者数・率）」の変化の傾向がほぼ一致している。肥満（BMI）の有所見者数・率の上昇が背景的要因となって、いわゆる生活習慣病の有所見者数・率の「底上げと大幅な増加」に寄与している可能性が示唆されるため、危険な兆候として今後の推移には注意が必要と考えられる。
- ・さらに、当センターにおける2009年以降の「特定保健指導」の受診者数の増加は、新たな国の制度の地域社会への浸透に加えて、上記のような地域における肥満（BMI）や血糖値の有所見者・率の増加などが背景的要因となっている可能性が考えられる。特定保健指導の受診者数が増加していることは、当センターの地域医療への質的貢献が高まっていることを示していると考えられることもできるが、地域における健康増進や予防医療の推進という面からは「悩ましい課題」が出てきたと考えられる。

③ 血圧（有所見者数・率） ～過去7年間の推移～

男

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	1,387	1,367	1,426	1,504	1,577	1,534	1,571
	軽度異常	113	110	90	75	71	5	5
	経過観察	48	57	46	41	39	107	128
	要治療	31	14	14	21	11	7	5
	要精査	2	6	8	6	6	11	16
	治療継続	14	24	19	27	27	24	18
	計	1,595	1,578	1,603	1,674	1,731	1,688	1,743
40歳～49歳	異常なし	922	947	1,015	1,029	1,106	1,181	1,245
	軽度異常	107	122	116	101	99	7	6
	経過観察	59	73	57	58	64	137	159
	要治療	50	30	34	64	20	8	6
	要精査	9	12	13	11	29	45	52
	治療継続	97	102	112	115	115	124	149
	計	1,244	1,286	1,347	1,378	1,433	1,502	1,617
50歳～59歳	異常なし	790	794	814	876	873	898	927
	軽度異常	181	174	148	139	115	6	4
	経過観察	97	92	108	84	80	204	235
	要治療	58	48	43	81	25	5	6
	要精査	7	13	18	8	19	44	50
	治療継続	245	298	318	345	372	372	373
	計	1,378	1,419	1,449	1,533	1,484	1,529	1,595
60歳以上	異常なし	393	416	419	426	487	515	513
	軽度異常	108	103	95	77	65	3	5
	経過観察	40	63	47	58	50	131	131
	要治療	28	30	26	25	15	4	2
	要精査	6	0	3	10	22	32	30
	治療継続	262	315	358	369	390	409	437
	計	837	927	948	965	1029	1094	1118
39歳以下	受診者数	1,595	1,578	1,603	1,674	1,731	1,688	1,743
	有所見者数	95	101	87	95	83	149	167
	有所見率	6.0%	6.4%	5.4%	5.7%	4.8%	8.9%	9.6%
40歳～49歳	受診者数	1,244	1,286	1,347	1,378	1,433	1,502	1,617
	有所見者数	215	217	216	248	228	314	366
	有所見率	17.3%	16.9%	16.0%	18.0%	15.9%	20.9%	22.6%
50歳～59歳	受診者数	1,378	1,419	1,449	1,533	1,484	1,529	1,595
	有所見者数	407	451	487	518	496	625	664
	有所見率	29.5%	31.8%	33.6%	33.8%	33.4%	40.9%	41.6%
60歳以上	受診者数	837	927	948	965	1029	1094	1118
	有所見者数	336	408	434	462	477	576	600
	有所見率	40.1%	44.0%	45.8%	47.9%	46.4%	52.7%	53.7%
合計	受診者数	5,054	5,210	5,347	5,550	5,677	5,813	6,073
	有所見者数	1,053	1,177	1,224	1,323	1,284	1,664	1,797
	有所見率	20.8%	22.6%	22.9%	23.8%	22.6%	28.6%	29.6%



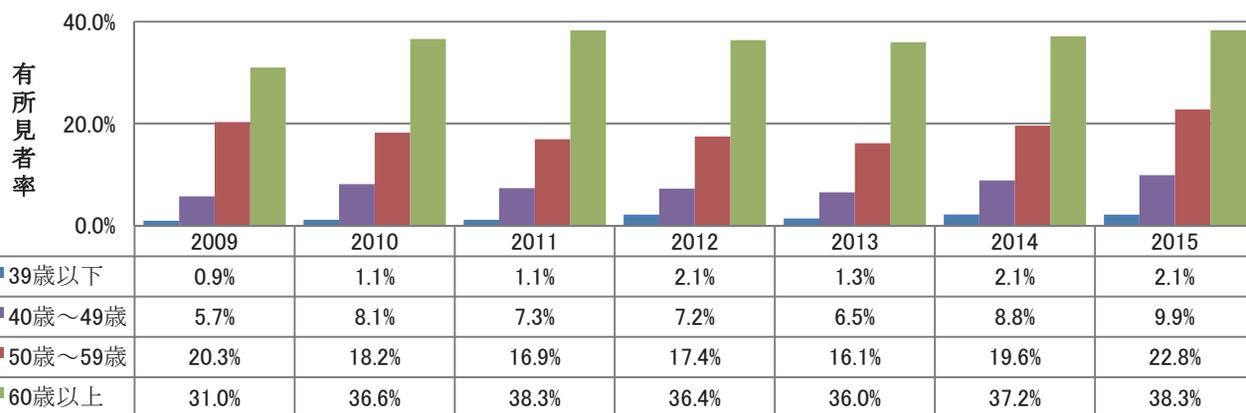
(注) 有所見者とは、経過観察（過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	1,025	991	1,112	1,097	1,154	1,165	1,238
	軽度異常	25	29	21	23	20	32	26
	経過観察	3	5	7	13	8	18	18
	要治療	2	1	1	1	2	0	0
	要精査	0	0	0	3	0	2	3
	治療継続	5	5	5	7	6	6	6
	計	1,060	1,031	1,146	1,144	1,190	1,223	1,291
40歳～49歳	異常なし	901	982	985	974	992	1,067	1,112
	軽度異常	48	56	44	32	46	40	30
	経過観察	20	28	20	15	13	50	62
	要治療	8	15	12	14	6	3	3
	要精査	1	0	2	2	4	8	8
	治療継続	28	49	47	47	49	46	52
	計	1,006	1,130	1,110	1,084	1,110	1,214	1,267
50歳～59歳	異常なし	718	798	866	929	946	942	964
	軽度異常	76	94	51	56	79	15	19
	経過観察	48	38	28	46	27	60	111
	要治療	23	19	12	14	7	2	1
	要精査	2	2	3	5	7	14	12
	治療継続	129	140	144	143	156	157	166
	計	996	1,091	1,104	1,193	1,222	1,190	1,273
60歳以上	異常なし	228	262	273	313	344	383	412
	軽度異常	48	48	36	40	33	6	6
	経過観察	14	31	28	18	19	44	66
	要治療	12	4	7	4	5	1	0
	要精査	1	3	4	5	3	5	9
	治療継続	97	141	153	175	185	180	185
	計	400	489	501	555	589	619	678
39歳以下	受診者数	1,060	1,031	1,146	1,144	1,190	1,223	1,291
	有所見者数	10	11	13	24	16	26	27
	有所見率	0.9%	1.1%	1.1%	2.1%	1.3%	2.1%	2.1%
40歳～49歳	受診者数	1,006	1,130	1,110	1,084	1,110	1,214	1,267
	有所見者数	57	92	81	78	72	107	125
	有所見率	5.7%	8.1%	7.3%	7.2%	6.5%	8.8%	9.9%
50歳～59歳	受診者数	996	1,091	1,104	1,193	1,222	1,190	1,273
	有所見者数	202	199	187	208	197	233	290
	有所見率	20.3%	18.2%	16.9%	17.4%	16.1%	19.6%	22.8%
60歳以上	受診者数	400	489	501	555	589	619	678
	有所見者数	124	179	192	202	212	230	260
	有所見率	31.0%	36.6%	38.3%	36.4%	36.0%	37.2%	38.4%
合計	受診者数	3,462	3,741	3,861	3,976	4,111	4,246	4,509
	有所見者数	393	481	473	512	497	596	702
	有所見率	11.4%	12.9%	12.3%	12.9%	12.1%	14.0%	15.6%

血圧（有所見者率） 女



(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

男女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	受診者数	2,655	2,609	2,749	2,818	2,921	2,911	3,034
	有所見者数	105	112	100	119	99	175	194
	有所見率	4.0%	4.3%	3.6%	4.2%	3.4%	6.0%	6.4%
40歳～49歳	受診者数	2,250	2,416	2,457	2,462	2,543	2,716	2,884
	有所見者数	272	309	297	326	300	421	491
	有所見率	12.1%	12.8%	12.1%	13.2%	11.8%	15.5%	17.0%
50歳～59歳	受診者数	2,374	2,510	2,553	2,726	2,706	2,719	2,868
	有所見者数	609	650	674	726	693	858	954
	有所見率	25.7%	25.9%	26.4%	26.6%	25.6%	31.6%	33.3%
60歳以上	受診者数	1,237	1,416	1,449	1,520	1,618	1,713	1,796
	有所見者数	460	587	626	664	689	806	860
	有所見率	37.2%	41.5%	43.2%	43.7%	42.6%	47.1%	47.9%
合計	受診者数	8,516	8,951	9,208	9,526	9,788	10,059	10,582
	有所見者数	1,446	1,658	1,697	1,835	1,781	2,260	2,499
	有所見率	17.0%	18.5%	18.4%	19.3%	18.2%	22.5%	23.6%

血圧（有所見者率） 男女合計



(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

血圧（有所見者数・率）について、過去7年間（2009年～2015年）の推移を見ると、

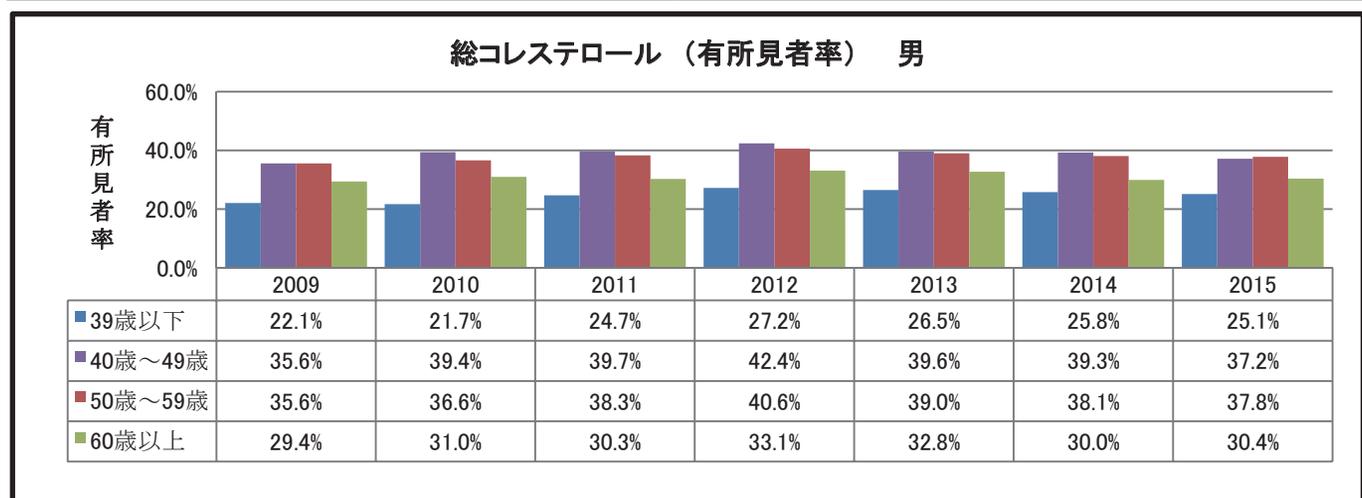
- ・男性では、全年齢層で有所見率が上昇している。特に、50以上の年齢層で約10%以上と比較的有所見率の上昇幅が大きい点とこれまでにについては、注意を要すると考えられる。
- ・女性では、全年齢層で有所見率が上昇している。特に、これまで上昇傾向を認めていなかった39歳以下の年齢層においても有所見率の上昇が認められる点については、注意を要すると考えられる。
- ・血圧上昇の背景因子としては、食生活習慣や体格、生活習慣病の有無、ストレス、睡眠状況、加齢などの多様な因子の関与が考えられる。前述の肥満/BMI（有所見者数・率）と合わせると、背景因子として一つには肥満の有所見率の上昇が関連していることが容易に考えられるが、危険な兆候として今後の推移には注意が必要と考えられる。

④ 総コレステロール（有所見者数・率） ～過去7年間の推移～

男

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	1,094	1,157	1,076	1,123	1,180	1,186	1,201
	軽度異常							
	経過観察	301	309	339	312	301	290	296
	要治療							
	要精査	9	12	14	108	125	123	107
	治療継続							
	計	1,404	1,478	1,429	1,543	1,606	1,599	1,604
40歳～49歳	異常なし	793	785	805	785	851	913	1006
	軽度異常							
	経過観察	425	497	517	430	413	441	453
	要治療							
	要精査	14	13	13	148	145	150	142
	治療継続							
	計	1,232	1,295	1,335	1,363	1,409	1,504	1,601
50歳～59歳	異常なし	866	903	873	884	880	937	990
	軽度異常							
	経過観察	473	512	527	483	451	452	476
	要治療							
	要精査	6	9	16	122	112	125	126
	治療継続							
	計	1,345	1,424	1,416	1,489	1,443	1,514	1,592
60歳以上	異常なし	551	607	596	593	634	776	778
	軽度異常							
	経過観察	229	271	256	233	238	259	263
	要治療							
	要精査	1	2	3	61	71	73	77
	治療継続							
	計	781	880	855	887	943	1108	1118
39歳以下	受診者数	1,404	1,478	1,429	1,543	1,606	1,599	1,604
	有所見者数	310	321	353	420	426	413	403
	有所見率	22.1%	21.7%	24.7%	27.2%	26.5%	25.8%	25.1%
40歳～49歳	受診者数	1,232	1,295	1,335	1,363	1,409	1,504	1,601
	有所見者数	439	510	530	578	558	591	595
	有所見率	35.6%	39.4%	39.7%	42.4%	39.6%	39.3%	37.2%
50歳～59歳	受診者数	1,345	1,424	1,416	1,489	1,443	1,514	1,592
	有所見者数	479	521	543	605	563	577	602
	有所見率	35.6%	36.6%	38.3%	40.6%	39.0%	38.1%	37.8%
60歳以上	受診者数	781	880	855	887	943	1108	1118
	有所見者数	230	273	259	294	309	332	340
	有所見率	29.4%	31.0%	30.3%	33.1%	32.8%	30.0%	30.4%
合計	受診者数	4,762	5,077	5,035	5,282	5,401	5,725	5,915
	有所見者数	1,458	1,625	1,685	1,897	1,856	1,913	1,940
	有所見率	30.6%	32.0%	33.5%	35.9%	34.4%	33.4%	32.8%

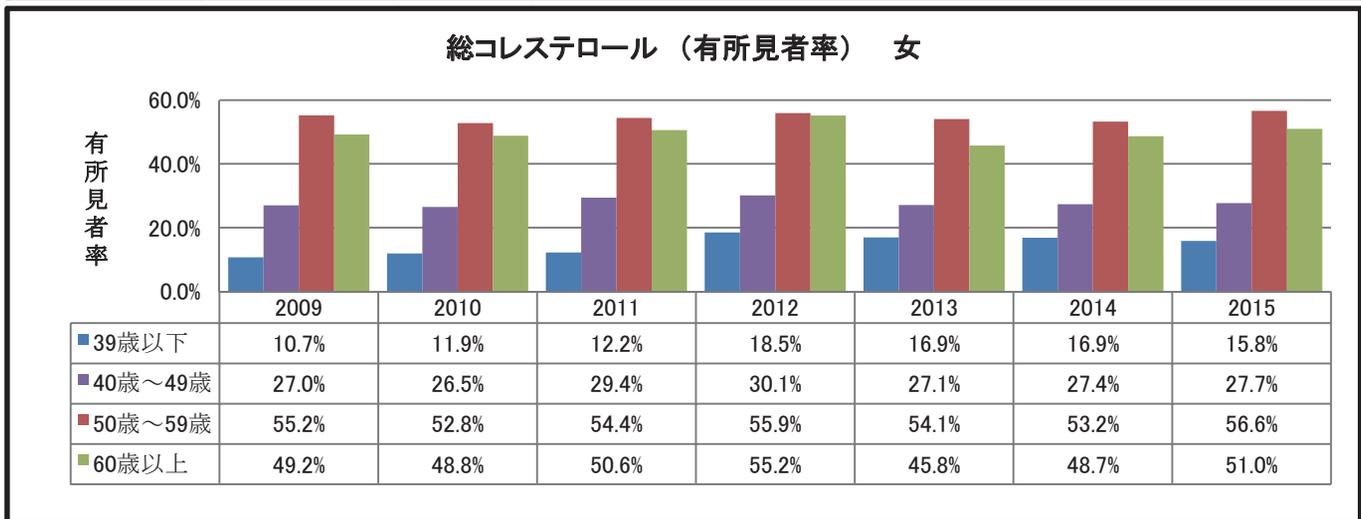


(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	822	906	863	855	899	898	952
	軽度異常							
	経過観察	98	121	118	124	112	109	107
	要治療							
	要精査	1	1	2	70	71	73	72
	治療継続							
	計	921	1,028	983	1,049	1,082	1,080	1,131
40歳～49歳	異常なし	699	773	750	726	768	879	904
	軽度異常							
	経過観察	255	276	308	240	225	259	283
	要治療							
	要精査	4	2	5	73	60	72	63
	治療継続							
	計	958	1,051	1,063	1,039	1,053	1,210	1,250
50歳～59歳	異常なし	413	478	476	499	527	554	545
	軽度異常							
	経過観察	497	528	547	446	453	479	537
	要治療							
	要精査	11	7	20	187	167	152	174
	治療継続							
	計	921	1,013	1,043	1,132	1,147	1,185	1,256
60歳以上	異常なし	157	190	199	208	269	324	327
	軽度異常							
	経過観察	146	179	200	182	167	241	239
	要治療							
	要精査	6	2	4	74	60	66	101
	治療継続							
	計	309	371	403	464	496	631	667
39歳以下	受診者数	921	1,028	983	1,049	1,082	1,080	1,131
	有所見者数	99	122	120	194	183	182	179
	有所見率	10.7%	11.9%	12.2%	18.5%	16.9%	16.9%	15.8%
40歳～49歳	受診者数	958	1,051	1,063	1,039	1,053	1,210	1,250
	有所見者数	259	278	313	313	285	331	346
	有所見率	27.0%	26.5%	29.4%	30.1%	27.1%	27.4%	27.7%
50歳～59歳	受診者数	921	1,013	1,043	1,132	1,147	1,185	1,256
	有所見者数	508	535	567	633	620	631	711
	有所見率	55.2%	52.8%	54.4%	55.9%	54.1%	53.2%	56.6%
60歳以上	受診者数	309	371	403	464	496	631	667
	有所見者数	152	181	204	256	227	307	340
	有所見率	49.2%	48.8%	50.6%	55.2%	45.8%	48.7%	51.0%
合計	受診者数	3,109	3,463	3,492	3,684	3,778	4,106	4,304
	有所見者数	1,018	1,116	1,204	1,396	1,315	1,451	1,576
	有所見率	32.7%	32.2%	34.5%	37.9%	34.8%	35.3%	36.6%

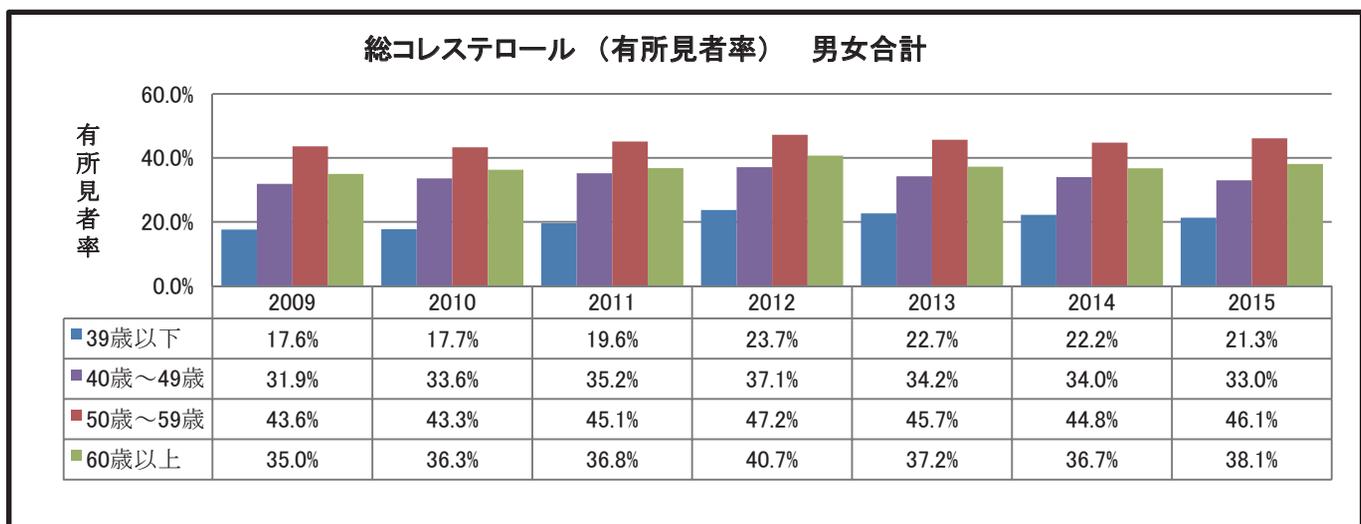


注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

男女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	受診者数	2,325	2,506	2,412	2,592	2,688	2,679	2,735
	有所見者数	409	443	473	614	609	595	582
	有所見率	17.6%	17.7%	19.6%	23.7%	22.7%	22.2%	21.3%
40歳～49歳	受診者数	2,190	2,346	2,398	2,402	2,462	2,714	2,851
	有所見者数	698	788	843	891	843	922	941
	有所見率	31.9%	33.6%	35.2%	37.1%	34.2%	34.0%	33.0%
50歳～59歳	受診者数	2,266	2,437	2,459	2,621	2,590	2,699	2,848
	有所見者数	987	1,056	1,110	1,238	1,183	1,208	1,313
	有所見率	43.6%	43.3%	45.1%	47.2%	45.7%	44.8%	46.1%
60歳以上	受診者数	1,090	1,251	1,258	1,351	1,439	1,739	1,785
	有所見者数	382	454	463	550	536	639	680
	有所見率	35.0%	36.3%	36.8%	40.7%	37.2%	36.7%	38.1%
合計	受診者数	7,871	8,540	8,527	8,966	9,179	9,831	10,219
	有所見者数	2,476	2,741	2,889	3,293	3,171	3,364	3,516
	有所見率	31.5%	32.1%	33.9%	36.7%	34.5%	34.2%	34.4%



(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

総コレステロール（有所見者数・率）について、過去7年間（2009年～2015年）の推移を見ると、

- ・男性では、全年齢層で有所見率の上昇傾向が認められる。背景要因として、一つには全年齢層において、肥満の有所見率の上昇が関連していることが考えられる。
- ・女性では、全年齢層で有所見率が上昇している。特に、39歳以下の年齢層で有所見率の上昇が比較的大きい点については、注意を要すると考えられる。背景要因として、一つには年齢層（特に、39歳以下の年齢層）において、肥満の有所見率の上昇が関連していることが考えられる。

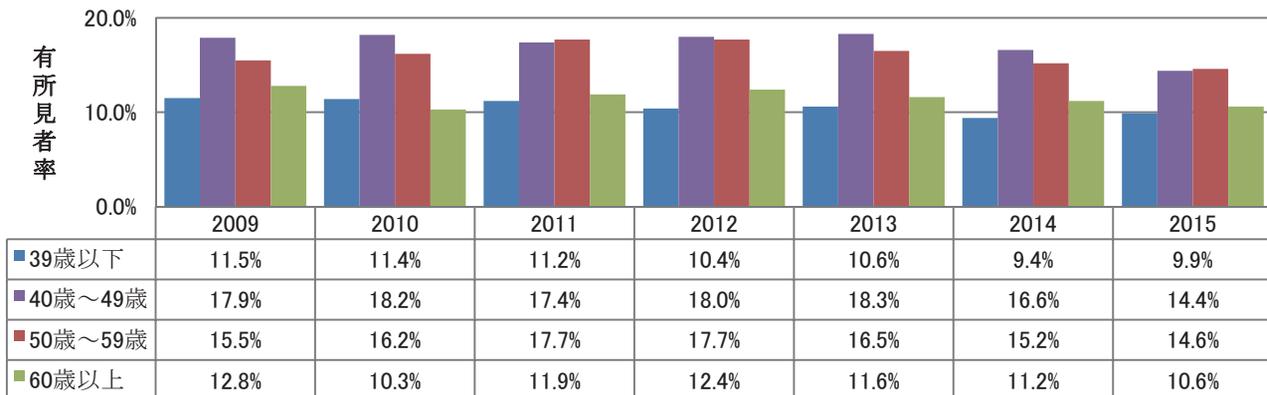
⑤ 中性脂肪（有所見者数・率） ～過去7年間の推移～

男

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	1,131	1,160	1,150	1,235	1,267	1,292	1,286
	軽度異常	151	153	156	149	170	160	164
	経過観察	73	74	82	69	77	61	75
	要治療							
	要精査	93	95	83	91	94	89	85
	治療継続							
	計	1,448	1,482	1,471	1,544	1,608	1,602	1,610
40歳～49歳	異常なし	820	885	910	938	950	1060	1185
	軽度異常	201	184	201	183	210	203	198
	経過観察	70	101	104	94	104	112	93
	要治療							
	要精査	152	137	130	152	155	139	139
	治療継続							
	計	1,243	1,307	1,345	1,367	1,419	1,514	1,615
50歳～59歳	異常なし	948	989	953	1037	1009	1074	1151
	軽度異常	202	214	225	199	204	217	217
	経過観察	89	95	94	116	97	91	90
	要治療							
	要精査	122	138	160	150	142	141	143
	治療継続							
	計	1,361	1,436	1,432	1,502	1,452	1,523	1,601
60歳以上	異常なし	603	718	697	693	765	880	897
	軽度異常	115	109	122	126	118	138	144
	経過観察	56	41	64	57	54	63	59
	要治療							
	要精査	49	54	47	59	62	66	64
	治療継続							
	計	823	922	930	935	999	1147	1164
39歳以下	受診者数	1,448	1,482	1,471	1,544	1,608	1,602	1,610
	有所見者数	166	169	165	160	171	150	160
	有所見率	11.5%	11.4%	11.2%	10.4%	10.6%	9.4%	9.9%
40歳～49歳	受診者数	1,243	1,307	1,345	1,367	1,419	1,514	1,615
	有所見者数	222	238	234	246	259	251	232
	有所見率	17.9%	18.2%	17.4%	18.0%	18.3%	16.6%	14.4%
50歳～59歳	受診者数	1,361	1,436	1,432	1,502	1,452	1,523	1,601
	有所見者数	211	233	254	266	239	232	233
	有所見率	15.5%	16.2%	17.7%	17.7%	16.5%	15.2%	14.6%
60歳以上	受診者数	823	922	930	935	999	1147	1164
	有所見者数	105	95	111	116	116	129	123
	有所見率	12.8%	10.3%	11.9%	12.4%	11.6%	11.2%	10.6%
合計	受診者数	4,875	5,147	5,178	5,348	5,478	5,786	5,990
	有所見者数	704	735	764	788	785	762	748
	有所見率	14.4%	14.3%	14.8%	14.7%	14.3%	13.2%	12.5%

中性脂肪（有所見者率） 男

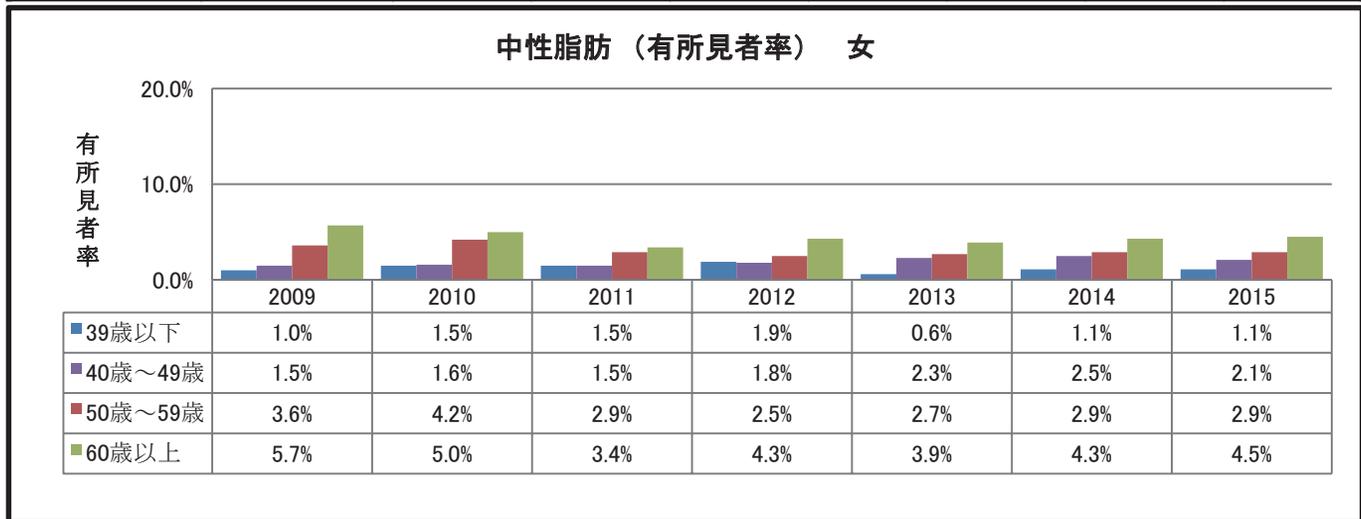


(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	980	988	1,029	1,004	1,052	1,041	1,100
	軽度異常	24	29	13	35	27	28	27
	経過観察	5	7	10	13	3	7	6
	要治療							
	要精査	5	8	6	7	4	5	7
	治療継続							
	計	1,014	1,032	1,058	1,059	1,086	1,081	1,140
40歳～49歳	異常なし	949	1,056	1,051	1030	1039	1158	1197
	軽度異常	37	44	42	32	34	35	44
	経過観察	13	10	13	12	14	17	13
	要治療							
	要精査	2	8	4	7	11	13	14
	治療継続							
	計	1,001	1,118	1,110	1,081	1,098	1,223	1,268
50歳～59歳	異常なし	894	968	989	1095	1097	1087	1167
	軽度異常	57	67	79	65	78	71	72
	経過観察	22	29	18	17	23	23	28
	要治療							
	要精査	14	16	14	13	10	11	9
	治療継続							
	計	987	1,080	1,100	1,190	1,208	1,192	1,276
60歳以上	異常なし	347	418	454	484	508	594	632
	軽度異常	32	41	31	46	57	49	51
	経過観察	11	16	7	14	10	16	18
	要治療							
	要精査	12	8	10	10	13	13	14
	治療継続							
	計	402	483	502	554	588	672	715
39歳以下	受診者数	1,014	1,032	1,058	1,059	1,086	1,081	1,140
	有所見者数	10	15	16	20	7	12	13
40歳～49歳	受診者数	1,001	1,118	1,110	1,081	1,098	1,223	1,268
	有所見者数	15	18	17	19	25	30	27
50歳～59歳	受診者数	987	1,080	1,100	1,190	1,208	1,192	1,276
	有所見者数	36	45	32	30	33	34	37
60歳以上	受診者数	402	483	502	554	588	672	715
	有所見者数	23	24	17	24	23	29	32
合計	受診者数	3,404	3,713	3,770	3,884	3,980	4,168	4,399
	有所見者数	84	102	82	93	88	105	109
	有所見率	2.5%	2.7%	2.2%	2.4%	2.2%	2.5%	2.5%

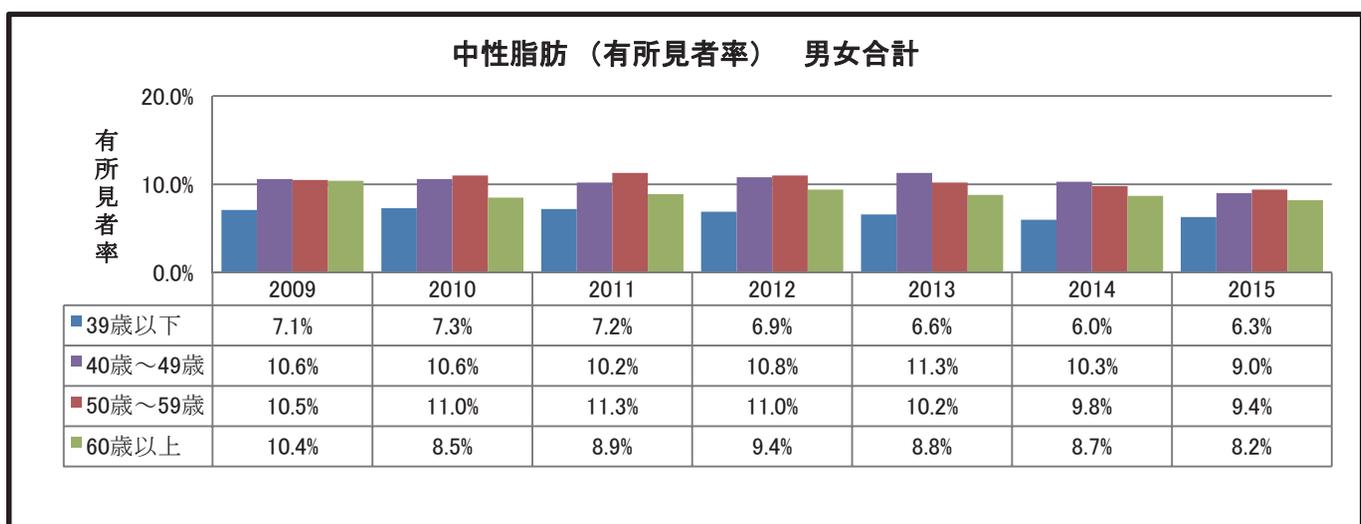


(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

男女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	受診者数	2,462	2,514	2,529	2,603	2,694	2,683	2,750
	有所見者数	176	184	181	180	178	162	173
	有所見率	7.1%	7.3%	7.2%	6.9%	6.6%	6.0%	6.3%
40歳～49歳	受診者数	2,244	2,425	2,455	2,448	2,517	2,737	2,883
	有所見者数	237	256	251	265	284	281	259
	有所見率	10.6%	10.6%	10.2%	10.8%	11.3%	10.3%	9.0%
50歳～59歳	受診者数	2,348	2,516	2,532	2,692	2,660	2,715	2,877
	有所見者数	247	278	286	296	272	266	270
	有所見率	10.5%	11.0%	11.3%	11.0%	10.2%	9.8%	9.4%
60歳以上	受診者数	1,225	1,405	1,432	1,489	1,587	1,819	1,879
	有所見者数	128	119	128	140	139	158	155
	有所見率	10.4%	8.5%	8.9%	9.4%	8.8%	8.7%	8.2%
合計	受診者数	8,279	8,860	8,948	9,232	9,458	9,954	10,389
	有所見者数	788	837	846	881	873	867	857
	有所見率	9.5%	9.4%	9.5%	9.5%	9.2%	8.7%	8.2%



(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

中性脂肪（有所見者数・率）について、過去7年間（2009年～2015年）の推移を見ると、

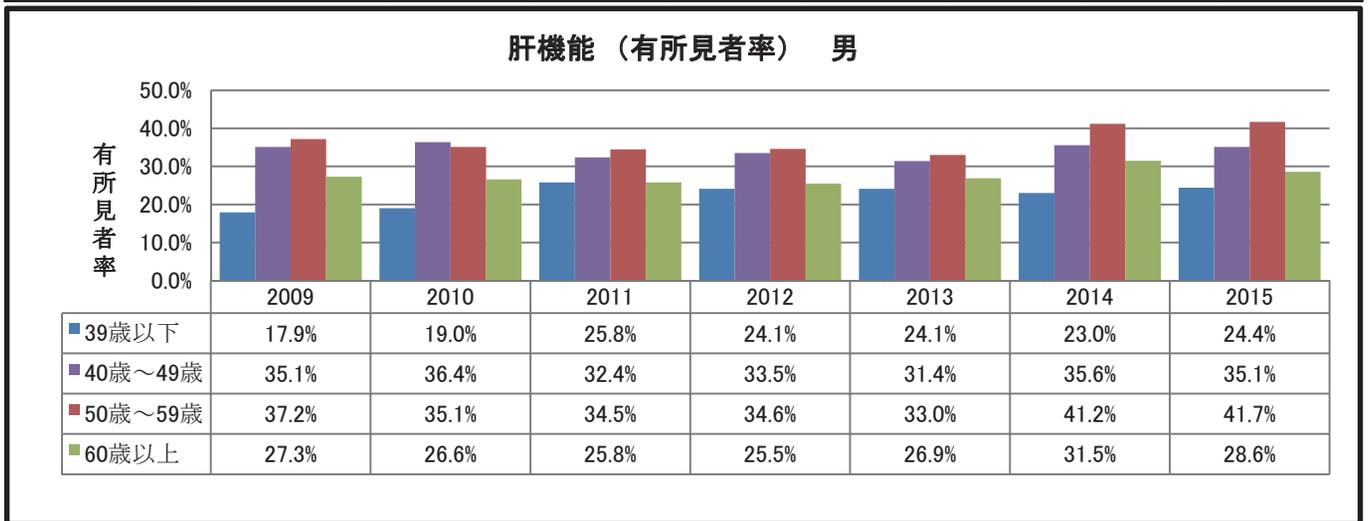
- ・ 男性では、全年齢層で、有所見率の低下が認められる。
- ・ 女性では、49歳以下の年齢層で、有所見率の上昇が認められる。
- ・ 中性脂肪は、食事から摂取される「外因性」のものと、肝臓が体内で生成する「内因性」のものに分けられるといわれている。健診センターでは、採血は通常空腹時に行われるため、空腹時の採血による中性脂肪の検査では、主として「内因性」のものを測定していると考えられる。このため、肥満体型であっても、空腹時には外因性（食事から摂取される）の中性脂肪が一時的に低下するため、健診結果の中性脂肪の値が低く出てくる可能性がある。健診結果の中性脂肪の値が基準値をあまり超えていないにも関わらず肥満体型である場合には、その肥満の原因が、遺伝的な体質などということよりは、主として食事によるものであることを示唆している可能性が考えられる。

⑥ 肝機能（有所見者数・率） ～過去7年間の推移～

男

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	946	948	977	1043	1002	1028	1028
	軽度異常	146	124	114	127	222	211	196
	経過観察	76	92	241	230	264	236	196
	要治療	3	6	4	8	1	0	
	要精査	157	151	130	131	120	133	200
	治療継続	2	3	5	3	4	2	
	計	1,330	1,324	1,471	1,542	1,613	1,610	1,620
40歳～49歳	異常なし	526	563	674	658	634	700	764
	軽度異常	277	252	235	251	340	268	288
	経過観察	240	259	265	259	282	381	331
	要治療	5	1	4	12	-	0	
	要精査	182	200	158	182	163	153	234
	治療継続	8	7	9	4	1	2	3
	計	1,238	1,282	1,345	1,366	1,420	1,504	1,620
50歳～59歳	異常なし	577	585	652	737	625	641	653
	軽度異常	277	326	285	245	347	247	265
	経過観察	289	283	308	307	305	461	461
	要治療	4	4	5	18	-	0	1
	要精査	209	198	171	183	161	156	192
	治療継続	3	7	10	12	13	6	3
	計	1,359	1,403	1,431	1,502	1,451	1,511	1,575
60歳以上	異常なし	416	500	526	550	515	554	592
	軽度異常	177	168	164	144	212	183	190
	経過観察	143	149	150	158	187	251	217
	要治療	2	1	4	4	-	0	
	要精査	70	83	79	68	74	83	94
	治療継続	8	9	7	7	6	5	3
	計	816	910	930	931	994	1076	1096
39歳以下	受診者数	1,330	1,324	1,471	1,542	1,613	1,610	1,620
	有所見者数	238	252	380	372	389	371	396
	有所見率	17.9%	19.0%	25.8%	24.1%	24.1%	23.0%	24.4%
40歳～49歳	受診者数	1,238	1,282	1,345	1,366	1,420	1,504	1,620
	有所見者数	435	467	436	457	446	536	568
	有所見率	35.1%	36.4%	32.4%	33.5%	31.4%	35.6%	35.1%
50歳～59歳	受診者数	1,359	1,403	1,431	1,502	1,451	1,511	1,575
	有所見者数	505	492	494	520	479	623	657
	有所見率	37.2%	35.1%	34.5%	34.6%	33.0%	41.2%	41.7%
60歳以上	受診者数	816	910	930	931	994	1076	1096
	有所見者数	223	242	240	237	267	339	314
	有所見率	27.3%	26.6%	25.8%	25.5%	26.9%	31.5%	28.6%
合計	受診者数	4,743	4,919	5,177	5,341	5,478	5,701	5,911
	有所見者数	1,401	1,453	1,550	1,586	1,581	1,869	1,935
	有所見率	29.5%	29.5%	29.9%	29.7%	28.9%	32.8%	32.7%

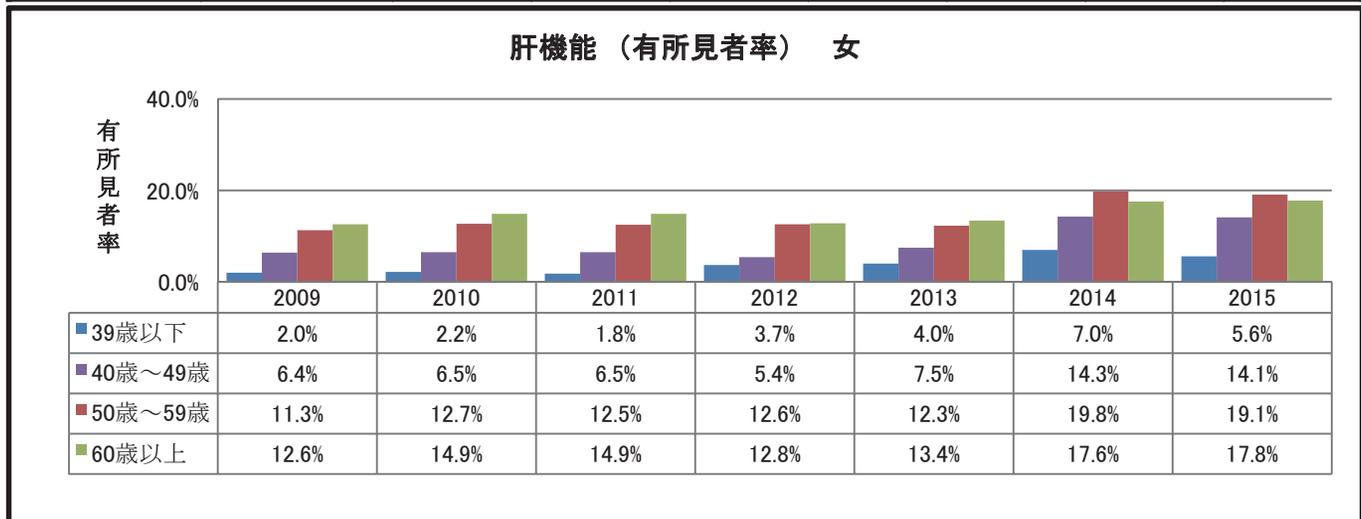


(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	異常なし	876	848	994	973	990	955	1043
	軽度異常	38	54	45	47	54	36	34
	経過観察	5	10	13	32	32	61	52
	要治療	0	0	0	-	-	0	-
	要精査	12	9	5	6	10	12	12
	治療継続	2	1	1	1	1	2	-
	計	933	922	1,058	1,059	1,087	1,066	1,141
40歳～49歳	異常なし	831	930	931	932	887	986	1013
	軽度異常	101	116	107	91	129	52	67
	経過観察	33	46	50	37	64	149	139
	要治療	0	1	0	-	-	0	-
	要精査	31	24	21	20	15	23	37
	治療継続	0	2	1	1	3	1	1
	計	996	1,119	1,110	1,081	1,098	1,211	1,257
50歳～59歳	異常なし	733	802	820	915	897	843	921
	軽度異常	138	143	142	125	162	106	102
	経過観察	66	91	93	102	106	198	191
	要治療	2	0	0	-	-	1	-
	要精査	41	43	43	44	40	35	49
	治療継続	2	3	2	4	2	1	1
	計	982	1,082	1,100	1,190	1,207	1,184	1,264
60歳以上	異常なし	290	346	355	418	421	444	477
	軽度異常	57	64	72	65	84	61	69
	経過観察	31	50	53	44	54	92	100
	要治療	0	0	0	-	-	0	-
	要精査	18	19	17	24	22	13	17
	治療継続	1	3	5	3	2	3	1
	計	397	482	502	554	583	613	664
39歳以下	受診者数	933	922	1,058	1,059	1,087	1,066	1,141
	有所見者数	19	20	19	39	43	75	64
	有所見率	2.0%	2.2%	1.8%	3.7%	4.0%	7.0%	5.6%
40歳～49歳	受診者数	996	1,119	1,110	1,081	1,098	1,211	1,257
	有所見者数	64	73	72	58	82	173	177
	有所見率	6.4%	6.5%	6.5%	5.4%	7.5%	14.3%	14.1%
50歳～59歳	受診者数	982	1,082	1,100	1,190	1,207	1,184	1,264
	有所見者数	111	137	138	150	148	235	241
	有所見率	11.3%	12.7%	12.5%	12.6%	12.3%	19.8%	19.1%
60歳以上	受診者数	397	482	502	554	583	613	664
	有所見者数	50	72	75	71	78	108	118
	有所見率	12.6%	14.9%	14.9%	12.8%	13.4%	17.6%	17.8%
合計	受診者数	3,308	3,605	3,770	3,884	3,975	4,074	4,326
	有所見者数	244	302	304	318	351	591	600
	有所見率	7.4%	8.4%	8.1%	8.2%	8.8%	14.5%	13.9%



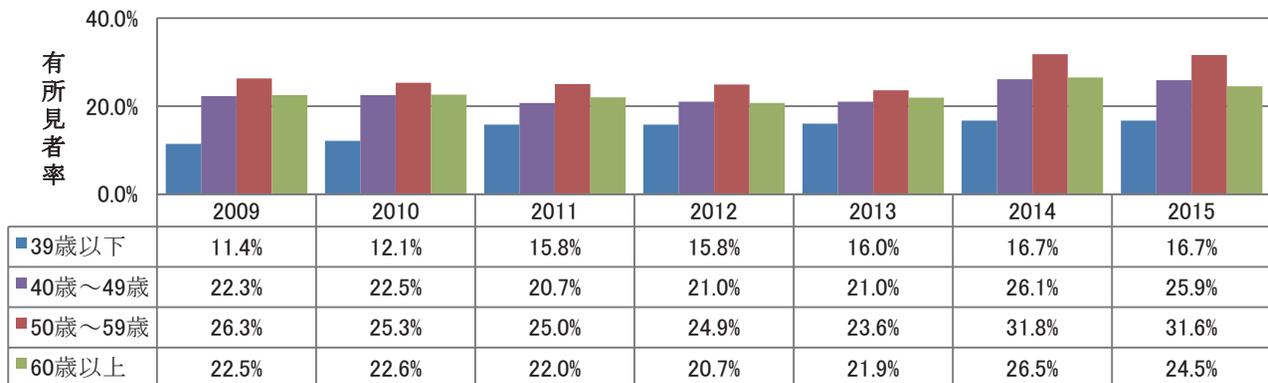
(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

男女

以下のデータは、当法人において各種健康診断をはじめ人間ドック等を受診された住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づいて集計・分類したものである。

年齢	判定	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
39歳以下	受診者数	2,263	2,246	2,529	2,601	2,700	2,676	2,761
	有所見者数	257	272	399	411	432	446	460
	有所見率	11.4%	12.1%	15.8%	15.8%	16.0%	16.7%	16.7%
40歳～49歳	受診者数	2,234	2,401	2,455	2,447	2,518	2,715	2,877
	有所見者数	499	540	508	515	528	709	745
	有所見率	22.3%	22.5%	20.7%	21.0%	21.0%	26.1%	25.9%
50歳～59歳	受診者数	2,341	2,485	2,531	2,692	2,658	2,695	2,839
	有所見者数	616	629	632	670	627	858	898
	有所見率	26.3%	25.3%	25.0%	24.9%	23.6%	31.8%	31.6%
60歳以上	受診者数	1,213	1,392	1,432	1,485	1,577	1,689	1,760
	有所見者数	273	314	315	308	345	447	432
	有所見率	22.5%	22.6%	22.0%	20.7%	21.9%	26.5%	24.5%
合計	受診者数	8,051	8,524	8,947	9,225	9,453	9,775	10,237
	有所見者数	1,645	1,755	1,854	1,904	1,932	2,460	2,535
	有所見率	20.4%	20.6%	20.7%	20.6%	20.4%	25.2%	24.8%

肝機能（有所見者率） 男女合計



(注) 有所見者とは、経過観察（経過を見ていく必要ありと判断された者）、要治療（治療を要すると判断された者）、要精査（精密検査を必要とすると判断された者）、治療継続（現在、治療をされている者）に該当する者をいう。

肝機能（有所見者数・率）について、過去7年間（2009年～2015年）の推移を見ると、

- ・男性では、全年齢層で有所見率が上昇している。特に、39歳以下の年齢層で有所見率の上昇が比較的大きい点については、注意を要すると考えられる。背景要因として、一つには男性では全年齢層において、肥満の有所見率の上昇が関連していることが考えられる。
- ・女性では、全年齢層で有所見率が上昇している。特に、40歳以上の年齢層で有所見率の上昇が比較的大きい点については、注意を要すると考えられる。背景要因として、一つには女性では全年齢層において、肥満の有所見率の上昇が緩やかに関連していることが考えられる。

⑦ 主要6項目の全国との比較 ～2009年/2012年/2015年度結果より～

当法人における2009、2012、2015年度の3カ年度の健診データについて比較した。

下表における法人データとは、当法人において健康診断をはじめ人間ドック等を受けた住民の皆さんの健診結果を当法人の判定基準に基づき集計したものである。

(注) 当法人での判定基準における有所見者とは、当法人規程での経過観察(経過を見ていく必要ありと判断された者)、要治療(治療を要すると判断された者)、要精査(精密検査を必要とする)と判断された者、治療継続(現在、治療をされている者)に該当する者をいう。

(注) 参考資料として引用している日本人間ドック学会2009年、2012年、2015年度の全国集計成績における判定基準は、日本人間ドック学会規定によるものである。

2009年度比較

法人データ(出雲圏域中心)

年齢	性別		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	比率
肥満	男	受診者	1,595	1,244	1,379	837	5,055	
		有所見	448	418	406	228	1,500	29.7%
	女	受診者	1,060	1,006	996	400	3,462	
		有所見	314	234	234	92	874	25.2%
	合計	受診者	2,655	2,250	2,375	1,237	8,517	
		有所見	762	652	640	320	2,374	27.9%
血糖値	男	受診者	1,558	1,245	1,375	836	5,014	
		有所見	41	131	274	192	638	12.7%
	女	受診者	1,046	1,006	995	400	3,447	
		有所見	6	18	77	69	170	4.9%
	合計	受診者	2,604	2,251	2,370	1,236	8,461	
		有所見	47	149	351	261	808	9.5%
血圧	男	受診者	1,595	1,244	1,378	837	5,054	
		有所見	95	215	407	336	1,053	20.8%
	女	受診者	1,060	1,006	996	400	3,462	
		有所見	10	57	202	124	393	11.4%
	合計	受診者	2,655	2,250	2,374	1,237	8,516	
		有所見	105	272	609	460	1,446	17.0%
総コレステロール	男	受診者	1,404	1,232	1,345	781	4,762	
		有所見	310	439	479	230	1,458	30.6%
	女	受診者	921	958	921	309	3,109	
		有所見	99	259	508	152	1,018	32.7%
	合計	受診者	2,325	2,190	2,266	1,090	7,871	
		有所見	409	698	987	382	2,476	31.5%
中性脂肪	男	受診者	1,448	1,243	1,361	823	4,875	
		有所見	166	222	211	105	704	14.4%
	女	受診者	1,014	1,001	987	402	3,404	
		有所見	10	15	36	23	84	2.5%
	合計	受診者	2,462	2,244	2,348	1,225	8,279	
		有所見	176	237	247	128	788	9.5%
肝機能	男	受診者	1,330	1,238	1,359	816	4,743	
		有所見	238	435	505	223	1,401	29.5%
	女	受診者	933	996	982	397	3,308	
		有所見	19	64	111	50	244	7.4%
	合計	受診者	2,263	2,234	2,341	1,213	8,051	
		有所見	257	499	616	273	1,645	20.4%

人間ドック学会データ(全国)

人間ドック学会2009年全国集計成績(参考資料)

年齢	性別		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	比率
肥満	男	受診者	281,313	564,507	589,922	393,183	1,828,925	
		有所見	79,190	183,802	194,149	107,624	564,765	30.9%
	女	受診者	208,952	368,156	370,919	231,993	1,180,020	
		有所見	31,866	65,830	78,395	21,111	225,911	19.1%
	合計	受診者	490,265	932,663	960,841	625,176	3,008,945	
		有所見	111,056	249,632	272,544	157,444	790,676	26.3%
血糖値	男	受診者	281,313	564,507	589,922	393,183	1,828,925	
		有所見	23,649	90,960	157,970	125,231	397,810	21.8%
	女	受診者	208,952	368,156	370,919	231,993	1,180,020	
		有所見	8,693	28,685	62,448	58,630	158,456	13.4%
	合計	受診者	490,265	932,663	960,841	625,176	3,008,945	
		有所見	32,342	119,645	220,418	183,861	556,266	18.5%
血圧	男	受診者	281,313	564,507	589,922	393,183	1,828,925	
		有所見	19,830	83,947	155,896	135,602	395,275	21.6%
	女	受診者	208,952	368,156	370,919	231,993	1,180,020	
		有所見	5,920	24,577	59,936	64,159	154,592	13.1%
	合計	受診者	490,265	932,663	960,841	625,176	3,008,945	
		有所見	25,750	108,524	215,832	199,761	549,867	18.3%
総コレステロール	男	受診者	281,313	564,507	589,922	393,183	1,828,925	
		有所見	58,198	152,383	171,934	105,366	487,881	26.7%
	女	受診者	208,952	368,156	370,919	231,993	1,180,020	
		有所見	20,193	64,432	135,074	90,010	309,709	26.2%
	合計	受診者	490,265	932,663	960,841	625,176	3,008,945	
		有所見	78,391	216,815	307,008	195,376	797,590	26.5%
中性脂肪	男	受診者	281,313	564,507	589,922	393,183	1,828,925	
		有所見	41,892	107,887	115,948	61,719	327,446	17.9%
	女	受診者	208,952	368,156	370,919	231,993	1,180,020	
		有所見	6,902	18,505	37,060	29,849	92,316	7.8%
	合計	受診者	490,265	932,663	960,841	625,176	3,008,945	
		有所見	48,794	126,392	153,008	91,568	419,762	14.0%
肝機能	男	受診者	281,313	564,507	589,922	393,183	1,828,925	
		有所見	75,121	184,283	200,469	113,859	573,732	31.4%
	女	受診者	208,952	368,156	370,919	231,993	1,180,020	
		有所見	21,147	50,986	77,980	52,943	203,056	17.2%
	合計	受診者	490,265	932,663	960,841	625,176	3,008,945	
		有所見	96,268	235,269	278,449	166,802	776,788	25.8%

2012年度比較

法人データ (出雲圏域中心)

年齢	性別		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	比率
肥満	男	受診者	1,674	1,378	1,533	965	5,550	
		有所見	477	496	544	321	1,838	33.1%
	女	受診者	1,144	1,084	1,193	555	3,976	
		有所見	307	284	279	156	1,026	25.8%
	合計	受診者	2,818	2,462	2,726	1,520	9,526	
		有所見	784	780	823	477	2,864	30.1%
血糖値	男	受診者	1,674	1,379	1,533	966	5,552	
		有所見	46	123	301	229	699	12.6%
	女	受診者	1,144	1,084	1,193	556	3,977	
		有所見	9	18	71	58	156	3.9%
	合計	受診者	2,818	2,463	2,726	1,522	9,529	
		有所見	55	141	372	287	855	9.0%
血圧	男	受診者	1,674	1,378	1,533	965	5,550	
		有所見	95	248	518	462	1,323	23.8%
	女	受診者	1,144	1,084	1,193	555	3,976	
		有所見	24	78	208	202	512	12.9%
	合計	受診者	2,818	2,462	2,726	1,520	9,526	
		有所見	119	326	726	664	1,835	19.3%
総コレステロール	男	受診者	1,543	1,363	1,489	887	5,282	
		有所見	420	578	605	294	1,897	35.9%
	女	受診者	1,049	1,039	1,132	464	3,684	
		有所見	194	313	633	256	1,396	37.9%
	合計	受診者	2,592	2,402	2,621	1,351	8,966	
		有所見	614	891	1,238	550	3,293	36.7%
中性脂肪	男	受診者	1,544	1,367	1,502	935	5,348	
		有所見	160	246	266	116	788	14.7%
	女	受診者	1,059	1,081	1,190	554	3,884	
		有所見	20	19	30	24	93	2.4%
	合計	受診者	2,603	2,448	2,692	1,489	9,232	
		有所見	180	265	296	140	881	9.5%
肝機能	男	受診者	1,542	1,366	1,502	931	5,341	
		有所見	372	457	520	237	1,586	29.7%
	女	受診者	1,059	1,081	1,190	554	3,884	
		有所見	39	58	150	71	318	8.2%
	合計	受診者	2,601	2,447	2,692	1,485	9,225	
		有所見	411	515	670	308	1,904	20.6%

人間ドック学会データ (全国)

人間ドック学会2012年全国集計成績 (参考資料)

年齢	性別		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	比率
肥満	男	受診者	252,984	593,430	604,162	446,885	1,897,461	
		有所見	74,498	208,626	221,039	143,168	647,331	34.1%
	女	受診者	190,984	408,210	388,867	270,168	1,258,229	
		有所見	40,669	82,903	89,766	63,096	276,434	22.0%
	合計	受診者	443,968	1,001,640	993,029	717,053	3,155,690	
		有所見	115,167	291,529	310,805	206,264	923,765	29.3%
血糖値	男	受診者	252,984	593,430	604,162	446,885	1,897,461	
		有所見	24,334	111,523	190,869	181,933	508,659	26.8%
	女	受診者	190,984	408,210	388,867	270,168	1,258,229	
		有所見	9,247	36,864	78,994	86,663	211,768	16.8%
	合計	受診者	443,968	1,001,640	993,029	717,053	3,155,690	
		有所見	33,581	148,387	269,863	272,597	720,427	22.8%
血圧	男	受診者	252,984	593,430	604,162	446,885	1,897,461	
		有所見	20,595	101,923	190,479	186,248	499,245	26.3%
	女	受診者	190,984	408,210	388,867	270,168	1,258,229	
		有所見	6,369	30,336	69,613	86,214	192,532	15.3%
	合計	受診者	443,968	1,001,640	993,029	717,053	3,155,690	
		有所見	26,964	132,259	260,092	272,462	691,777	21.9%
総コレステロール	男	受診者	252,984	593,430	604,162	446,885	1,897,461	
		有所見	64,189	192,316	210,211	144,214	610,930	32.2%
	女	受診者	190,984	408,210	388,867	270,168	1,258,229	
		有所見	22,106	79,704	159,886	120,430	382,126	30.4%
	合計	受診者	443,968	1,001,640	993,029	717,053	3,155,690	
		有所見	86,295	272,020	370,097	264,644	993,056	31.5%
中性脂肪	男	受診者	252,984	593,430	604,162	446,885	1,897,461	
		有所見	42,680	128,968	134,817	83,939	390,404	20.6%
	女	受診者	190,984	408,210	388,867	270,168	1,258,229	
		有所見	7,473	22,262	41,544	39,713	110,992	8.8%
	合計	受診者	443,968	1,001,640	993,029	717,053	3,155,690	
		有所見	50,153	151,230	176,361	123,652	501,396	15.9%
肝機能	男	受診者	252,984	593,430	604,162	446,885	1,897,461	
		有所見	87,683	245,714	256,934	167,823	758,154	40.0%
	女	受診者	190,984	408,210	388,867	270,168	1,258,229	
		有所見	23,818	68,375	97,613	74,662	264,468	21.0%
	合計	受診者	443,968	1,001,640	993,029	717,053	3,155,690	
		有所見	111,501	314,089	354,547	242,485	1,022,622	32.4%

2015年度比較

法人データ (出雲圏域中心)

年齢	性別		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	比率
肥満	男	受診者	1,743	1,617	1,595	1,118	6,073	
		有所見	628	717	761	549	2,655	43.7%
	女	受診者	1,291	1,267	1,273	678	4,509	
		有所見	412	395	361	203	1,371	30.4%
	合計	受診者	3,034	2,884	2,868	1,796	10,582	
		有所見	1,040	1,112	1,122	752	4,026	38.0%
血糖値	男	受診者	1,752	1,617	1,595	1,117	6,081	
		有所見	124	303	580	487	1,494	24.6%
	女	受診者	1,294	1,269	1,274	678	4,515	
		有所見	19	94	200	199	512	11.3%
	合計	受診者	3,046	2,886	2,869	1,795	10,596	
		有所見	143	397	780	686	2,006	18.9%
血圧	男	受診者	1,743	1,617	1,595	1,118	6,073	
		有所見	167	366	664	600	1,797	29.6%
	女	受診者	1,291	1,267	1,273	678	4,509	
		有所見	27	125	290	260	702	15.6%
	合計	受診者	3,034	2,884	2,868	1,796	10,582	
		有所見	194	491	954	860	2,499	23.6%
総コレステロール	男	受診者	1,604	1,601	1,592	1,118	5,915	
		有所見	403	595	602	340	1,940	32.8%
	女	受診者	1,131	1,250	1,256	667	4,304	
		有所見	179	346	711	340	1,576	36.6%
	合計	受診者	2,735	2,851	2,848	1,785	10,219	
		有所見	582	941	1,313	680	3,516	34.4%
中性脂肪	男	受診者	1,610	1,615	1,601	1,164	5,990	
		有所見	160	232	233	123	748	12.5%
	女	受診者	1,140	1,268	1,276	715	4,399	
		有所見	13	27	37	32	109	2.5%
	合計	受診者	2,750	2,883	2,877	1,879	10,389	
		有所見	173	259	270	155	857	8.2%
肝機能	男	受診者	1,620	1,620	1,575	1,096	5,911	
		有所見	396	568	657	314	1,935	32.7%
	女	受診者	1,141	1,257	1,264	664	4,326	
		有所見	64	177	241	118	600	13.9%
	合計	受診者	2,761	2,877	2,839	1,760	10,237	
		有所見	460	745	898	432	2,535	24.8%

人間ドック学会データ (全国)

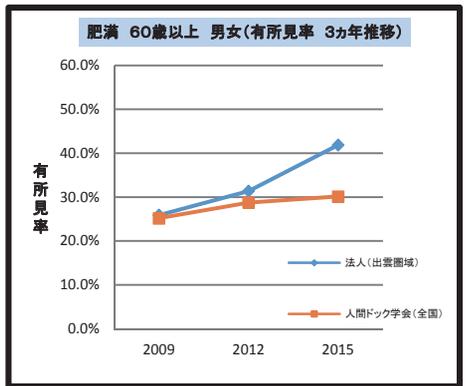
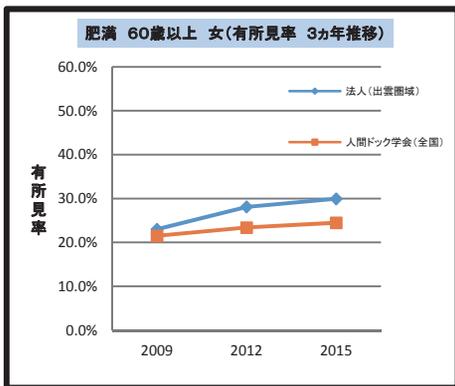
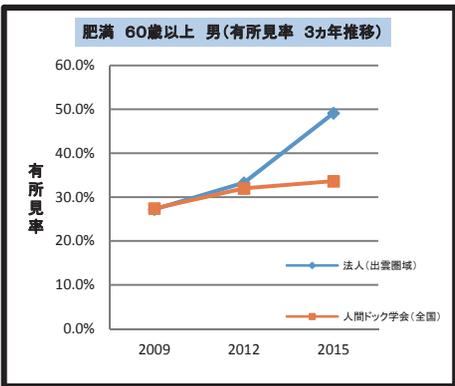
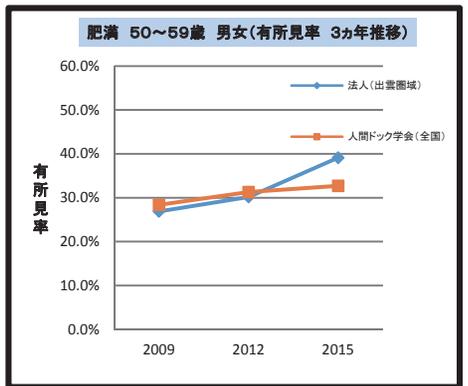
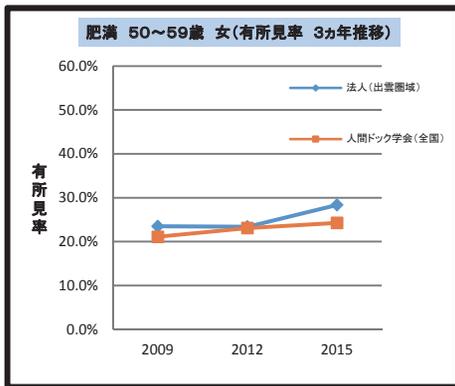
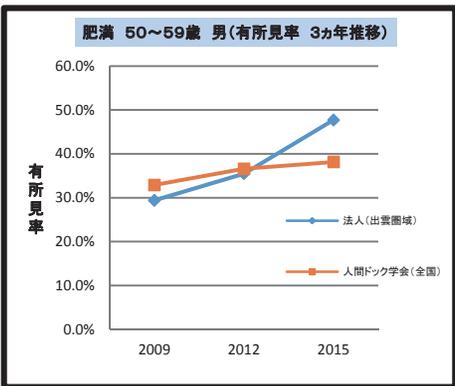
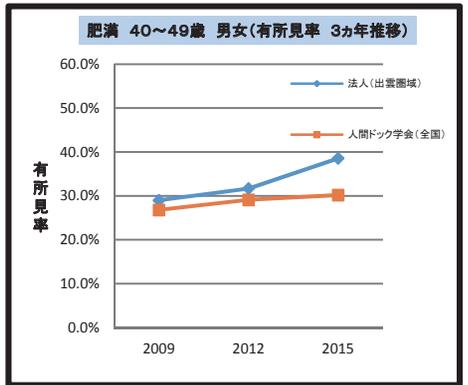
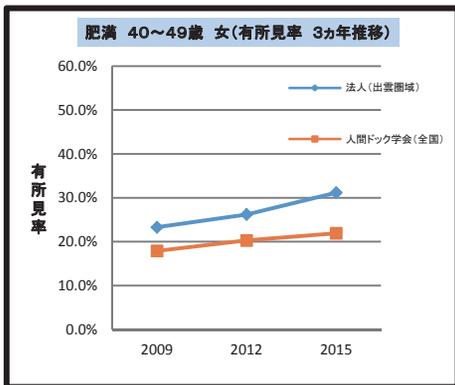
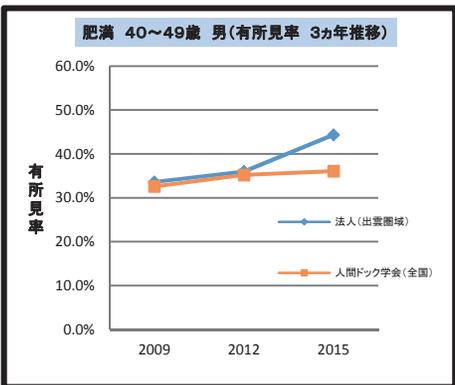
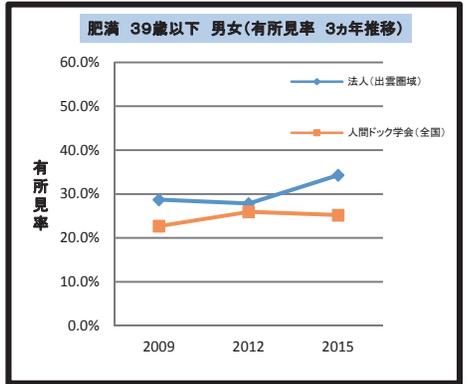
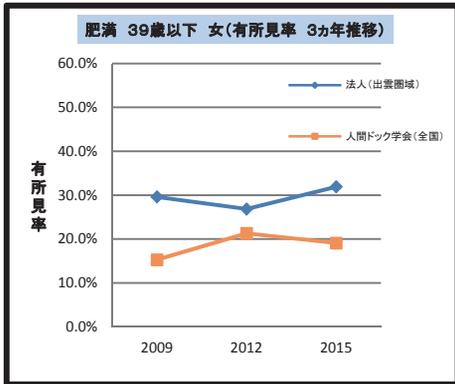
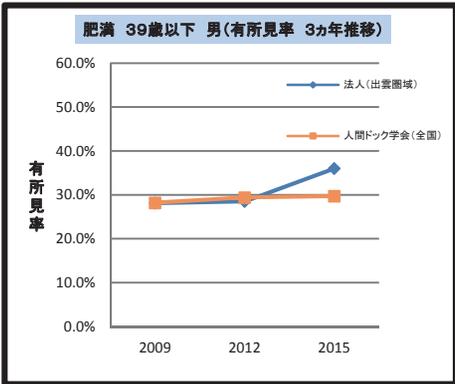
人間ドック学会2015年全国集計成績 (参考資料)

年齢	性別		39歳以下	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	比率
肥満	男	受診者	217,155	580,750	603,537	488,969	1,890,411	
		有所見	64,574	209,477	230,241	164,501	668,793	35.4%
	女	受診者	163,053	414,842	389,183	305,328	1,272,406	
		有所見	31,159	90,995	94,444	74,771	291,369	22.9%
	合計	受診者	380,208	995,592	992,720	794,297	3,162,817	
		有所見	95,733	300,472	324,685	239,272	960,162	30.4%
血糖値	男	受診者	217,155	580,750	603,537	488,969	1,890,411	
		有所見	22,155	114,871	197,189	212,099	546,314	28.9%
	女	受診者	163,053	414,842	389,183	305,328	1,272,406	
		有所見	8,564	39,814	82,205	105,128	235,711	18.5%
	合計	受診者	380,208	995,592	992,720	794,297	3,162,817	
		有所見	30,719	154,685	279,394	317,227	782,025	24.7%
血圧	男	受診者	217,155	580,750	603,537	488,969	1,890,411	
		有所見	18,169	104,623	202,111	221,298	546,201	28.9%
	女	受診者	163,053	414,842	389,183	305,328	1,272,406	
		有所見	5,648	32,803	71,409	102,815	212,675	16.7%
	合計	受診者	380,208	995,592	992,720	794,297	3,162,817	
		有所見	23,817	137,426	273,520	324,113	758,876	24.0%
総コレステロール	男	受診者	217,155	580,750	603,537	488,969	1,890,411	
		有所見	55,666	197,242	221,533	170,539	644,980	34.1%
	女	受診者	163,053	414,842	389,183	305,328	1,272,406	
		有所見	19,717	82,885	165,499	144,636	412,737	32.4%
	合計	受診者	380,208	995,592	992,720	794,297	3,162,817	
		有所見	75,383	280,127	387,032	315,175	1,057,717	33.4%
中性脂肪	男	受診者	217,155	580,750	603,537	488,969	1,890,411	
		有所見	27,839	103,889	119,025	82,970	333,723	17.7%
	女	受診者	163,053	414,842	389,183	305,328	1,272,406	
		有所見	5,351	18,160	33,770	39,744	97,025	7.6%
	合計	受診者	380,208	995,592	992,720	794,297	3,162,817	
		有所見	33,190	122,049	152,795	122,714	430,748	13.6%
肝機能	男	受診者	217,155	580,750	603,537	488,969	1,890,411	
		有所見	73,993	238,073	258,386	189,503	759,955	40.2%
	女	受診者	163,053	414,842	389,183	305,328	1,272,406	
		有所見	22,623	75,487	103,093	88,521	289,724	22.8%
	合計	受診者	380,208	995,592	992,720	794,297	3,162,817	
		有所見	96,616	313,560	361,479	278,024	1,049,679	33.2%

6項目年代別グラフ

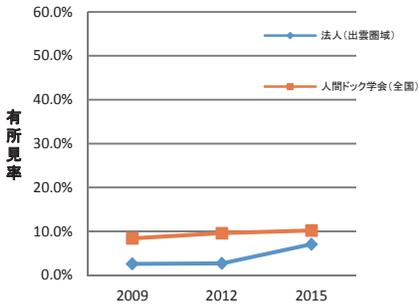
< 人間ドック学会との比較 >

肥満

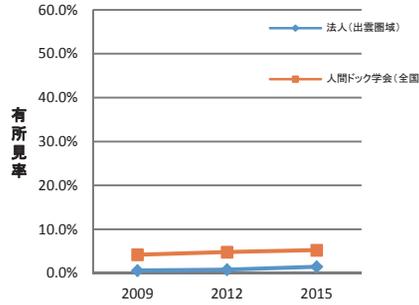


血糖値

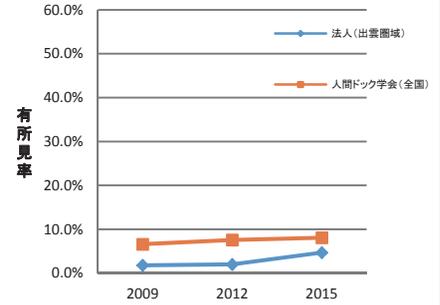
血糖値 39歳以下 男(有所見率 3か年推移)



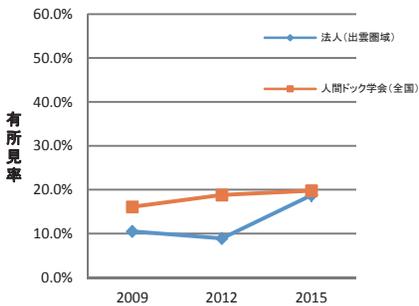
血糖値 39歳以下 女(有所見率 3か年推移)



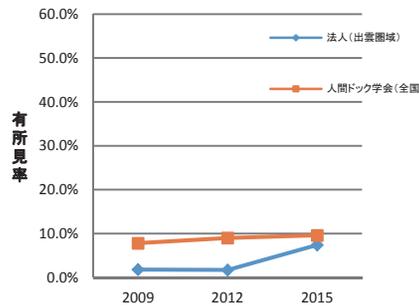
血糖値 39歳以下 男女(有所見率 3か年推移)



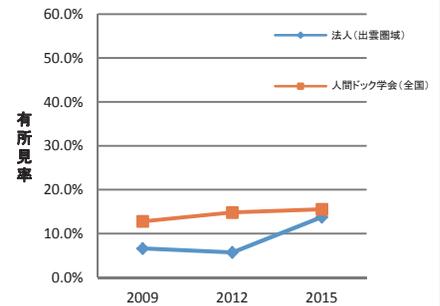
血糖値 40~49歳 男(有所見率 3か年推移)



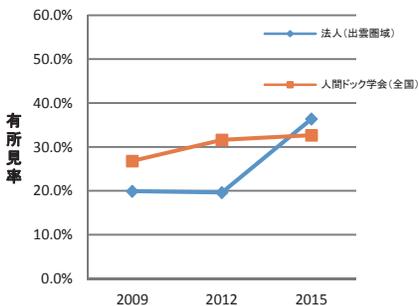
血糖値 40~49歳 女(有所見率 3か年推移)



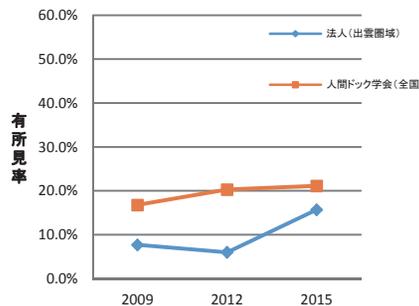
血糖値 40~49歳 男女(有所見率 3か年推移)



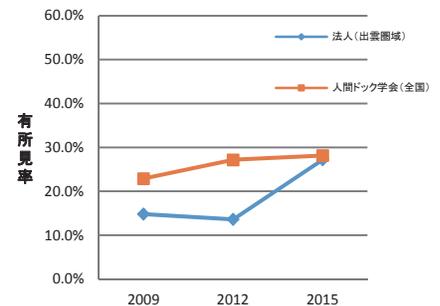
血糖値 50~59歳 男(有所見率 3か年推移)



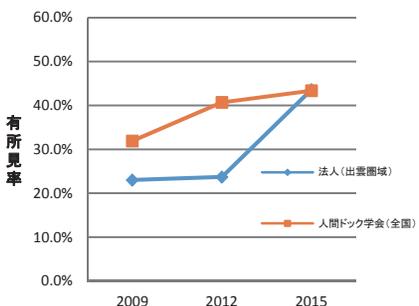
血糖値 50~59歳 女(有所見率 3か年推移)



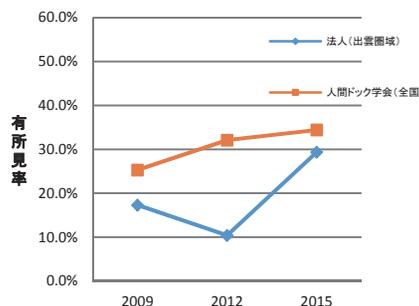
血糖値 50~59歳 男女(有所見率 3か年推移)



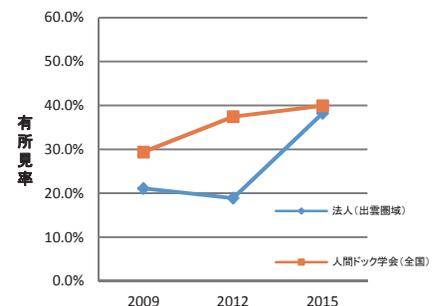
血糖値 60歳以上 男(有所見率 3か年推移)



血糖値 60歳以上 女(有所見率 3か年推移)

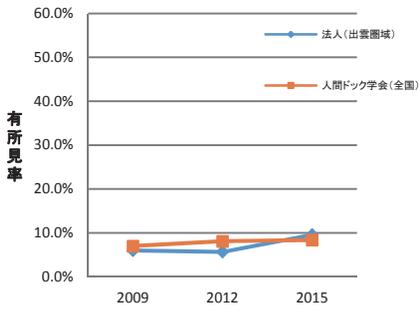


血糖値 60歳以上 男女(有所見率 3か年推移)

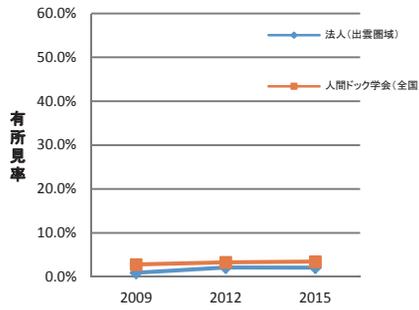


血圧

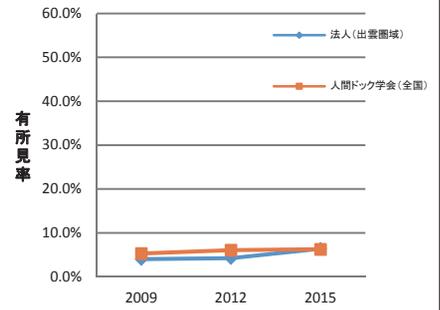
血圧 39歳以下 男(有所見率 3カ年推移)



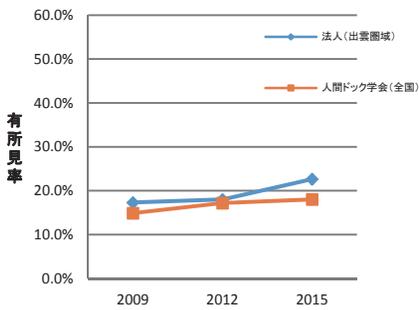
血圧 39歳以下 女(有所見率 3カ年推移)



血圧 39歳以下 男女(有所見率 3カ年推移)



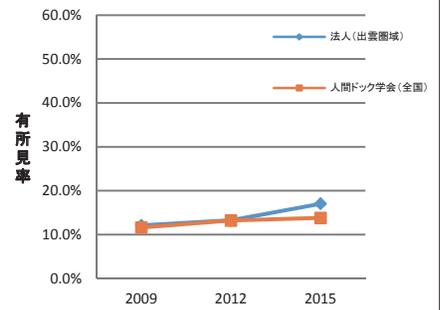
血圧 40~49歳 男(有所見率 3カ年推移)



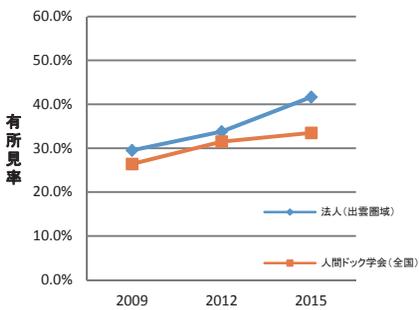
血圧 40~49歳 女(有所見率 3カ年推移)



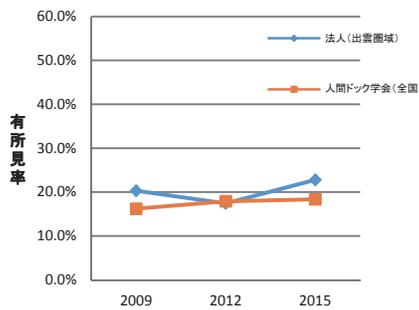
血圧 40~49歳 男女(有所見率 3カ年推移)



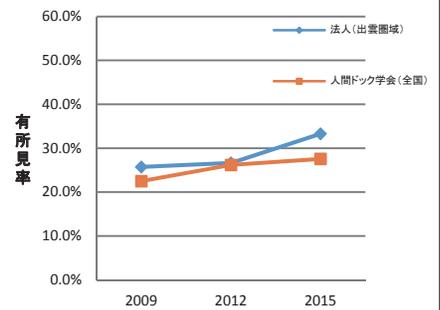
血圧 50~59歳 男(有所見率 3カ年推移)



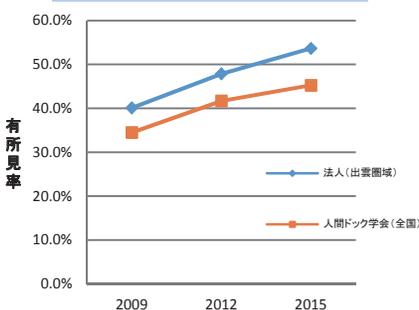
血圧 50~59歳 女(有所見率 3カ年推移)



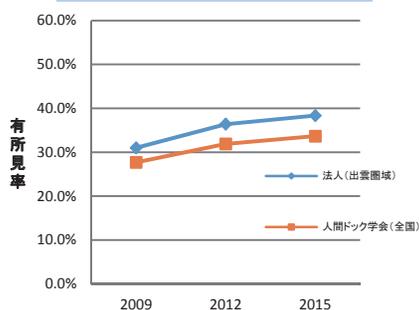
血圧 50~59歳 男女(有所見率 3カ年推移)



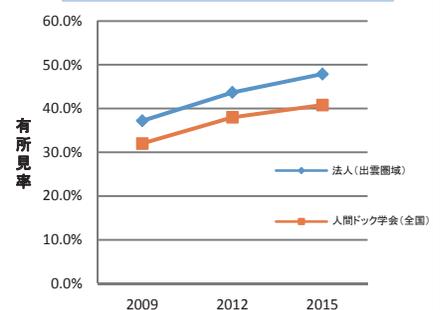
血圧 60歳以上 男(有所見率 3カ年推移)



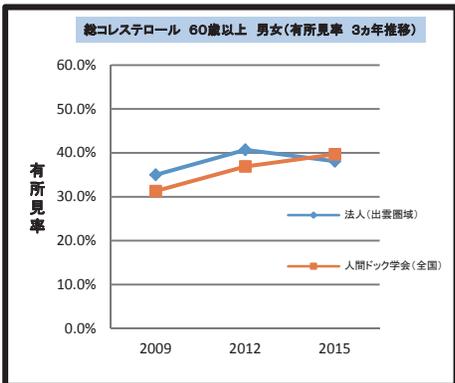
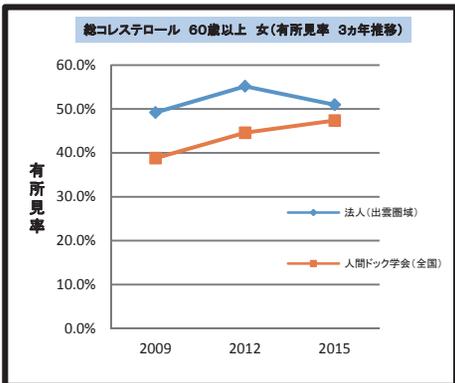
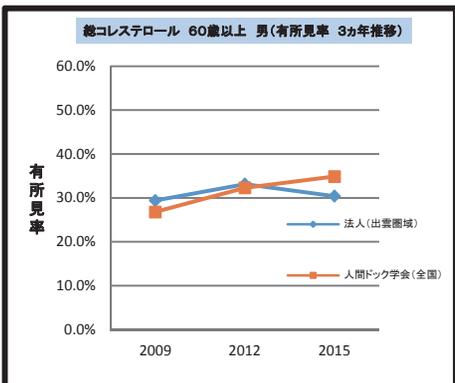
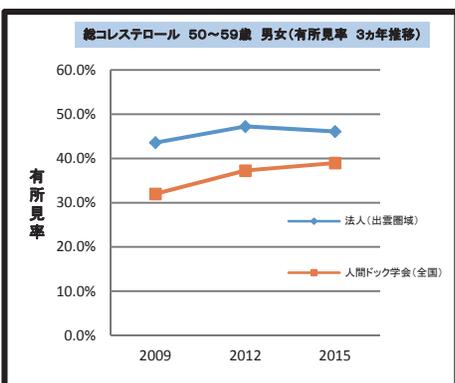
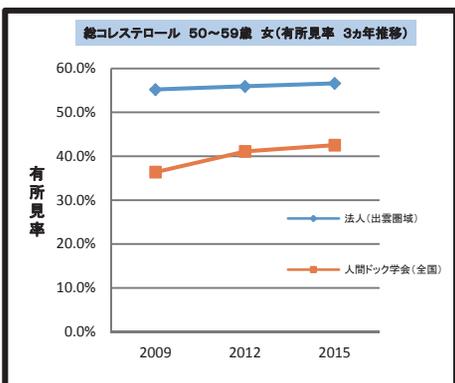
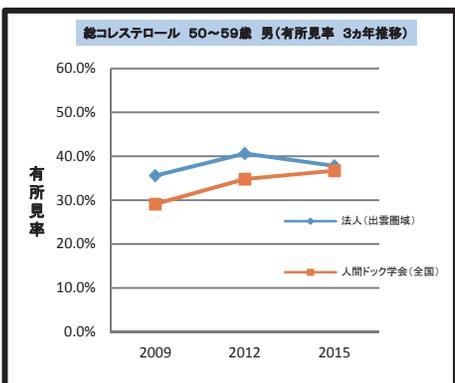
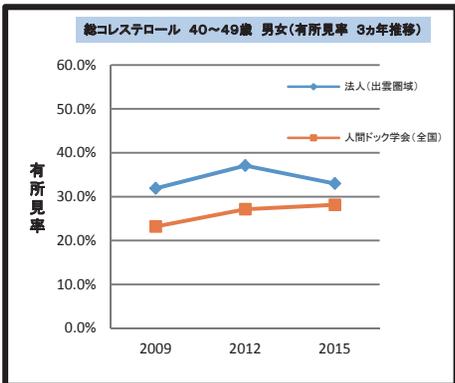
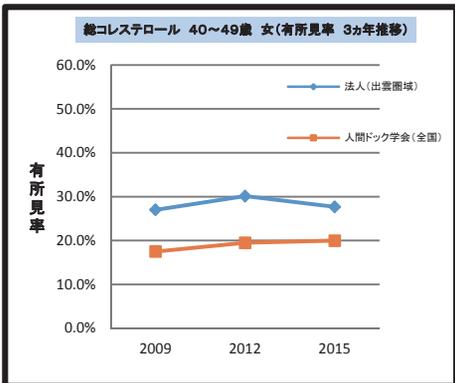
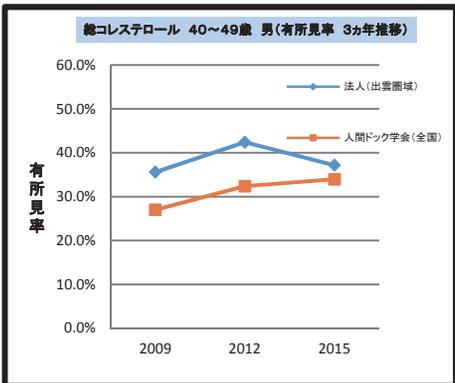
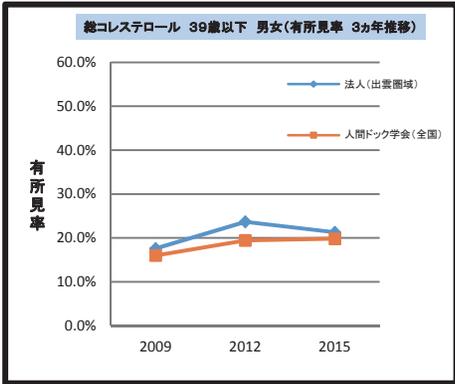
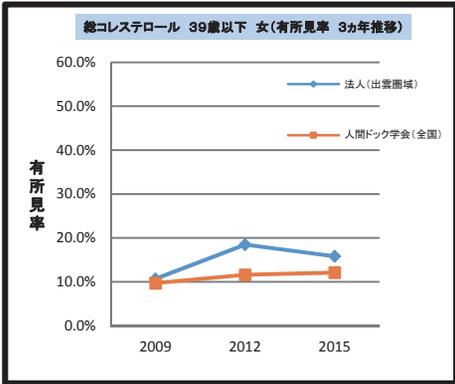
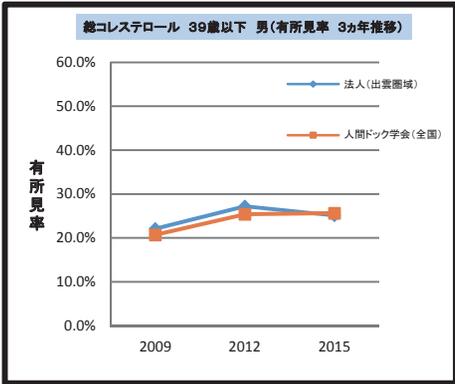
血圧 60歳以上 女(有所見率 3カ年推移)



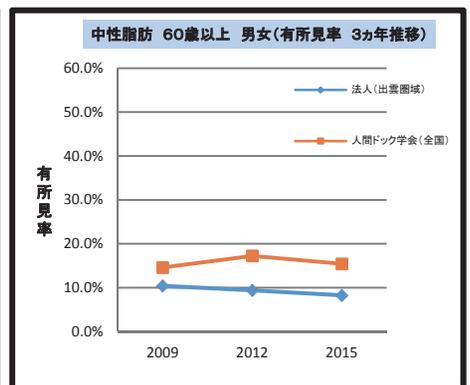
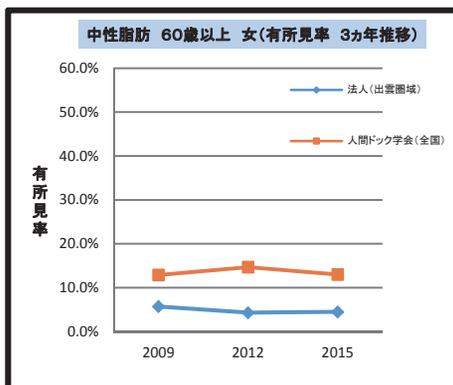
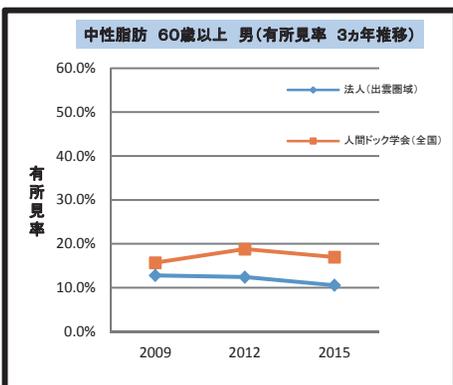
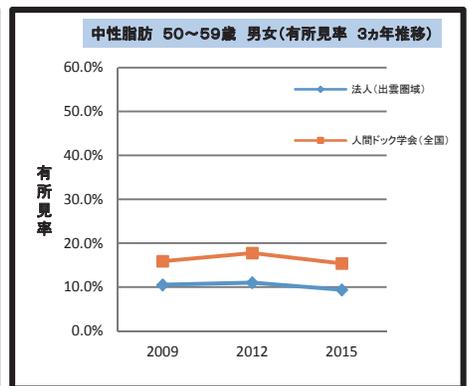
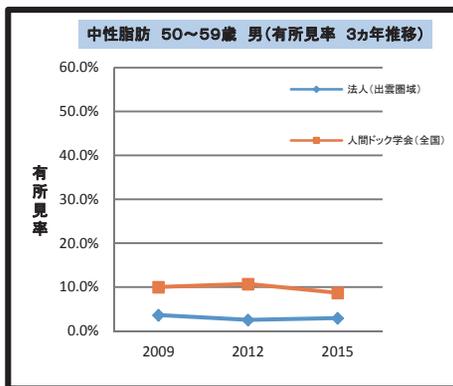
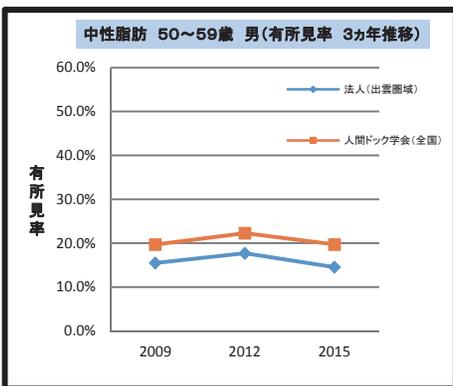
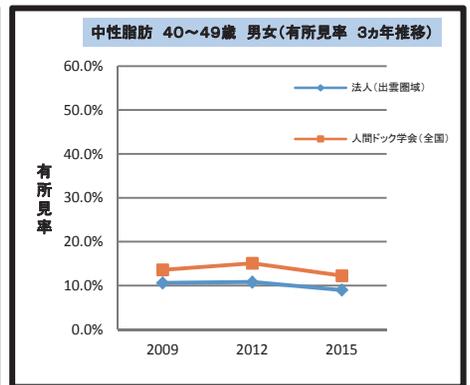
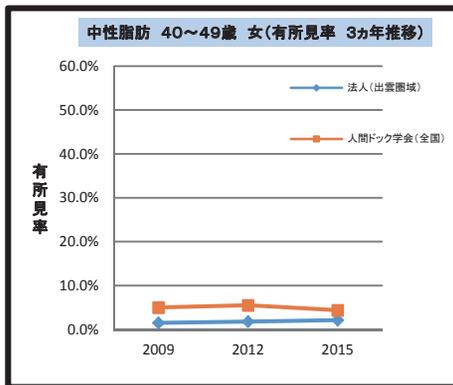
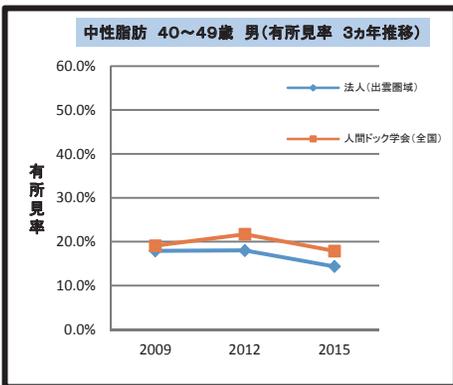
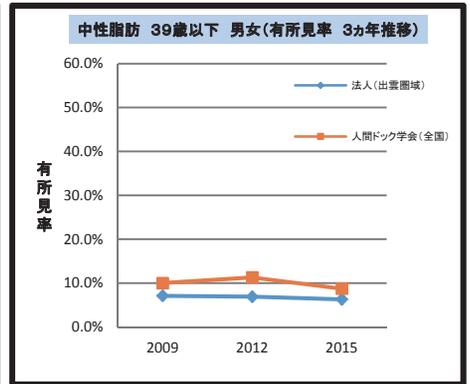
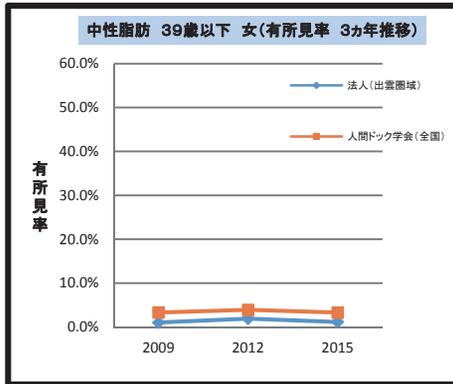
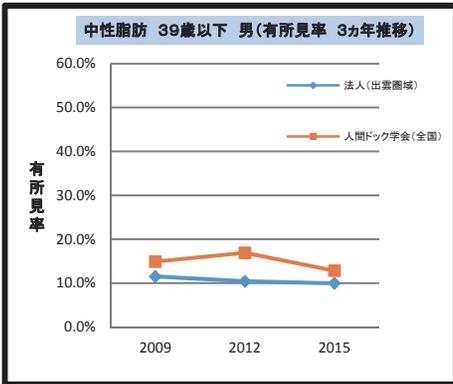
血圧 60歳以上 男女(有所見率 3カ年推移)



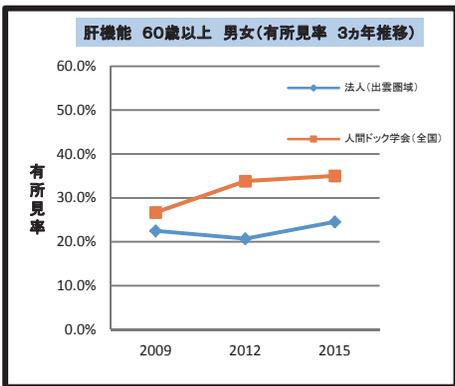
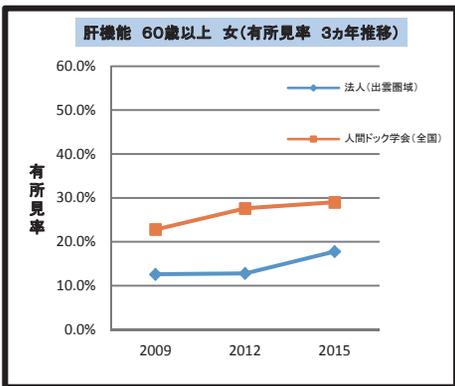
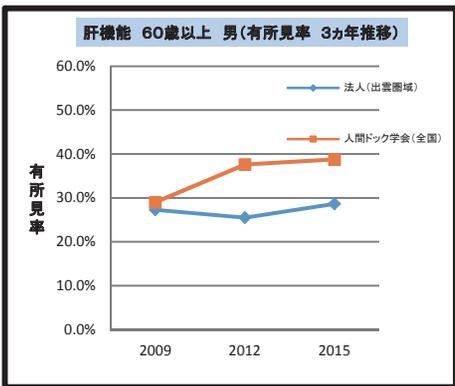
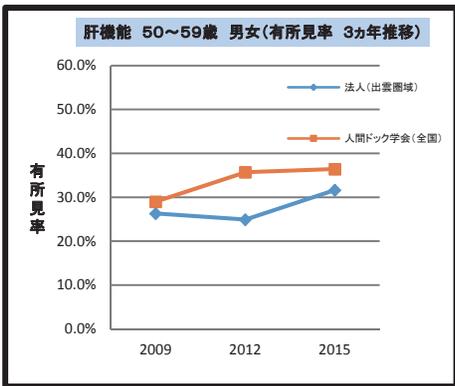
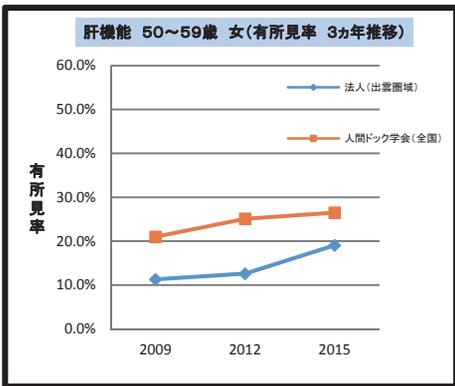
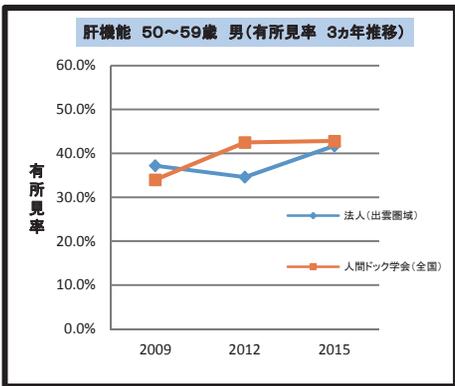
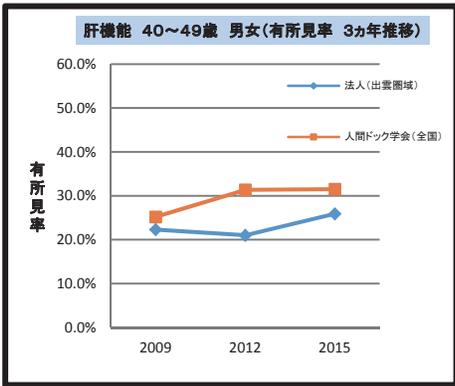
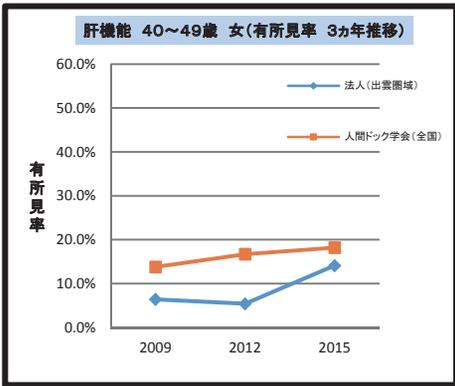
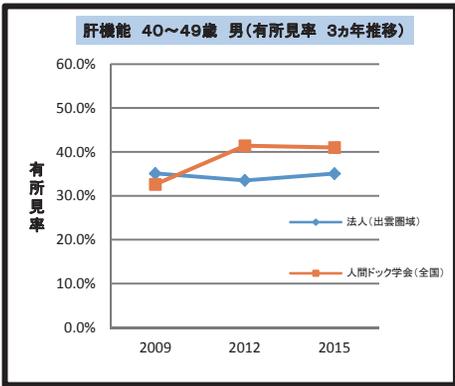
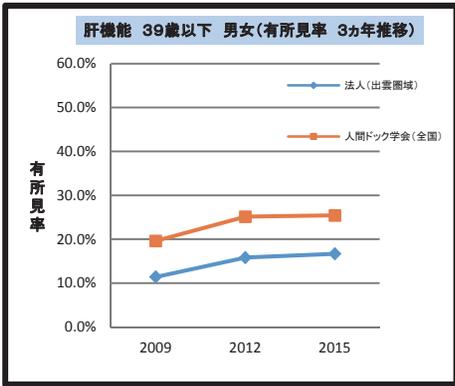
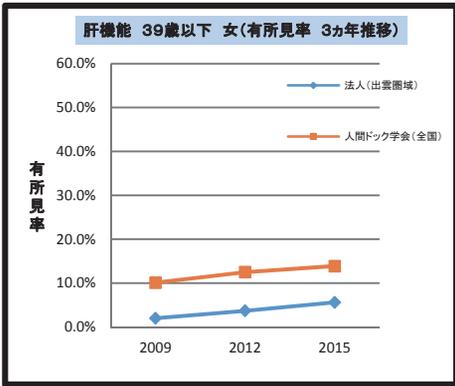
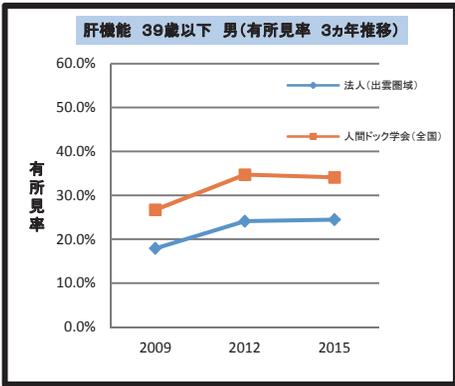
総コレステロール



中性脂肪



肝機能



①各年度（2009年度、2012年度、2015年度）の出雲圏域の受診者を中心とした当健診センターのデータは、人間ドック学会が公表している全国のデータと比較して、以下の特徴がみられる。

- 肥満の有所見率は、2012年までは全年齢層で全国平均と同じ水準であったが、2015年には全年齢層で全国平均を10%程度上回っている。特に、男性の40歳以上の年齢層で、2012年から2015年にかけての有所見率の上昇が10%程度以上となっており、その様な傾向が著明に認められる。
- 血糖値の有所見率は、2012年までは全年齢層で全国平均を平均して10%程度下回っていたが、2015年には全年齢層で全国平均と同じ水準まで上昇している。特に、男性の40歳以上の年齢層と女性の50歳以上の年齢層で、2012年から2015年にかけての有所見率の上昇が10%程度以上となっており、その様な傾向が著明に認められる。
- 血圧の有所見率は、2012年までは59歳以下の年齢層で全国平均と同じ水準であったが、2015年にはその内の40歳～59歳の年齢層で全国平均をやや上回る様になっている。特に、男性の50歳～59歳の年齢層で、2012年から2015年にかけての有所見率の上昇が10%程度となっており、その様な傾向が著明に認められる。また、60歳以上の年齢層で、全国平均と比較して7%程度高い状況は、2009年以降変化していない。
- 総コレステロールの有所見率は、39歳以下の年齢層と60歳以下の年齢層で、概ね全国平均と同じ水準となっており、2009年以降変化していない。40歳～59歳の年齢層で全国平均と比較して5%程度高い状況は、2009年以降あまり変化していない。
- 中性脂肪の有所見率は、全年齢層において全国平均を下回っており、2009年以降変化していない。
- 肝機能の有所見率は、全年齢層において全国平均を下回っている。しかしながら、2012年には、男性の50～59歳の年齢層と女性の40～49歳の年齢層で全国平均に近い水準まで上昇してきている。
- 以上の様な当センターの健診データの変化の大きな要因としては、出雲圏域における肥満などの有所見率の増加が関連している可能性が高いことが示唆され、危険な兆候を示していると考えられる。

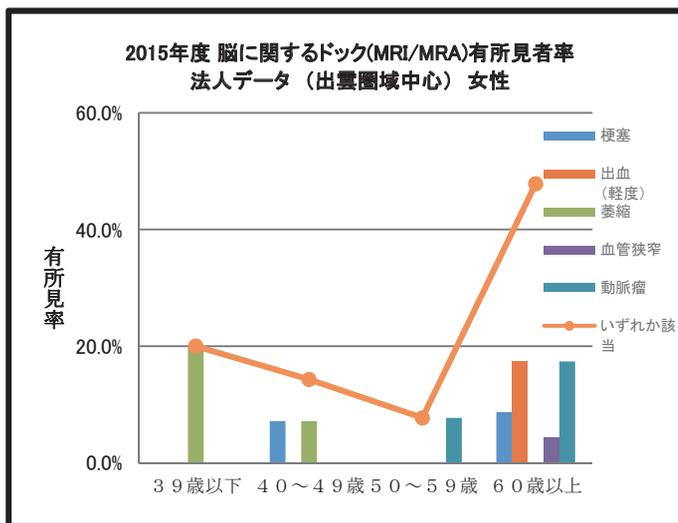
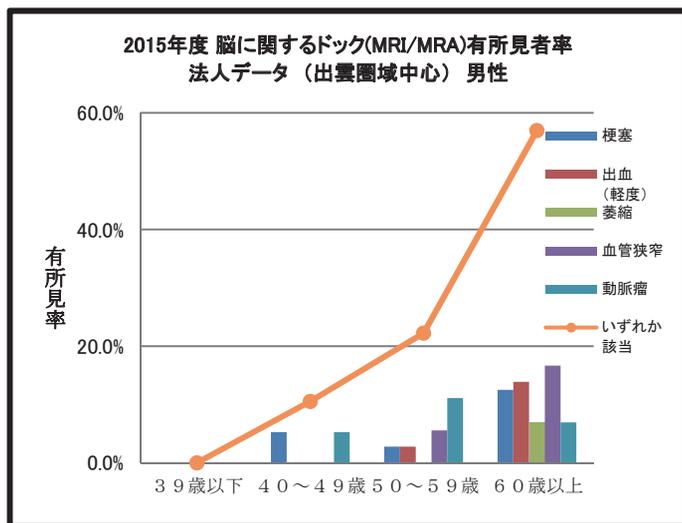
3. 脳に関するドックMRI/MRA 有所見者状況 ～2015年度結果～

以下のデータは、当法人における脳に関するドック（アンチエイジング脳ドック、全身ドック、脳ドック）の受診状況である。2015（H.27）年度の脳に関するドックの受診者数は、男134人、女78人、合計212人であった。

年齢	性別	受診者数	梗塞	有所見率	出血 (軽度)	有所見率	萎縮	有所見率	血管狭窄	有所見率	動脈瘤	有所見率	いずれか該当 (合計)	有所見率
39歳以下	男	7												
	女	5					1	20.0%					1	20.0%
40～49歳	男	19	1	5.3%							1	5.3%	2	10.5%
	女	14	1	7.1%			1	7.1%					2	14.3%
50～59歳	男	36	1	2.8%	1	2.8%			2	5.6%	4	11.1%	8	22.2%
	女	13									1	7.7%	1	7.7%
60歳以上	男	72	9	12.5%	10	13.9%	5	6.9%	12	16.7%	5	6.9%	41	56.9%
	女	46	4	8.7%	8	17.4%			2	4.3%	8	17.4%	22	47.8%
合計	男	134	11	8.2%	11	8.2%	5	3.7%	14	10.4%	10	7.5%	51	38.1%
	女	78	5	6.4%	8	10.3%	2	2.6%	2	2.6%	9	11.5%	26	33.3%
		212	16	7.5%	19	9.0%	7	3.3%	16	7.5%	19	9.0%	77	36.3%

男

女



①脳ドックで発見される代表的な異常は、「脳ドックのガイドライン2104」（日本脳ドック学会）によれば、無症候性脳病変（無症候性脳梗塞、大脳白質病変）、無症候性脳出血、無症候性頸部・脳主幹動脈狭窄・閉塞（以下、血管狭窄と略す）、無症候性未破裂脳動脈瘤（以下、動脈瘤と略す）などとされている。

②2011年度（受診者数206名）の当健診センターのデータでは、無症候性脳梗塞は9.2%、無症候性脳出血は6.8%、血管狭窄は5.8%、無症候性未破裂脳動脈瘤は1.9%であった（詳細データは割愛）。2015年度（受診者数212名）のデータでは、無症候性脳梗塞は7.5%、無症候性脳出血は9.0%、血管狭窄は7.5%、無症候性未破裂脳動脈瘤は9.0%であった。脳ドックの受診者数が200名程度と比較的少数であるため、経年的な傾向等についての分析を行うには至らなかった。

4. 乳がん検診有所見者状況 (年代別) ～2015年度結果～

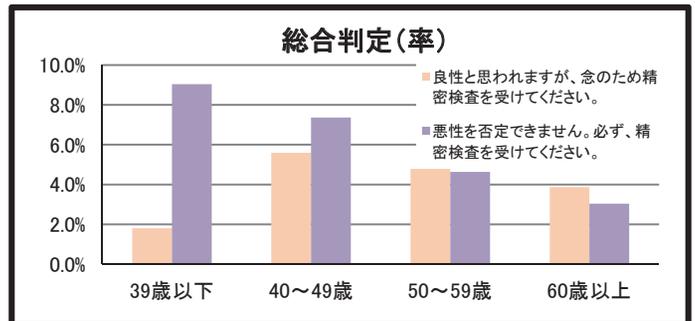
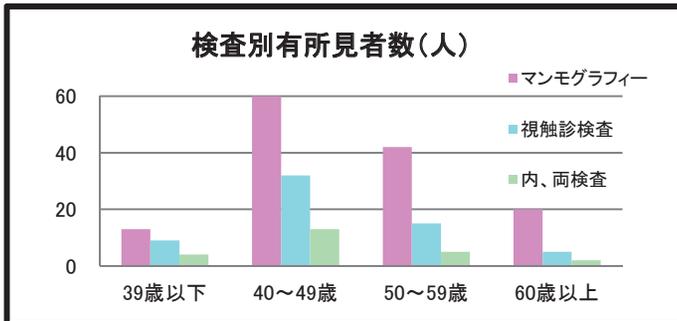
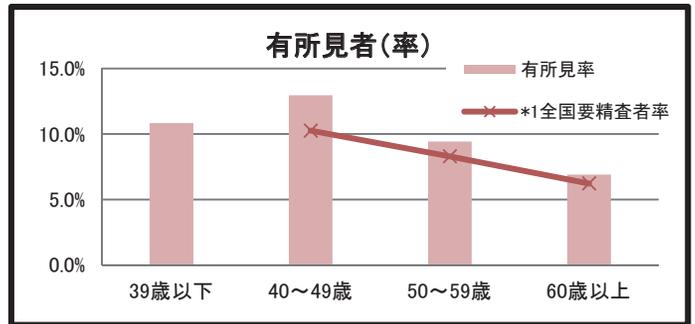
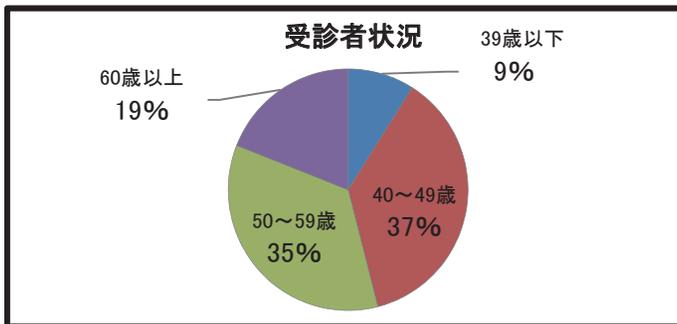
以下のデータは、当法人におけるマンモグラフィ検査と視触診検査の実施状況である。

2015年度の乳がん検診の受診者数は、合計1,854人であった。

年齢	受診者数 (人)	所見判定 (なし/あり)			検査別有所見者数 (人)			総合判定			
		所見なし (人)	所見あり (人)	有所見率	マンモグラフィ	視触診検査	内、両検査	良性と思われるが、念のために精密検査を受けてください		悪性を否定できません。必ず、精密検査を受けてください。	
								(人)	(/受診者数)	(人)	(/受診者数)
39歳以下	166	148	18	10.8%	13	9	4	3	1.8%	15	9.0%
40～49歳	679	591	88	13.0%	60	32	13	38	5.6%	50	7.4%
50～59歳	647	586	61	9.4%	42	15	5	31	4.8%	30	4.6%
60歳以上	362	337	25	6.9%	20	5	2	14	3.9%	11	3.0%
合計	1,854	1,662	192	10.4%	135	61	24	86	4.6%	106	5.7%

参考資料*1: 「2014年の地域保健・健康増進事業報告」2013年度全国集計における乳がん検診(視触診及びマンモグラフィ)要精査率

総数	40～49歳	50～59歳	60歳以上
要精査者	757,839	607,282	1,074,404
全国人数	77,756	50,360	66,877
要精査率	10.3%	8.3%	6.2%



- ①乳がんの発生要因については、「乳がんの発生には女性ホルモンのエストロゲンが深く関わっていることが知られています。(中略)体内のエストロゲン濃度が維持されている期間が長いほど、ホルモン受容体陽性の乳がんの発症リスクがあがるといわれています。初潮が早いことや閉経が遅いことは体がエストロゲンに暴露される期間が長いことを意味します。(中略)脂肪細胞でもエストロゲンがつくられるため、成人してからの肥満もリスク要因とされています。」とされている(国立がん研究センターのHPから引用)。
- ②2011年度の当健診センターの乳がん検診有所見者状況(受診者数1,625名)は、有所見率が、39歳以下の年齢層で4.5%、40～49歳の年齢層で10.4%、50～59歳の年齢層で8.1%、60歳以上の年齢層で8.8%という結果であった(詳細データは割愛)。2015年度の有所見者状況(受診者数1,854名)は、有所見率が、39歳以下の年齢層で10.8%、40～49歳の年齢層で13.0%、50～59歳の年齢層で9.4%、60歳以上の年齢層で6.9%という結果であった。
- ③肥満は糖尿病や高血圧症などの生活習慣病のリスク要因とされているが、成人してからの肥満が乳癌のリスク要因とされていることには注意を要する。肥満の有所見率の上昇が女性39歳以下の年齢層で大きい点を踏まえ、39歳以下の年齢層で乳癌の有所見率が大きく上昇している点を注視していく必要がある。

5. 胃部検診有所見者状況

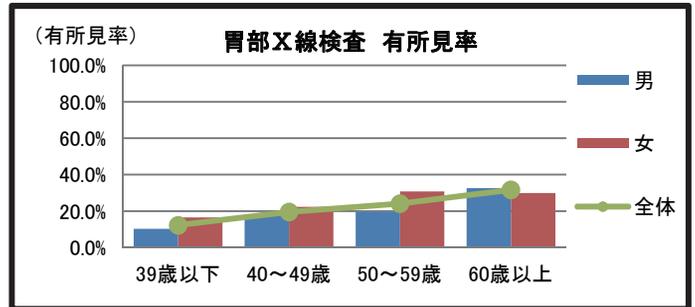
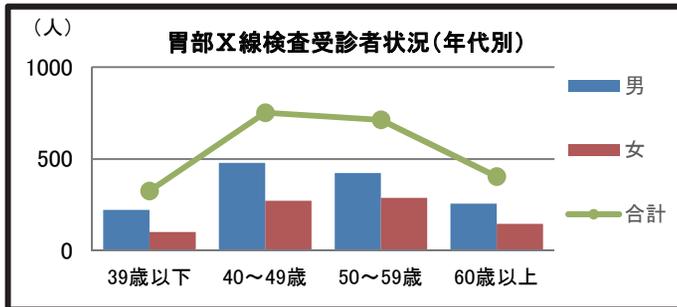
～2015年度結果～

以下のデータは、当法人における胃部（X線及び内視鏡）検査の実施状況である。

■ 胃部（X線）検査受診者状況

(注)有所見者とは、経過観察、要治療、要精査、治療継続に該当する者をいう。

年代・性	受診者数		胃部X線検査結果内訳（人）					有所見者数	有所見者率	
			異常なし	軽度異常	経過観察	要治療	要精査			
30代以下 男	223	326	191	9	19		4	23	10.3%	12.3%
女	103		74	12	15		2	17	16.5%	
40代 男	479	752	372	21	71		15	86	18.0%	19.5%
女	273		189	23	56		5	61	22.3%	
50代 男	424	713	306	35	63		20	83	19.6%	24.1%
女	289		172	28	77		12	89	30.8%	
60代以上 男	257	404	157	16	62		22	84	32.7%	31.7%
女	147		88	15	39		5	44	29.9%	
合計	2,195		1,549	159	402		85	487	22.2%	

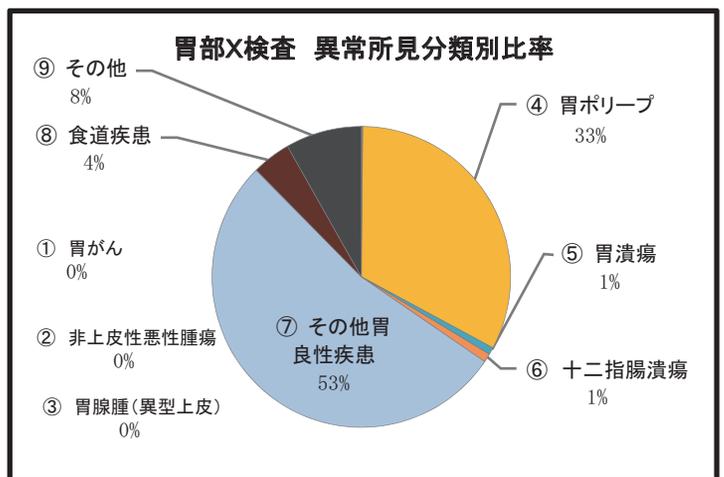


■ 異常所見別人数（疑いも含む）

(注)所見事由が1人複数ある場合は、主な所見をあげている。

所見事由	分類	人数	所見事由率
萎縮性胃炎	⑦	189	29.39%
ポリープ	④	149	23.17%
慢性胃炎	⑦	143	22.24%
胃底腺ポリープ	④	55	8.55%
食道裂孔ヘルニア	⑧	22	3.42%
十二指腸憩室	⑨	15	2.33%
胃隆起性病変	⑨	10	1.56%
胃陥凹性病変	⑨	9	1.40%
胃憩室	⑦	8	1.24%
術後胃	⑨	7	1.09%
胃過形成性ポリープ	④	6	0.93%
十二指腸潰瘍癒痕	⑥	6	0.93%
粘膜不整	⑨	6	0.93%
胃潰瘍癒痕	⑤	5	0.78%
食道腫瘍	⑧	3	0.47%
伸展不良	⑨	3	0.47%
びらん	⑦	1	0.16%
圧排像	⑨	1	0.16%
胃粘膜下腫瘍	②	1	0.16%
逆流性食道炎	⑧	1	0.16%
条件不良	⑨	1	0.16%
食道憩室	⑧	1	0.16%
胆石	⑨	1	0.16%
異常所見者（人・率）		643	

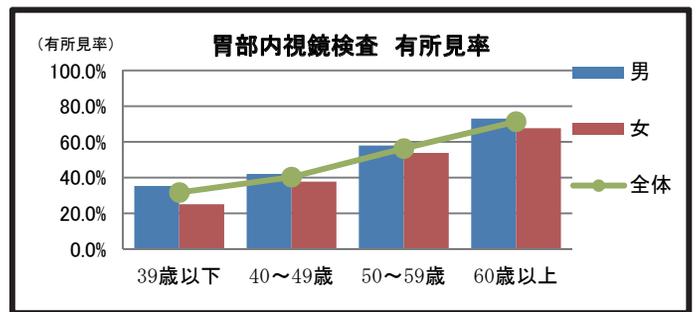
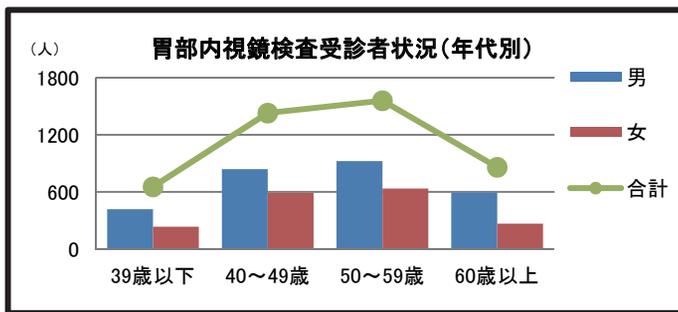
分類	疾患名	人数	発見率
①	胃がん	0	0.0%
②	非上皮性悪性腫瘍	1	0.2%
③	胃腺腫（異型上皮）	0	0.0%
④	胃ポリープ	210	32.7%
⑤	胃潰瘍	5	0.8%
⑥	十二指腸潰瘍	6	0.9%
⑦	その他胃良性疾患	341	53.0%
⑧	食道疾患	27	4.2%
⑨	その他	53	8.2%



■ 胃部（内視鏡）検査受診者状況

(注) 有所見者とは、経過観察、要治療、要精査、治療継続に該当する者をいう。

年代・性	受診者数		胃部内視鏡検査結果内訳（人）						有所見者数	有所見者率	
			異常なし	軽度異常	経過観察	要治療	要精査	治療継続			
30代以下 男	419	654	207	64	136	8	4	148	35.3%	31.7%	
女	235		147	29	57		2		59		25.1%
40代 男	839	1,429	363	123	325	17	11	353	42.1%	40.3%	
女	590		327	40	210	9	4		223		37.8%
50代 男	924	1,559	296	89	505	19	12	539	58.3%	56.5%	
女	635		255	38	334	4	4		342		53.9%
60代以上 男	594	860	119	40	406	18	10	435	73.2%	71.5%	
女	266		63	23	169	4	7		180		67.7%
合計	4,502		1,777	446	2,142	79	54	4	2,279	50.6%	

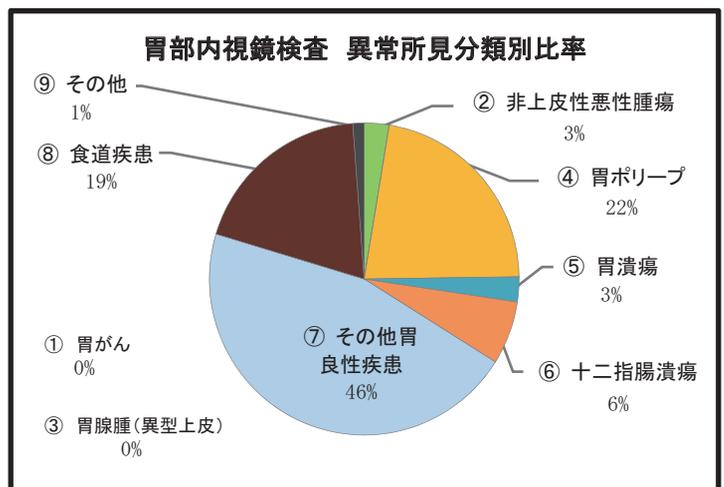


■ 異常所見別人数（疑いも含む）

(注) 所見事由が1人複数ある場合は、主な所見をあげている。

所見事由	分類	人数	所見事由率
萎縮性胃炎	⑦	1088	35.70%
胃底腺ポリープ	④	586	19.23%
食道裂孔ヘルニア	⑧	276	9.06%
逆流性食道炎	⑧	247	8.10%
十二指腸潰瘍癒痕	⑥	188	6.17%
びらん	⑦	140	4.59%
びらん性胃炎	⑦	86	2.82%
胃粘膜下腫瘍	②	79	2.59%
慢性胃炎	⑦	75	2.46%
ポリープ	④	68	2.23%
胃潰瘍癒痕	⑤	68	2.23%
S S B E (短バレット食道)	⑧	55	1.80%
胃過形成性ポリープ	④	22	0.72%
胃隆起性病変	⑨	15	0.49%
胃陥凹性病変	⑨	13	0.43%
十二指腸潰瘍	⑥	12	0.39%
胃潰瘍	⑤	11	0.36%
胃憩室	⑦	5	0.16%
術後胃	⑨	4	0.13%
食道腫瘍	⑧	4	0.13%
条件不良	⑨	3	0.10%
L S B E (長バレット食道)	⑧	2	0.07%
十二指腸憩室	⑨	1	0.03%
異常所見者 (人・率)		3,048	

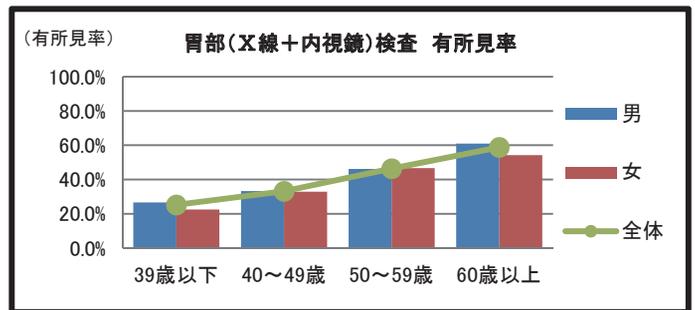
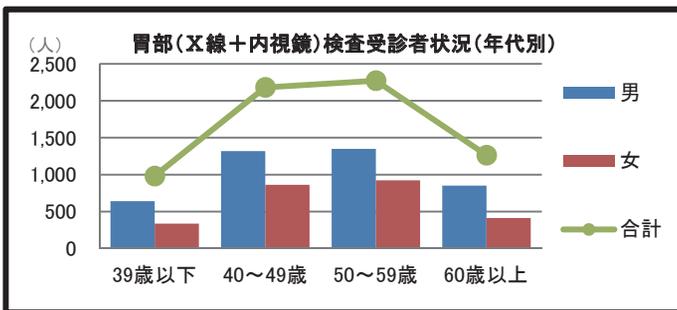
分類	疾患名	人数	発見率
①	胃がん	0	0.0%
②	非上皮性悪性腫瘍	79	2.6%
③	胃腺腫(異型上皮)	0	0.0%
④	胃ポリープ	676	22.2%
⑤	胃潰瘍	79	2.6%
⑥	十二指腸潰瘍	200	6.6%
⑦	その他胃良性疾患	1394	45.7%
⑧	食道疾患	584	19.2%
⑨	その他	36	1.2%



■ 胃部（X線＋内視鏡）検査受診者状況

(注) 有所見者とは、経過観察、要治療、要精査、治療継続に該当する者をいう。

年代・性	受診者数		胃部X線＋内視鏡検査結果内訳（人）						有所見者数	有所見者率	
			異常なし	軽度異常	経過観察	要治療	要精査	治療継続			
30代以下 男	642	980	398	73	155	8	8	0	171	26.6%	25.2%
女	338		221	41	72	0	4	0	76	22.5%	
40代 男	1,318	2,181	735	144	396	17	26	0	439	33.3%	33.1%
女	863		516	63	266	9	9	0	284	32.9%	
50代 男	1,348	2,272	602	124	568	19	32	3	622	46.1%	46.3%
女	924		427	66	411	4	16	0	431	46.6%	
60代以上 男	851	1,264	276	56	468	18	32	1	519	61.0%	58.8%
女	413		151	38	208	4	12	0	224	54.2%	
合計	6,697		3,326	605	2,544	79	139	4	2,766	41.3%	

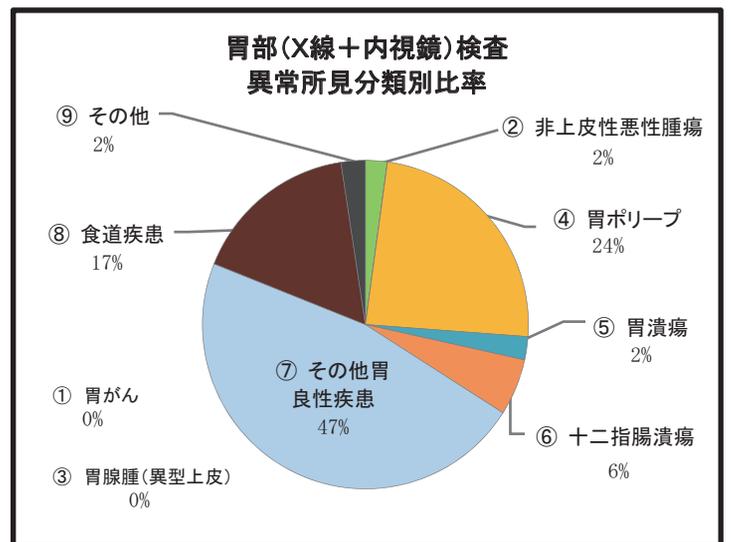


■ 異常所見別人数（疑いも含む）

(注) 所見事由が1人複数ある場合は、主な所見をあげている。

所見事由	分類	人数	所見事由率
萎縮性胃炎	⑦	1277	34.60%
胃底腺ポリープ	④	641	17.37%
食道裂孔ヘルニア	⑧	298	8.07%
逆流性食道炎	⑧	248	6.72%
慢性胃炎	⑦	218	5.91%
ポリープ	④	217	5.88%
十二指腸潰瘍癒痕	⑥	194	5.26%
びらん	⑦	141	3.82%
びらん性胃炎	⑦	86	2.33%
胃粘膜下腫瘍	②	80	2.17%
胃潰瘍癒痕	⑤	73	1.98%
SSBE(短バレット食道)	⑧	55	1.49%
胃過形成性ポリープ	④	28	0.76%
胃隆起性病変	⑨	25	0.68%
胃陥凹性病変	⑨	22	0.60%
十二指腸憩室	⑨	16	0.43%
胃憩室	⑦	13	0.35%
十二指腸潰瘍	⑥	12	0.33%
胃潰瘍	⑤	11	0.30%
術後胃	⑨	11	0.30%
食道腫瘍	⑧	7	0.19%
粘膜不整	⑨	6	0.16%
条件不良	⑨	4	0.11%
伸展不良	⑨	3	0.08%
LSBE(長バレット食道)	⑧	2	0.05%
圧排像	⑨	1	0.03%
食道憩室	⑧	1	0.03%
胆石	⑨	1	0.03%
異常所見者(人・率)		3,691	

分類	疾患名	人数	発見率
①	胃がん	0	0.0%
②	非上皮性悪性腫瘍	80	2.2%
③	胃腺腫(異型上皮)	0	0.0%
④	胃ポリープ	886	24.0%
⑤	胃潰瘍	84	2.3%
⑥	十二指腸潰瘍	206	5.6%
⑦	その他胃良性疾患	1735	47.0%
⑧	食道疾患	611	16.6%
⑨	その他	89	2.4%



- ①2015年度の当健診センターの胃部検査（X線および内視鏡）の有所見率は41.3%（胃がん0.0%、非上皮性悪性腫瘍2.2%、胃腺腫（異型上皮）0.0%、胃ポリープ24.0%、胃潰瘍2.3%、十二指腸潰瘍5.6%、その他の胃良性疾患47.0%、食道疾患16.6%）という結果であった。X線検査と内視鏡検査との比較では、食道疾患の発見率が内視鏡検査の方が高いという結果であった。全体的な傾向は、2011年度と大きな変化はないが、有所見率は2011年度の49.4%から約8%低下していた（2011年度のデータは割愛）。
- ②「2014年度消化器がん検診全国集計（日本消化器がん検診学会）」からみた、2013年度の580万人規模での全国集計における消化器がん検診での胃部疾患の発見頻度は、胃がん0.13%、胃ポリープ1.04%、胃潰瘍0.68%と報告されている。
- ③2015年度の当健診センターのデータと2013年度の全国データを比較すると、受診者数の規模が圧倒的に異なるため、限られたデータから断定的なことは言えないが、当センターのデータでは胃ポリープと胃潰瘍の発見率がやや高いように思われる。また、当センターのデータでは胃がんの発見率が0.0%との結果であったが、全国規模での発見率を考えれば、当センターでの胃部検査の受診者数の規模が大きく影響している可能性があると思われる（その他の要因として、全国データと当センターとでは、胃部検査のデータ集計の方法に相違があるという可能性も考えられる）。しかしながら、経年的に当センターの有所見率が低下していく傾向は、全国データの傾向と一致していると考えられる。

2014年度（平成27年度）消化器がん検診全国集計（日本消化器がん検診学会）」（参考）

表6 発見疾患とその頻度（年次別推移）（男女計）

年度		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
胃疾患	A	5,304	4,732	4,790	5,272	4,984	5,057	5,001	4,862
	B	7,623	6,938	6,976	8,046	7,663	7,831	7,596	7,268
	B/C	0.15	0.14	0.15	0.14	0.13	0.13	0.13	0.12
胃ポリープ	A	51,438	46,397	43,350	49,603	46,407	44,693	40,449	37,220
	B	73,926	68,031	63,137	75,707	71,351	69,206	61,435	55,635
	B/C	1.42	1.33	1.33	1.30	1.21	1.15	1.04	0.94
胃潰瘍	A	33,399	30,760	31,218	32,873	32,067	29,509	26,548	25,334
	B	48,001	45,103	45,468	50,172	49,304	45,694	40,322	37,868
	B/C	0.92	0.88	0.96	0.86	0.83	0.76	0.68	0.64
受診者総数		5,221,232	5,125,322	4,755,413	5,837,975	5,920,600	5,994,971	5,887,024	5,932,107

*性別、5歳階級別に集計可能な受診者数を母数とした

A:実数、B:要精検者が全員精検を受診した場合の推定数、C:受診者総数

Ⅱ 各種臨床検査の実施状況（出雲市・関係医療機関・学校保健 受託検査）

1. 各種臨床検査数（過去5年間の実績）

（単位：検体数）

区 分		2011	2012	2013	2014	2015
1. 一般検査（血液など）		44,234	39,782	35,631	35,005	32,621
2. 細菌検査	一般細菌	1,511	1,417	1,157	1,191	1,178
	結核菌	162	117	122	140	155
	腸内細菌	10,811	11,608	11,341	10,790	10,881
3. 病理検査		4,485	4,657	4,997	4,991	4,987
4. 細胞診検査		7,315	6,648	6,425	5,912	5,631
5. ホルター心電図検査		501	492	549	493	467
6. 肺がん検診		358	656	500	467	505
7. 胃がん検診（ABC検診）		479	517	472	598	580
8. 大腸がん検診（便潜血検診）		9,644	7,818	7,970	6,783	7,350
9. 学校血液検査		6,703	6,059	6,231	6,239	5,988
10. 学校心電図検査 （小学校を除く）		6,067	5,287	5,085	3,775	3,208
11. 学校尿検査		33,881	33,104	32,120	33,587	32,736
合 計		126,151	118,162	112,600	109,971	106,287

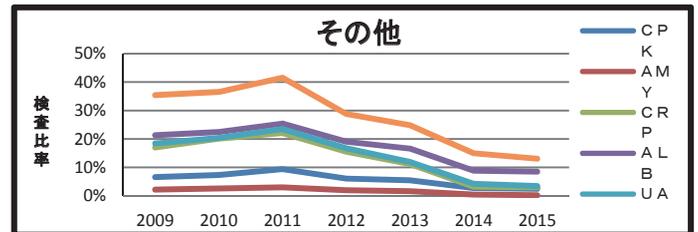
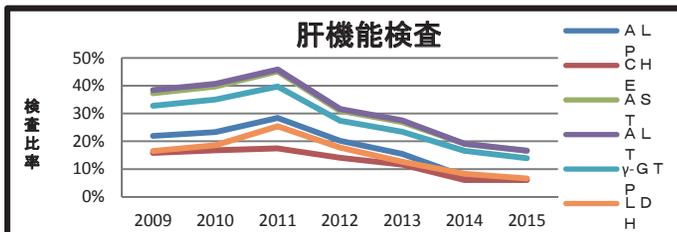
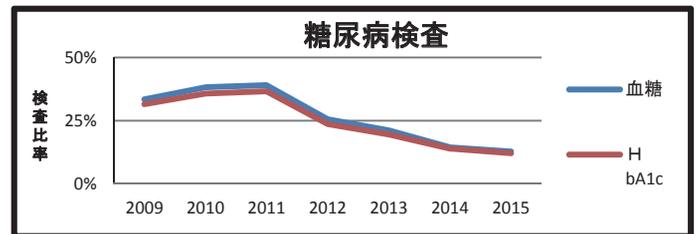
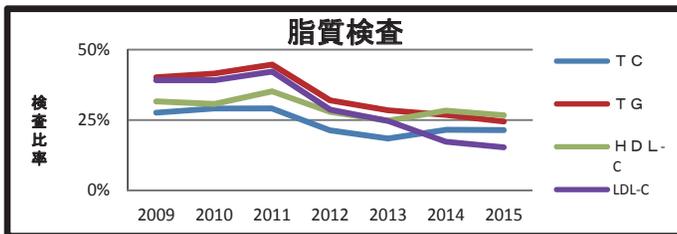
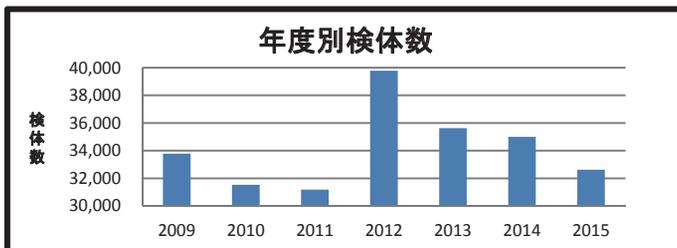
2. 各種臨床検査結果状況

① 血液検査 (主要項目検査数・検査率)

以下のデータは、過去7年間（2009年から2015年度）において当法人が県内の開業医など関係医療機関から受託した血液検査（特定健診等の健康診断に係るものを除く）における各検査項目別（但し、主な18項目）の件数及び年度別検体数における割合を表しグラフ化したものである。

検査項目 (主な18項目)		2009		2010		2011		2012		2013		2014		2015	
		検査件数	率	検査件数	率	検査件数	率								
脂質検査	T C (総コレステロール)	9,326	27.6%	9,174	29.1%	9,060	29.1%	8,489	21.3%	6,565	18.4%	7,537	21.5%	6,981	21.4%
	T G (中性脂肪)	13,587	40.2%	13,098	41.5%	13,927	44.7%	12,723	32.0%	10,133	28.4%	9,394	26.8%	7,986	24.5%
	HDL-C (善玉コレステロール)	10,670	31.6%	9,672	30.7%	10,990	35.2%	11,108	27.9%	8,822	24.8%	9,923	28.3%	8,712	26.7%
	LDL-C (悪玉コレステロール)	13,209	39.1%	12,327	39.1%	13,165	42.2%	11,421	28.7%	8,798	24.7%	6,062	17.3%	4,992	15.3%
糖尿検査	血糖	11,291	33.4%	12,047	38.2%	12,150	39.0%	10,167	25.6%	7,556	21.2%	5,047	14.4%	4,164	12.8%
	HbA1c	10,657	31.5%	11,245	35.7%	11,402	36.6%	9,409	23.7%	6,957	19.5%	4,887	14.0%	3,942	12.1%
肝機能検査	ALP (アルカリホスファターゼ)	7,385	21.9%	7,340	23.3%	8,850	28.4%	8,031	20.2%	5,511	15.5%	2,590	7.4%	2,076	6.4%
	CHE (コリンエステラーゼ)	5,326	15.8%	5,257	16.7%	5,440	17.4%	5,598	14.1%	4,136	11.6%	2,109	6.0%	1,967	6.0%
	AST (GOT)	12,603	37.3%	12,506	39.7%	14,089	45.2%	12,336	31.0%	9,576	26.9%	6,687	19.1%	5,411	16.6%
	ALT (GPT)	12,962	38.4%	12,842	40.7%	14,271	45.8%	12,572	31.6%	9,814	27.5%	6,686	19.1%	5,410	16.6%
	γ-GTP (γ-GTP)	11,080	32.8%	11,042	35.0%	12,378	39.7%	10,898	27.4%	8,356	23.5%	5,801	16.6%	4,531	13.9%
	LDH (乳酸脱水素酵素)	5,577	16.5%	5,869	18.6%	7,906	25.4%	7,053	17.7%	4,507	12.6%	2,898	8.3%	2,154	6.6%
その他	CPK (クレアチンホスホキナーゼ)	2,235	6.6%	2,302	7.3%	2,920	9.4%	2,423	6.1%	1,943	5.5%	970	2.8%	806	2.5%
	AMY (アミラーゼ)	760	2.2%	831	2.6%	933	3.0%	775	1.9%	581	1.6%	146	0.4%	66	0.2%
	CRP (炎症反応)	5,737	17.0%	6,326	20.1%	6,897	22.1%	6,182	15.5%	3,992	11.2%	1,122	3.2%	976	3.0%
	ALB (血清アルブミン)	7,185	21.3%	7,051	22.4%	7,926	25.4%	7,575	19.0%	5,920	16.6%	3,096	8.8%	2,774	8.5%
	UA (尿酸)	6,232	18.4%	6,417	20.4%	7,333	23.5%	6,646	16.7%	4,247	11.9%	1,474	4.2%	1,123	3.4%
	CRE (クレアチニン)	11,962	35.4%	11,516	36.5%	12,945	41.5%	11,451	28.8%	8,847	24.8%	5,250	15.0%	4,259	13.1%
18項目検査数合計		157,784		156,862		172,582		154,857		116,261		81,679		68,330	
年度別検体数		33,780		31,528		31,185		39,782		35,631		35,005		32,621	

(注) 上表の率は年度別検体数に占める各検査項目（但し、主な18項目）の割合である。



検体数を年度別で見ると2012年をピークに減少しており、依頼件数の多い18項目の検査件数も同様に減少している。近年では、民間大手の臨床検査会社の地方への進出などの影響により、当センターへの検体の受託件数が減少しているものとみられる。しかしながら、当健診センターの公益性という点を視野に入れながら、出雲圏域における臨床検査の拠点の一つとして、臨床検査の受託業務を継続していく必要があるものと見込まれる。

② 微生物（細菌）検査 （薬剤耐性菌検出件数・率）

～過去5年間の推移～

微生物検査は、細菌・真菌（カビ類）・ウイルスによる感染を受けた臓器の分泌液や血液などから、病気の原因となっている微生物を検出する検査である。原因菌が判明しないと根治が困難な場合があり、この微生物検査が重要な役割を果たす。以下、近隣医療機関から当法人への受託検査において、過去5年間に亘り検出された細菌（黄色ブドウ球菌、大腸菌、緑膿菌）の薬剤耐性菌検出率を器官別の検査材料から表した。

検査材料は

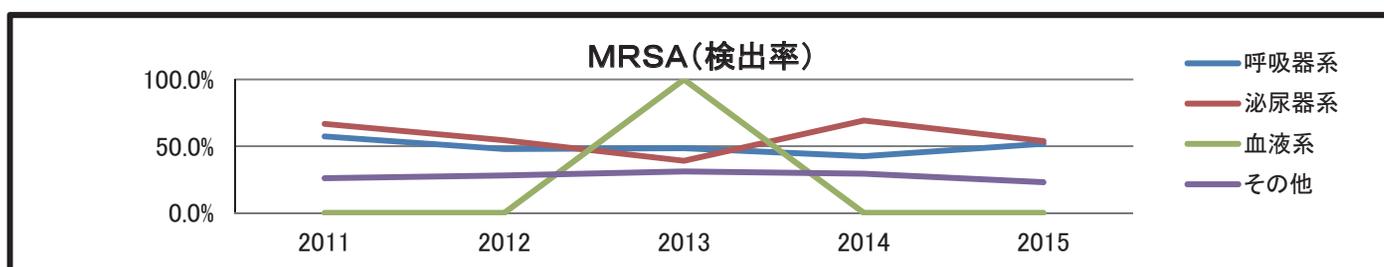
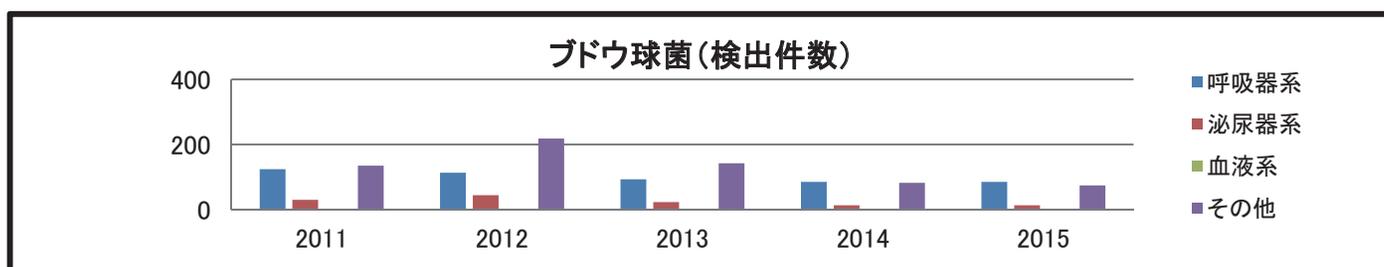
呼吸器系（喀痰・咽頭ぬぐい液・鼻腔ぬぐい液等）、泌尿器系（尿・尿道分泌物・膣分泌物等）、血液、その他（膿・分泌物・耳漏等）に分類した。

薬剤耐性菌とは

細菌などの微生物は抗生物質などの薬剤（抗菌剤）に接触すると抵抗力を身につけ薬剤が効かなくなったり、効きにくくなったりしてしまう。同じ薬剤を長期間にわたり使うと発生しやすい。代表的なものに「MRSA」がある。また、「ESBL産生大腸菌」とは基質特異性拡張型βラクタマーゼ産生大腸菌のことで第三世代セファロスポリン薬に耐性示す大腸菌のことである。

黄色ブドウ球菌

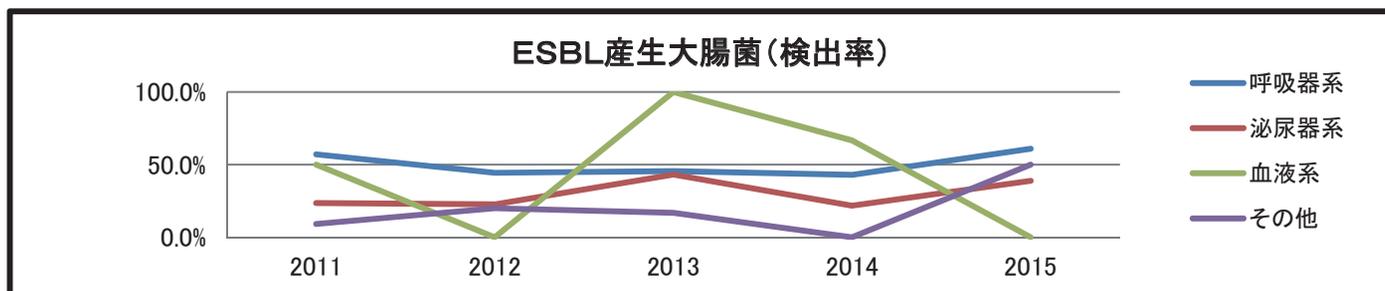
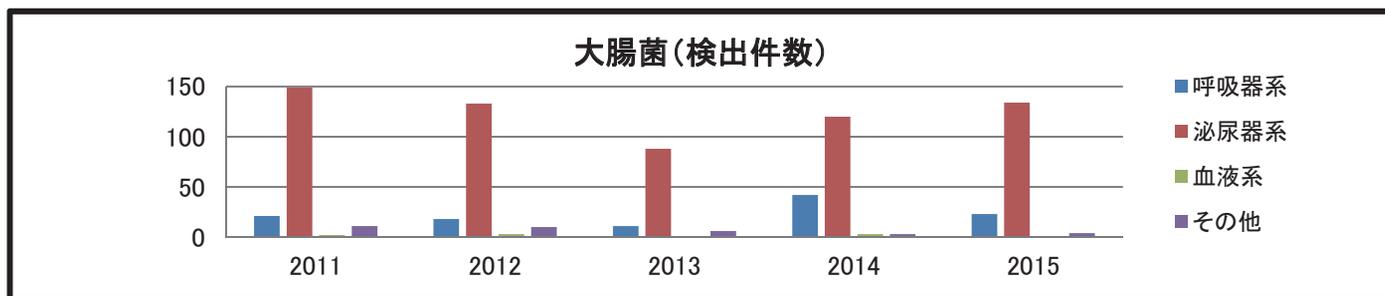
器官	2011		2012		2013		2014		2015	
	検出件数	MRSA 検出率								
呼吸器系	124	57.3%	113	47.8%	93	48.4%	85	42.4%	85	51.8%
泌尿器系	30	66.7%	44	54.5%	23	39.1%	13	69.2%	13	53.8%
血液系	3	0.0%	0	0.0%	2	100.0%	1	0.0%	3	0.0%
その他	135	25.9%	218	28.0%	142	31.0%	82	29.3%	74	23.0%



MRSA 検出率の年度別推移は、件数の多い呼吸器系、泌尿器系で検体数の減少とともに減少傾向にある。その他の検体では、横ばい傾向にあり、件数の少ない血液では一定の傾向はみられない。検出率は、検査件数の多い呼吸器系と泌尿器系で50%前後、件数の少ないその他の検体で20%前後であるが、血液系では件数が極端に少なく一定の傾向はみられない。

大腸菌

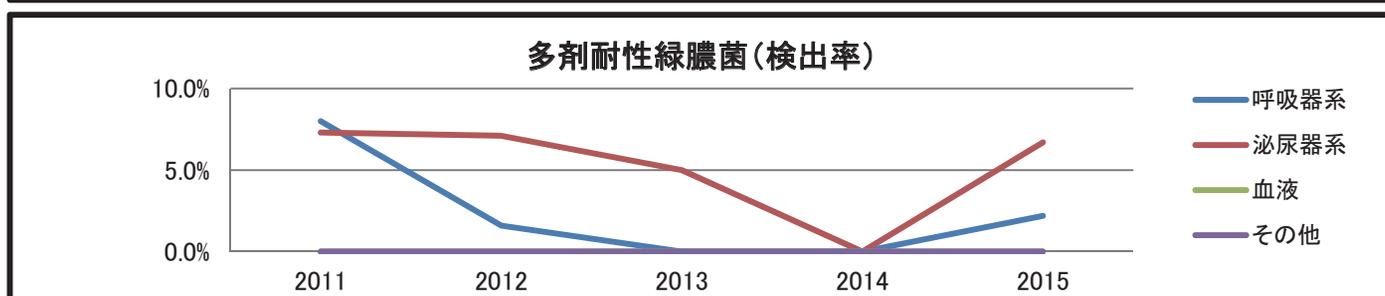
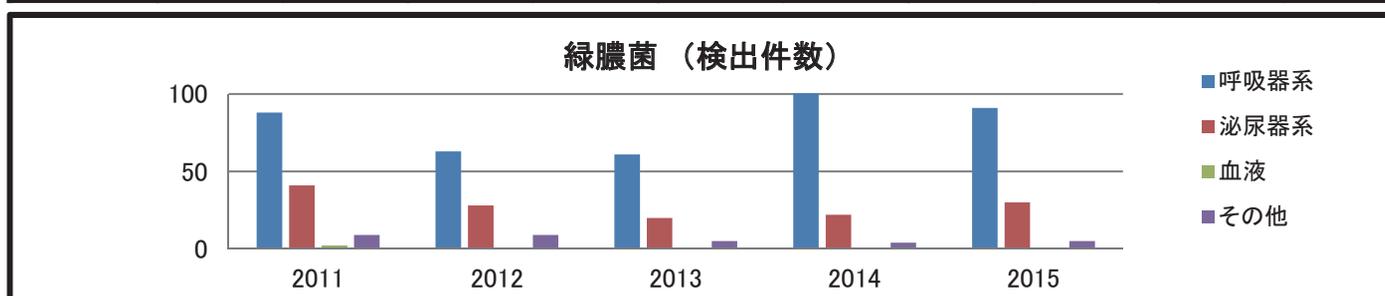
器官	2011		2012		2013		2014		2015	
	検出件数	ESBL産生大腸菌 検出率								
呼吸器系	21	57.1%	18	44.4%	11	45.5%	42	42.9%	23	60.9%
泌尿器系	149	23.5%	133	22.6%	88	43.2%	120	21.7%	134	38.8%
血液系	2	50.0%	3	0.0%	1	100.0%	3	66.7%	0	0.0%
その他	11	9.1%	10	20.0%	6	16.7%	3	0.0%	4	50.0%



ESBL産生大腸菌検出率の年度別推移は、件数の多い泌尿器系では横ばいで、5年間の平均検出率は約50%である。件数の少ない呼吸器系、血液系、その他の検体では一定の傾向はみられない。

緑膿菌

器官	2011		2012		2013		2014		2015	
	検出件数	多剤耐性緑膿菌検出率								
呼吸器系	88	8.0%	63	1.6%	61	0.0%	101	0.0%	91	2.2%
泌尿器系	41	7.3%	28	7.1%	20	5.0%	22	0.0%	30	6.7%
血液	2	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	9	0.0%	9	0.0%	5	0.0%	4	0.0%	5	0.0%



多剤耐性緑膿菌検出件数は、検査件数の多い呼吸器系・泌尿器系では頻度は少ないが検出されている。血液、その他の検体では検出されていない。

③ 病理診断検査 (病理診断結果件数・率)

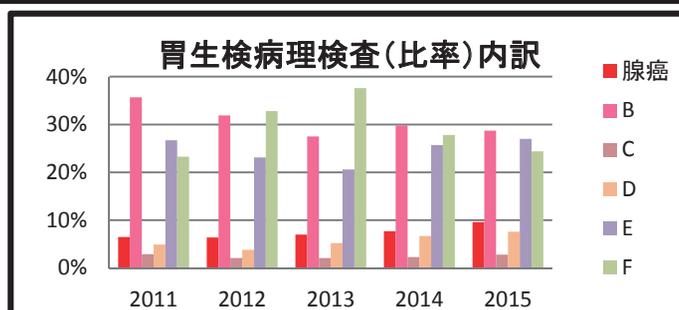
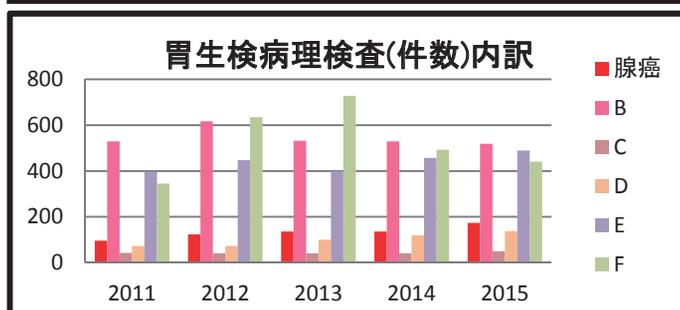
～過去5年間の推移～

病理診断検査は、癌などの疾患の診断や原因を究明することを目的に臓器、組織、細胞などを顕微鏡等を用いて詳しく診断する検査である。材料としては、胃カメラで採取された組織、手術で採取された臓器などがあり、パラフィンで固定された組織を3μmの厚さに切り、スライドガラスに張り付け、染色を行って、病理医が病理診断を行う。

以下、2011年度から2015年度までに近隣医療機関から受託した検体（胃生検・乳腺・皮膚生検）の病理診断結果の推移を表及びグラフで表した。

胃生検の病理診断 (年度別推移)

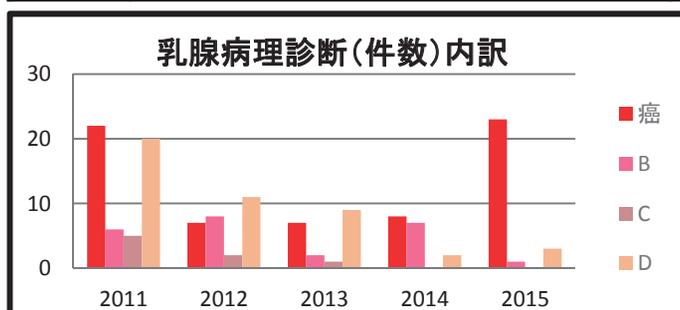
	病理診断	2011		2012		2013		2014		2015	
		件数	比率								
腺癌	adenocarcinoma(腺癌)	96	6.5%	123	6.4%	136	7.0%	136	7.7%	174	9.6%
B	Erosive regenerative gastric mucosa (びらん性再生胃粘膜)	529	35.7%	617	31.9%	532	27.5%	529	29.8%	519	28.7%
C	Fundic gland polyp(胃底腺ポリープ)	43	2.9%	41	2.1%	41	2.1%	41	2.3%	50	2.8%
D	Hyperplastic polyp(過形成ポリープ)	73	4.9%	73	3.8%	100	5.2%	119	6.7%	137	7.6%
E	Regenerative gastric mucosa(再生胃粘膜)	395	26.7%	447	23.1%	399	20.6%	457	25.7%	489	27.0%
F	その他	345	23.3%	635	32.8%	728	37.6%	493	27.8%	441	24.4%



年度別推移をみると、びらん性再生胃粘膜・胃底腺ポリープはほぼ横ばいで、腺癌・過形成ポリープ・再生胃粘膜はやや右肩上がりの傾向にある。

乳腺病理診断 (年度別推移)

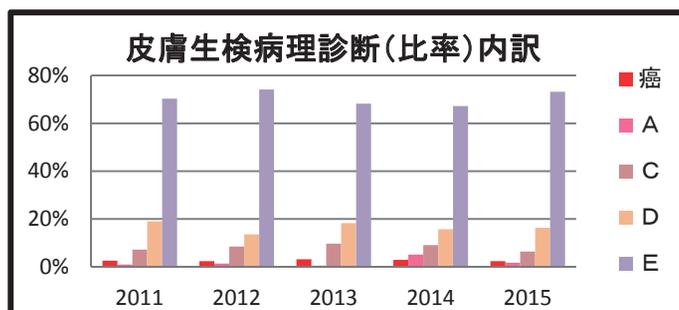
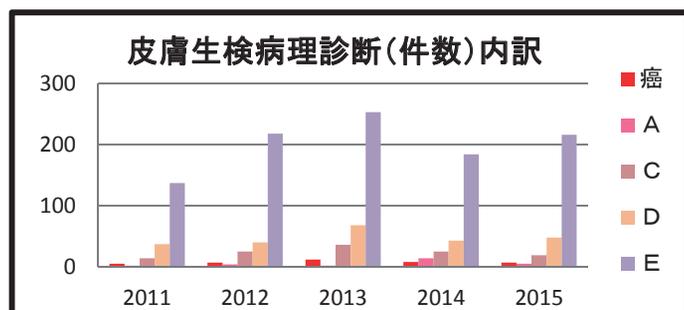
	病理診断	2011		2012		2013		2014		2015	
		件数	比率								
癌	Carcinoma(癌)	22	41.5%	7	25.0%	7	36.8%	8	47.1%	23	85.2%
B	Fibroadenoma(線維腺腫)	6	11.3%	8	28.6%	2	10.5%	7	41.2%	1	3.7%
C	Mastopathy(乳腺症)	5	9.4%	2	7.1%	1	5.3%	0	0.0%	0	0.0%
D	その他	20	37.7%	11	39.3%	9	47.4%	2	11.8%	3	11.1%



乳癌の比率が経年的に高くなっていく傾向が認められる。

皮膚生検の病理診断 (年度別推移)

	病理診断	2011		2012		2013		2014		2015	
		件数	比率								
癌	Basal cell carcinoma(基底細胞がん)	5	2.6%	7	2.4%	12	3.2%	8	2.9%	7	2.4%
B	Bowen disease(ホーイン病)	2	1.0%	4	1.4%	2	0.5%	14	5.1%	5	1.7%
C	Epidermal cyst(表皮のう腫)	14	7.2%	25	8.5%	36	9.7%	25	9.1%	19	6.4%
D	Seborrheic keratosis(脂漏性角化症)	37	19.0%	40	13.6%	68	18.3%	43	15.7%	48	16.3%
E	その他	137	70.3%	218	74.1%	253	68.2%	184	67.2%	216	73.2%



経年的な推移には、大きな変化は認められない。
他の検体（胃生検、乳腺）と比較すると、その他診断が多く、これは皮膚生検に特有のものと思われる。

④ 細胞診検査（検査材料別陽性者数・率）

～過去5年間の推移～

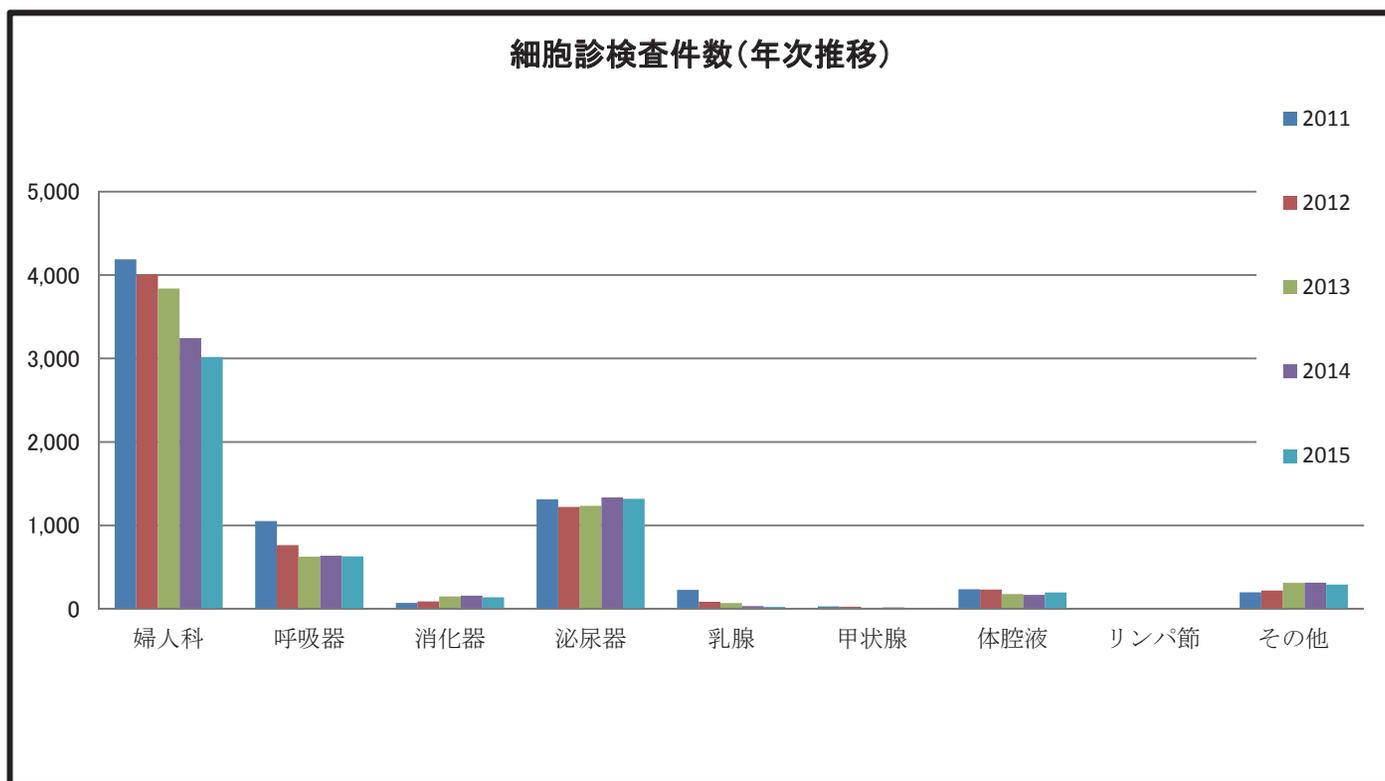
細胞診検査は、婦人科・喀痰・胸水・腹水・尿・擦過物などの細胞を顕微鏡で観察し、がん細胞や感染症を見つける検査である。最初にスクリーナーと呼ばれる高度な技術を持った細胞検査士が細胞を鑑別し、専門医が判定を行っている。

当法人では、年間約7,000件の検体を預かり検査を行っている。

以下、2007年度から2011年度までの5年間における近隣医療機関から受託した検体の判定結果を材料別に表とグラフで表した。検査材料は、婦人科（子宮膣部・子宮頸部・子宮体部など）、呼吸器（喀痰・気管支ブラシなど）、消化器（膵液・胆汁など）、泌尿器（尿・カテーテル尿など）、乳腺、甲状腺、体空液（腹水・胸水など）、リンパ節、その他に分類した。

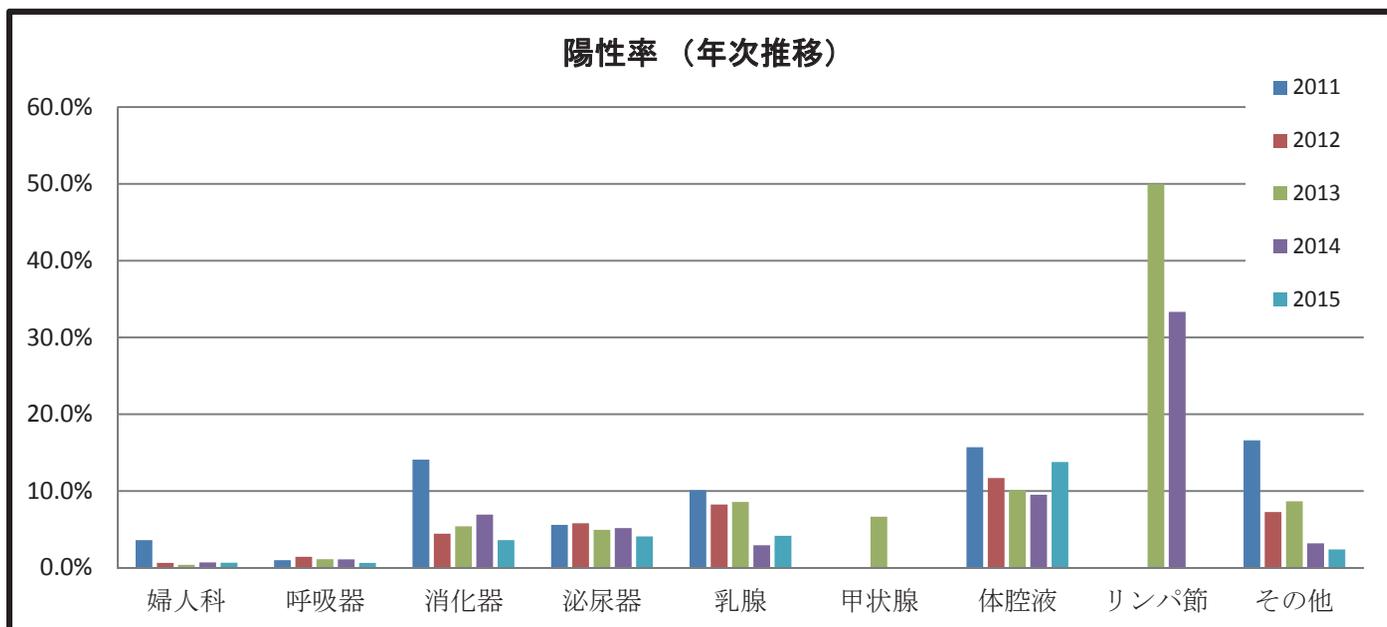
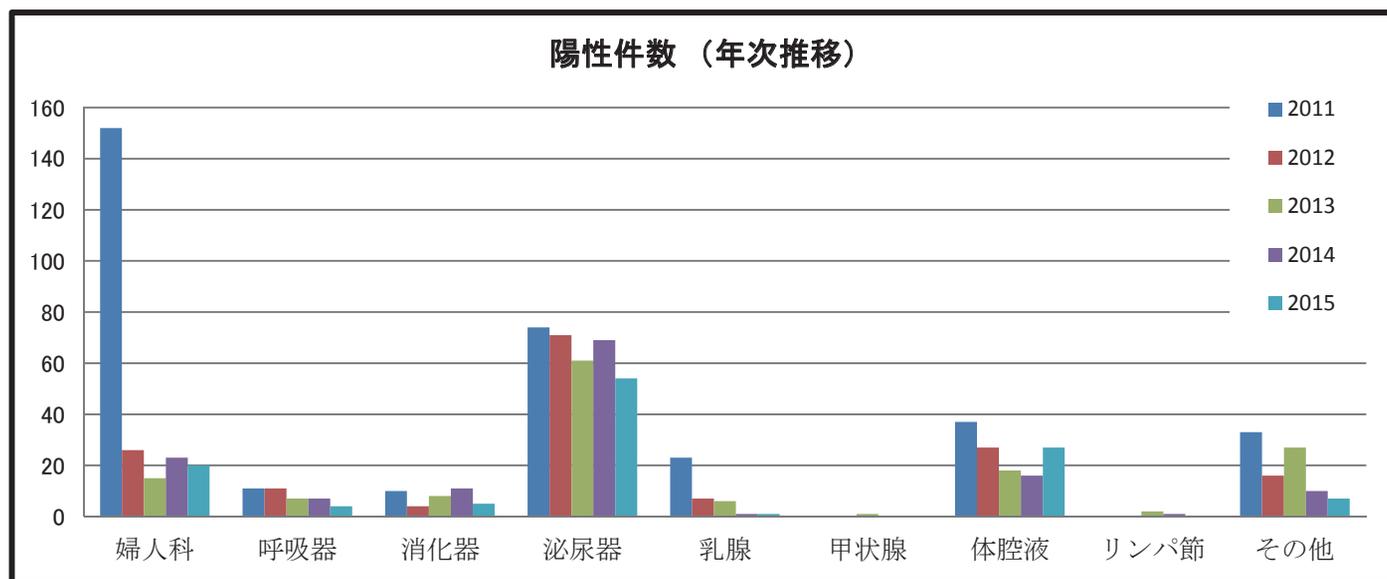
細胞診 検査件数

検査材料	2011	2012	2013	2014	2015
婦人科	4,188	4,007	3,838	3,244	3,019
呼吸器	1,052	764	625	637	629
消化器	71	90	148	159	139
泌尿器	1,314	1,222	1,235	1,336	1,320
乳腺	227	85	70	34	24
甲状腺	29	26	15	18	11
体空液	235	231	178	168	196
リンパ節	0	3	4	3	3
その他	199	220	312	313	290



検査材料別陽性件数及び陽性率

検査材料	2011		2012		2013		2014		2015	
	陽性件数	陽性率								
婦人科	152	3.6%	26	0.6%	15	0.4%	23	0.7%	20	0.7%
呼吸器	11	1.0%	11	1.4%	7	1.1%	7	1.1%	4	0.6%
消化器	10	14.1%	4	4.4%	8	5.4%	11	6.9%	5	3.6%
泌尿器	74	5.6%	71	5.8%	61	4.9%	69	5.2%	54	4.1%
乳腺	23	10.1%	7	8.2%	6	8.6%	1	2.9%	1	4.2%
甲状腺	0	0.0%	0	0.0%	1	6.7%	0	0.0%	0	0.0%
体腔液	37	15.7%	27	11.7%	18	10.1%	16	9.5%	27	13.8%
リンパ節	0	0.0%	0	0.0%	2	50.0%	1	33.3%	0	0.0%
その他	33	16.6%	16	7.3%	27	8.7%	10	3.2%	7	2.4%



検体別陽性率の年次推移をみると、婦人科系・呼吸器系・泌尿器系など件数の多いものについては、低い率でほぼ横ばい傾向にあるが、件数の少ない消化器系・乳腺・体腔液・その他については、特に一定の傾向はみられないが、5～10%程度を示している。

3. 胃がん検診（ABC検診）有所見者状況

胃がん検診（ABC検診）は、出雲市からの受託事業で、1回の採血にてピロリ菌抗体検査とペプシノゲン検査を同時に行い、“Aタイプ” “Bタイプ” “Cタイプ” に分類し「胃の健康度」を調べる検診である。

胃がんの多くは、ヘリコバクター・ピロリという細菌（ピロリ菌）による胃粘膜の感染によるものである。ピロリ菌により、慢性胃炎が委縮性胃炎となり、胃がんに進捗すると言われている。また、ペプシノゲンは、胃で作られる蛋白質分解酵素ペプシンのもとになる物質で、これを測定することで、胃の粘膜の炎症や萎縮の変化がわかる。

		ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	
		陰性	陽性
ペプシノゲン 検査	陰性	Aタイプ	Bタイプ
	陽性	Cタイプ	

Aタイプ

- 健康な胃粘膜で危険性は低い状態

Bタイプ

- 胃潰瘍・十二指腸潰瘍に注意が必要な状態

Cタイプ

- 胃がんなどの病気になりやすい状態
- 精密検査をお勧めします。

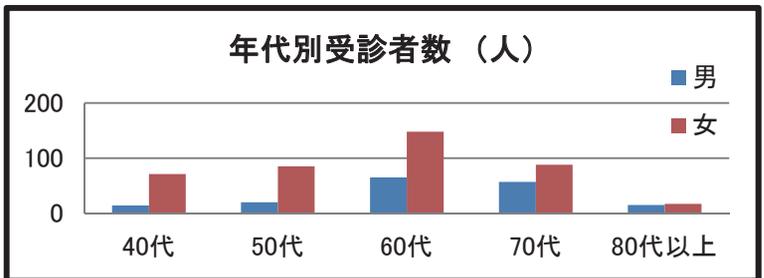
～2015年度 結果～

以下、2015年度の年代別受診者数とタイプ別判定者数、癌、癌疑い診断者数を表にした。また、過去5年間におけるタイプ別判断数、及び要精検率等を表及びグラフで示した。

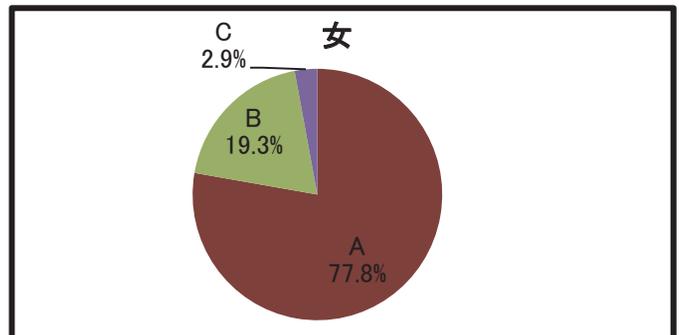
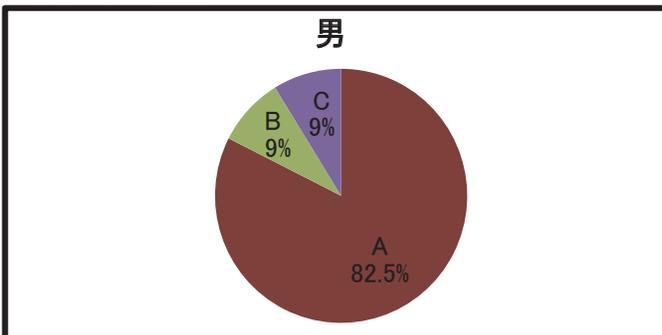
年代別受診者数とタイプ別判定者数、癌診断者数

	総数	男	女
受診者数(A)	580	171	409
PG陰性 HP陰性 Aタイプ	459	141	318
PG陰性 HP陽性 Bタイプ	94	15	79
PG陽性 HP陰性 Cタイプ	10	6	4
PG陽性 HP陽性 Cタイプ	17	9	8
要精検者数(B)	27	15	12
精検受診者数(C)	22	13	9
癌、癌疑い者数(D)	0	0	0
境界域(Ⅲ)者数	0	0	0
要精検率(B/A)	4.7%	8.8%	2.9%
精検受診率(C/A)	81.5%	86.7%	75.0%
癌、癌疑い診断率(D/A)	0.0%	0.0%	0.0%

40代		50代		60代		70代		80以上	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
14	71	20	85	65	148	57	88	15	17
11	57	16	68	58	114	43	66	13	13
2	13	4	17	0	28	8	19	1	2
0	1	0	0	1	0	5	1	0	2
1	0	0	0	6	6	1	2	1	0



性別タイプ割合

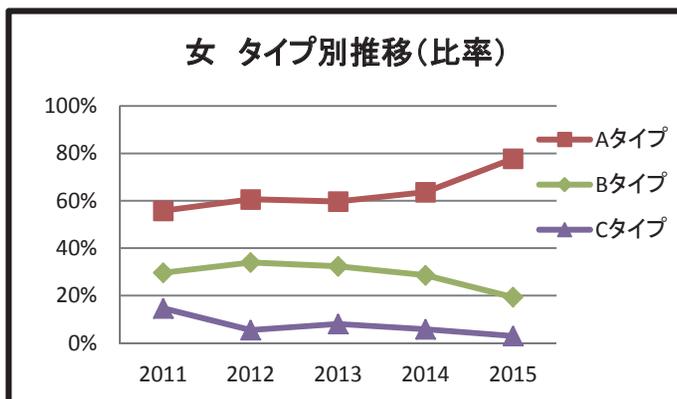
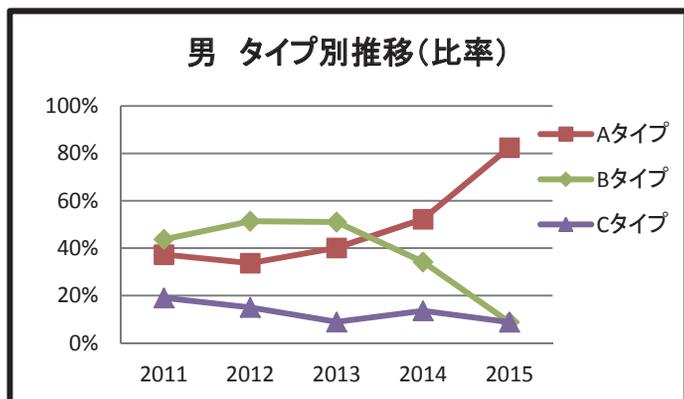
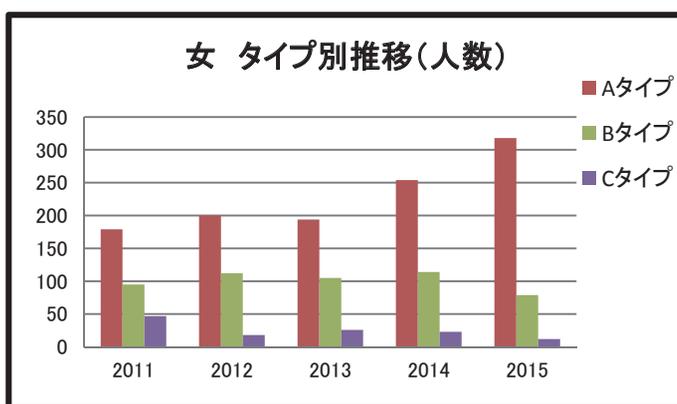
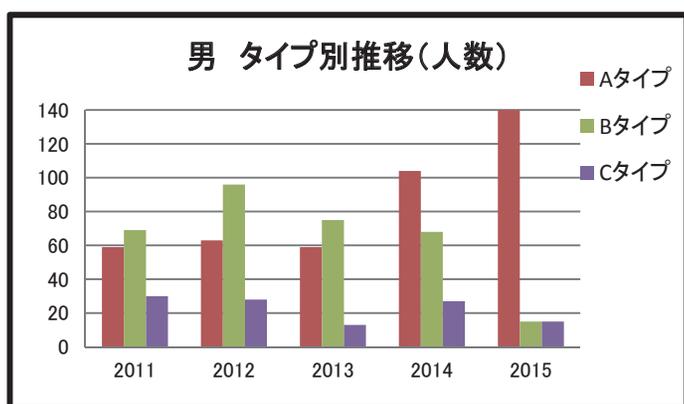


～過去5年間の推移～

胃がん検診 タイプ別年次推移

性	検診年度	2011		2012		2013		2014		2015	
男	受診者数										
	タイプ別	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
	Aタイプ	59	37.3%	63	33.7%	59	40.1%	104	52.3%	141	82.5%
	Bタイプ	69	43.7%	96	51.3%	75	51.0%	68	34.2%	15	8.8%
Cタイプ	30	19.0%	28	15.0%	13	8.8%	27	13.6%	15	8.8%	
女	受診者数										
	タイプ別	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
	Aタイプ	179	55.8%	200	60.6%	194	59.7%	254	63.7%	318	77.8%
	Bタイプ	95	29.6%	112	33.9%	105	32.3%	114	28.6%	79	19.3%
Cタイプ	47	14.6%	18	5.5%	26	8.0%	23	5.8%	12	2.9%	

(注) Aタイプ (PG陰性 HP陰性) Bタイプ (PG陰性 HP陽性) Cタイプ (PG陽性 HP陰性、又はPG陽性 HP陽性)



①経年的には、男性・女性ともに健康な状態であるAタイプの割合が増加している。しかしながら、「ABC検診を用いて正しく胃がんのリスクを評価するためのポイント」として、「まず問診でピロリ菌の除菌の既往を確認することが必要であり、ピロリ菌除菌成功後はE (Eradication : 除菌) 群としてA～D群とは別に扱う必要がある。」ことが指摘されている(微研ジャーナル友、2014)。その理由としては、「除菌後のA群は、(ピロリ菌に感染したことがない) 純粋なA群とは違い、胃がんリスクが残存している。」とされ、さらに「胃がんの残存リスクは除菌前後の胃粘膜の状態に依存するため、除菌後も定期的な内視鏡検査が必要となる。」とされている(出典：同前)。

②現在、ABC検診が全国的に普及しつつある状況の中で、今後もこのような指摘がさらに出てくる可能性があり、当健診センターとしても、ABC検診の実施方法や結果報告のあり方などについて、学術的な知見を注視しながら、さらに検討を行っていく必要があると考えられる。

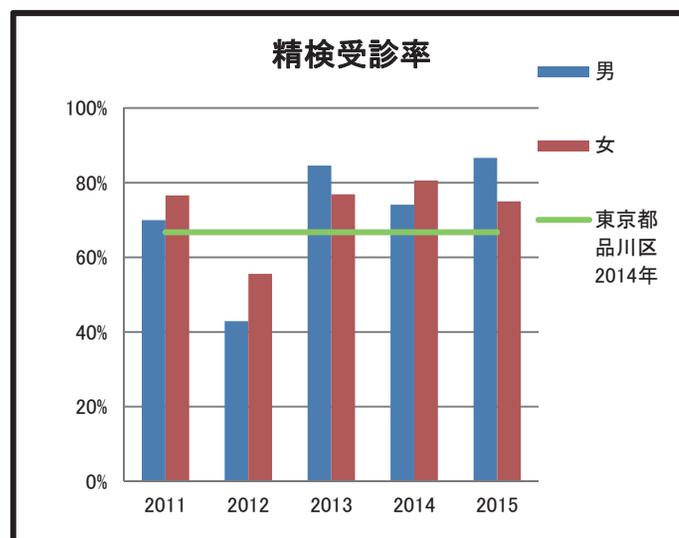
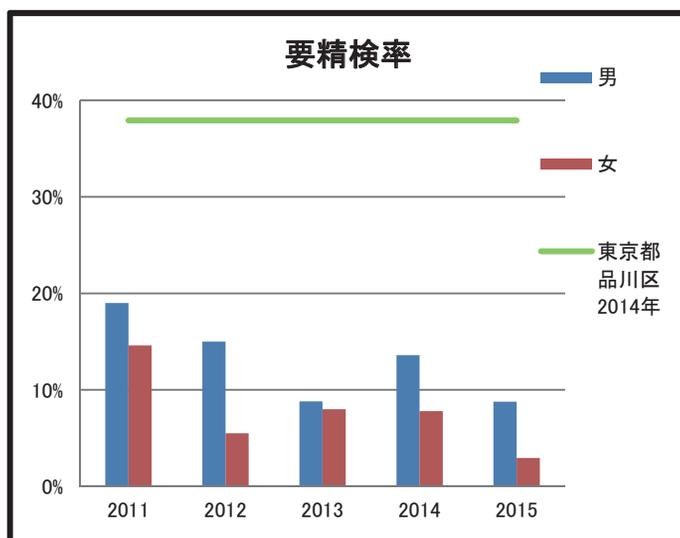
要精検者状況 (年度別推移)

	性別	2011	2012	2013	2014	2015	東京品川区 13年 *1	東京品川区 13年 *2
要精検率	男	19.0%	15.0%	8.8%	13.6%	8.8%	41.8%	37.9%
	女	14.6%	5.5%	8.0%	7.8%	2.9%		
精検受診率	男	70.0%	42.9%	84.6%	74.1%	86.7%	60.3%	66.7%
	女	76.6%	55.6%	76.9%	80.6%	75.0%		
癌又は癌疑い 診断者数	男	1	0	0	2	0		
	女	0	0	0	0	0		
癌、癌疑い診断率 *3	全体	0.2%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.3%	0.5%

参考資料 *1 *2 特定非営利活動法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構「Gastro-HealthNow」第18号2011.9.15より抜粋

*3 当法人の癌、癌疑いは胃生検組織分類の第4群第5群を集計したものである。

——— 東京目黒区 (2014年度男女)



要精検率は、各年度とも男性が女性よりも高い。経年的にみると男性については、要精検率は減少傾向にある様に考えられる。東京品川区の2013年度の率と比較すると、各年度とも当健診センターの結果はかなり低率である。

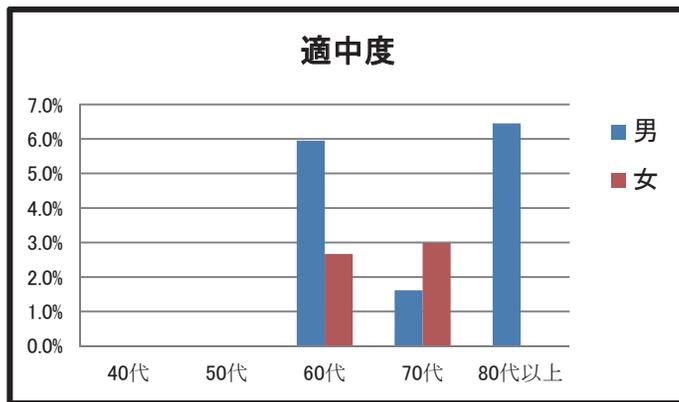
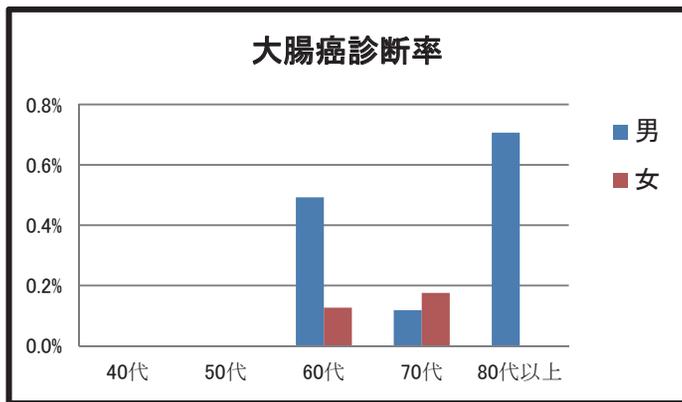
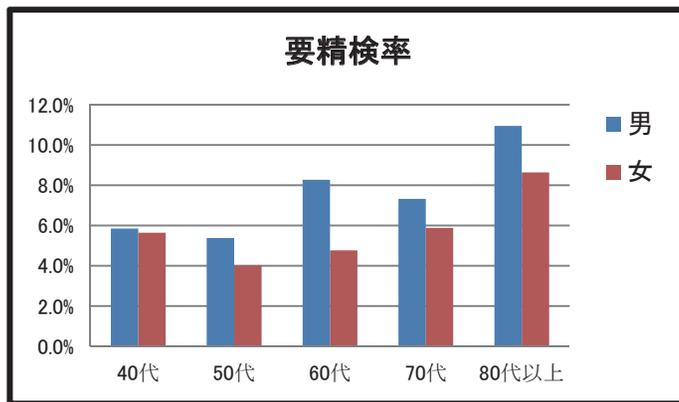
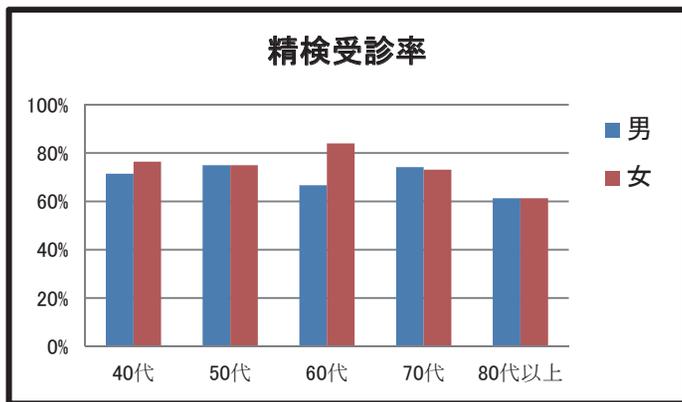
精検受診率は、経年的には男性・女性ともにほぼ横ばいと言える。東京品川区の2013年度の率と比較すると、当健診センターの結果は10%程度高率である。

4. 大腸がん検診（便潜血検査） 有所見者状況

当法人における大腸がん検診は、主に出雲市からの受託事業等で、便に血液が混入しているか否かを検査する便潜血検査である。大腸がんの発見には、この検査が有効であるとされているが、潰瘍やポリープ、痔でも血液が混じることがあるため、この検査結果では、大腸がんという確定はできない。確定診断をするために精密検査を受ける必要がある。大腸がんは、早期発見すれば、ほぼ100%近く完治すると言われていたが、一般的には自覚症状がない為、無症状の時期に発見することが重要となる。以下、当法人にて2015年度の状況及び2011年から2015年度までの5ヵ年間に於ける年代別受診者数、要精検査者数、癌診断数、要精検査率等を表に示した。また全体の要精検査率、精検査受診率、癌診断率、的中度の年度別推移を表とグラフで示し、島根県及び全国のデータと比較した。

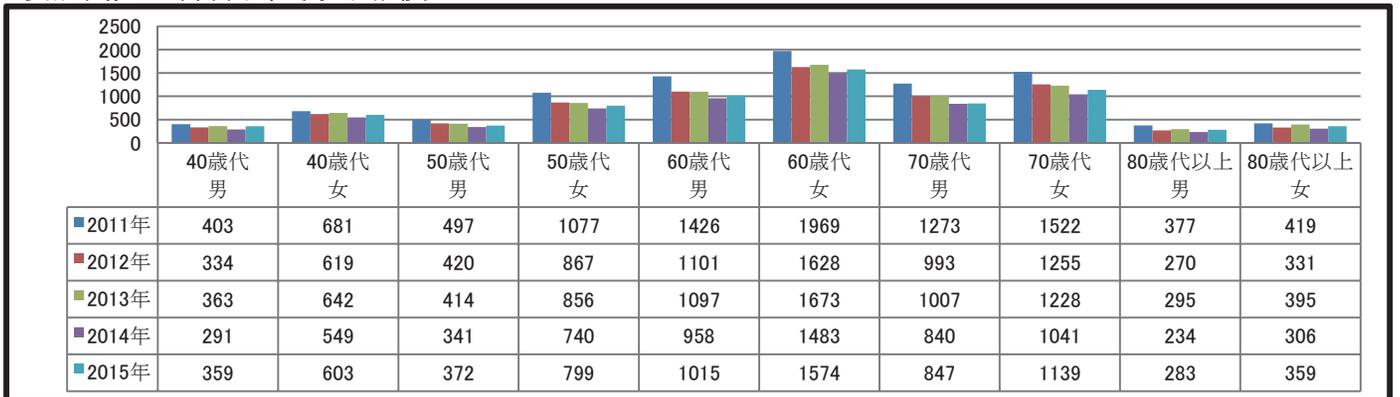
～2015年度 結果～

	合計	男	女	40代		50代		60代		70代		80代UP	
				男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
申込み者数	7,785	3,095	4,690	421	662	403	838	1075	1622	883	1193	313	375
受診者数 (A)	7,350	2,876	4,474	359	603	372	799	1015	1574	847	1139	283	359
要精検査者数 (B)	457	218	239	21	34	20	32	84	75	62	67	31	31
精検査受診者数 (C)	332	151	181	15	26	15	24	56	63	46	49	19	19
癌診断数 (D)	12	8	4	0	0	0	0	5	2	1	2	2	0
要精検査率 (B/A)	6.2%	7.6%	5.3%	5.8%	5.6%	5.4%	4.0%	8.3%	4.8%	7.3%	5.9%	11.0%	8.6%
精検査受診率 (C/B)	72.6%	69.3%	75.7%	71.4%	76.5%	75.0%	75.0%	66.7%	84.0%	74.2%	73.1%	61.3%	61.3%
癌診断率 (D/A)	0.2%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.1%	0.1%	0.2%	0.7%	0.0%
適中度 (D/B)	2.6%	3.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	2.7%	1.6%	3.0%	6.5%	0.0%

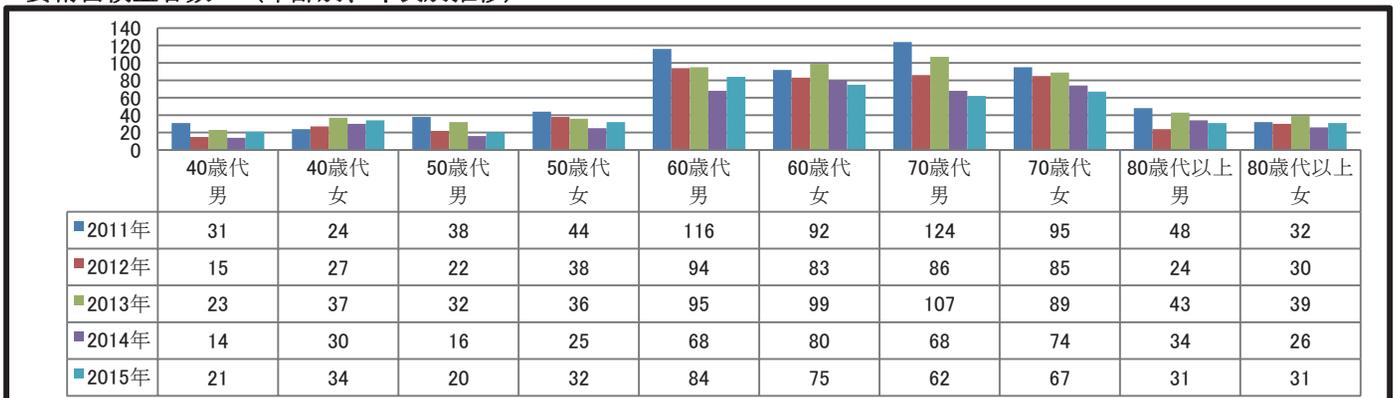


～過去5年間の推移～

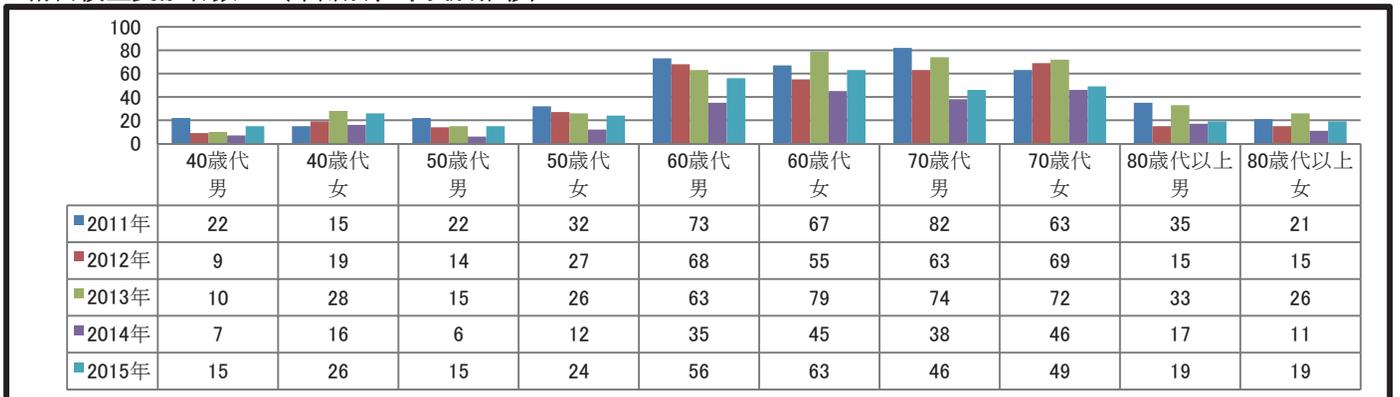
受診者数 (年齢別、年次別推移)



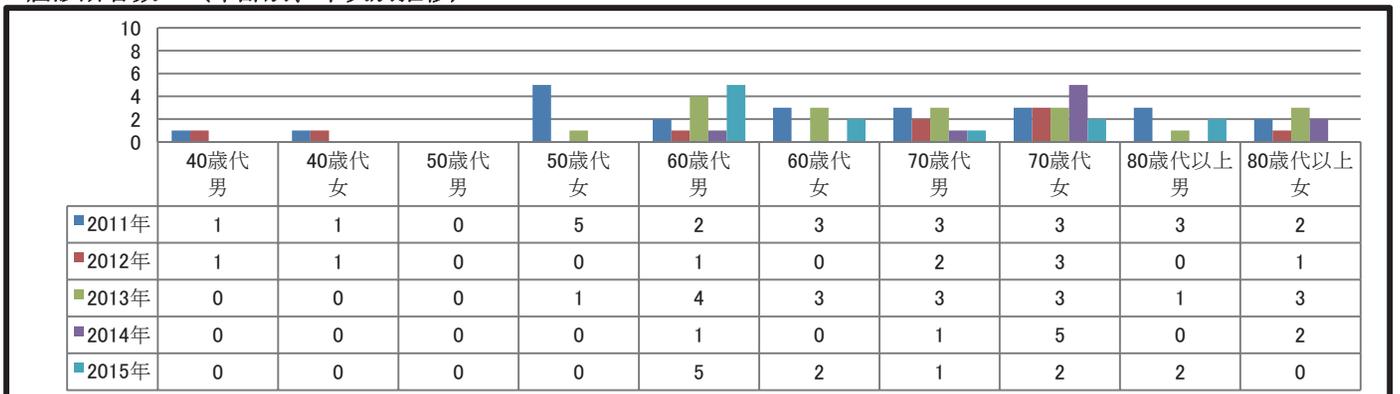
要精密検査者数 (年齢別、年次別推移)



精密検査受診者数 (年齢別、年次別推移)



癌診断者数 (年齢別、年次別推移)



全体 (男女別、年次別推移)

		2011	2012	2013	2014	2015
要精検率	男	9.0%	7.7%	9.4%	7.5%	7.6%
	女	5.1%	5.6%	6.3%	5.7%	5.3%
	総計(率)	6.7%	6.4%	7.5%	6.4%	6.2%
精検受診率	男	65.5%	70.1%	65.0%	51.5%	69.3%
	女	69.0%	70.3%	77.0%	55.3%	75.7%
	総計(率)	67.1%	70.2%	71.0%	53.6%	72.6%
癌診断率	男	0.3%	0.1%	0.3%	0.1%	0.3%
	女	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%
	総計(率)	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%
適中度	男	3.4%	1.7%	2.7%	1.0%	3.7%
	女	3.1%	1.9%	3.3%	3.0%	1.7%
	総計(率)	3.3%	1.8%	3.0%	2.1%	2.6%

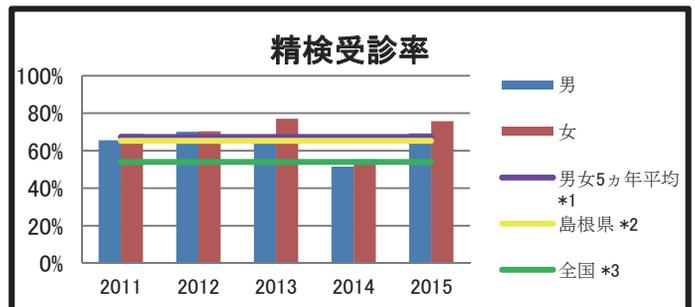
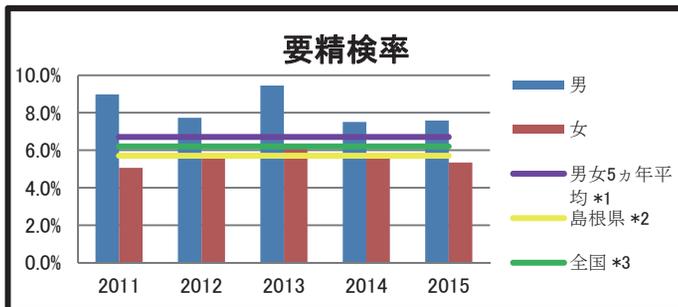
当法人での大腸がん検診(2011年から2015年の5ヶ年平均)と島根県及び全国データとの比較

	当法人検診*1 総数(年平均)	当法人検診*1 男(年平均)	当法人検診*1 女(年平均)	島根県*2 総数(2013年)	全国*3 総数(2013年)
申込み者数(人)	8,671.2	3,533.8	5,137.4		
受診者数(人)・・・(A)	7,913.0	3,162.0	4,751.0	67,698	7,032,584
要精検査者数(人)・・・(B)	528.0	263.2	264.8	3,840	437,485
要精検査者率・・・(B/A)	6.7%	8.3%	5.6%	5.7%	6.2%
精検受診者数(人)・・・(C)	355.4	170.4	185.0	2,503	236,011
精検受診者率・・・(C/B)	67.3%	64.7%	69.9%	65.2%	53.9%
癌診断数(人)・・・(D)	13.8	6.8	7.0	131	9,101
癌診断率・・・(D/A)	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%
適中度・・・(D/B)	2.6%	2.6%	2.6%	3.4%	2.1%

*1 は当法人の2011年から2015年度までの5年間平均値を表示

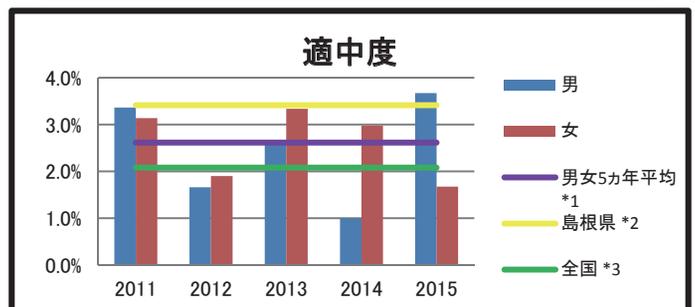
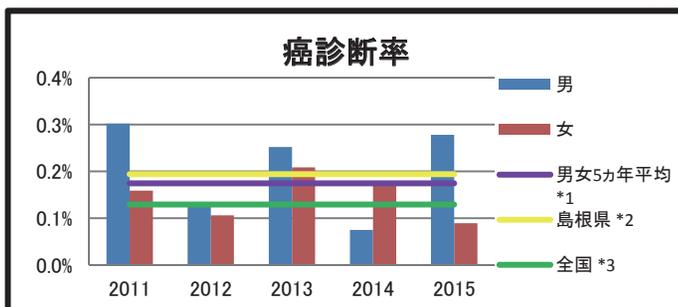
*2,3 は社団法人日本消化器がん検診学会「平成25年消化器がん検診全国集計資料集」より抜粋

— *1当法人男女5ヶ年平均(率)ライン — *2島根県集計 2013年度男女総計(率)ライン — *3全国集計 2013年度男女総計(率)ライン



要精検率は、経年的には男性・女性とも横ばい傾向であり、男性は女性よりも約3%高い率である。男性女性を合わせた5年間平均は、6.7%と全国及び島根県集計より高い率となっている。

要検受診であり、男性は女性よりもばらつきはあるが平均して約5%高い率である。男性女性を合わせた5年間平均は、67.3%と全国及び島根県集計より高い率となっている。率は、経年的には男性・女性とも横ばい傾向



癌診断率および適中度は、経年的にはばらつきはみられるが、ほぼ横ばい傾向である。5年間の平均では、癌診断率は0.2%、適中度は2.6%と、ともに全国及び島根県集計とほぼ同様の水準となっている。

5. 学校保健

① 血液検査 ～過去5年間の推移～

近隣の小学校・中学校及び主に県東部の高等学校から検査を受託している。検査項目は、主に白血球・ヘモグロビン（貧血検査）・総コレステロール・HDL-コレステロールである。

小学生・中学生・高校生の基準値は、別々に設定し、中学生・高校生のみ男女別に設定した。

動脈硬化指数（AI）については、総コレステロールとHDL-コレステロールから計算で求め判定した。以下、2011年度から2015年度までの実施人数と要精査率の推移を表とグラフで示した。

実施人数

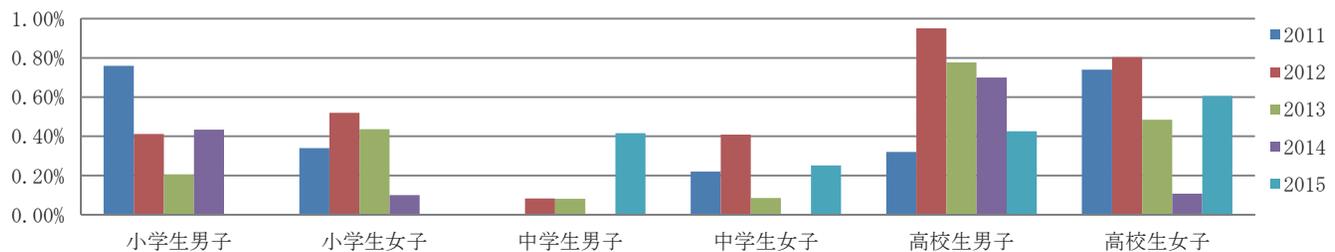
(人)

	2011	2012	2013	2014	2015
小学生男子	1058	972	973	922	899
小学生女子	1,189	961	917	996	930
中学生男子	1,369	1,209	1,232	1,171	1,201
中学生女子	1,334	1,225	1,177	1,219	1,193
高校生男子	944	946	901	1000	940
高校生女子	809	746	1031	931	825
計	6,703	6,059	6,231	6,239	5,988

A 白血球数（年度別要精査率）

	2011	2012	2013	2014	2015
小学生男子	0.76%	0.41%	0.21%	0.43%	0.00%
小学生女子	0.34%	0.52%	0.44%	0.10%	0.00%
中学生男子	0.00%	0.08%	0.08%	0.00%	0.42%
中学生女子	0.22%	0.41%	0.08%	0.00%	0.25%
高校生男子	0.32%	0.95%	0.78%	0.70%	0.43%
高校生女子	0.74%	0.80%	0.48%	0.11%	0.61%

白血球数 要精査率(年次別推移)

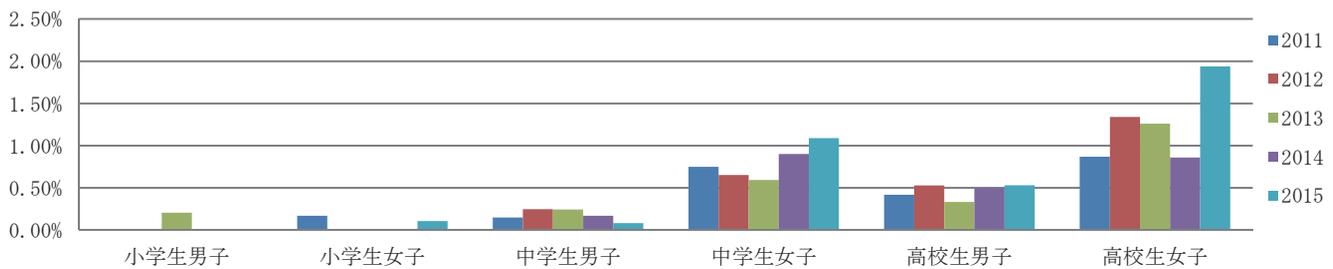


白血球の要精査率は、中学生が小学生・高校生より低いように見えるが、白血球数は検査時に風邪などの感染症により偶発的に異常を示すことがあるため、児童・生徒別または男女別そして経年推移も一定の傾向はみられない。

B ヘモグロビン (Hb) (年度別要精査率)

	2011	2012	2013	2014	2015
小学生男子	0.00%	0.00%	0.21%	0.00%	0.00%
小学生女子	0.17%	0.00%	0.00%	0.00%	0.11%
中学生男子	0.15%	0.25%	0.24%	0.17%	0.08%
中学生女子	0.75%	0.65%	0.59%	0.90%	1.09%
高校生男子	0.42%	0.53%	0.33%	0.50%	0.53%
高校生女子	0.87%	1.34%	1.26%	0.86%	1.94%

ヘモグロビン 要精査率(年次別推移)

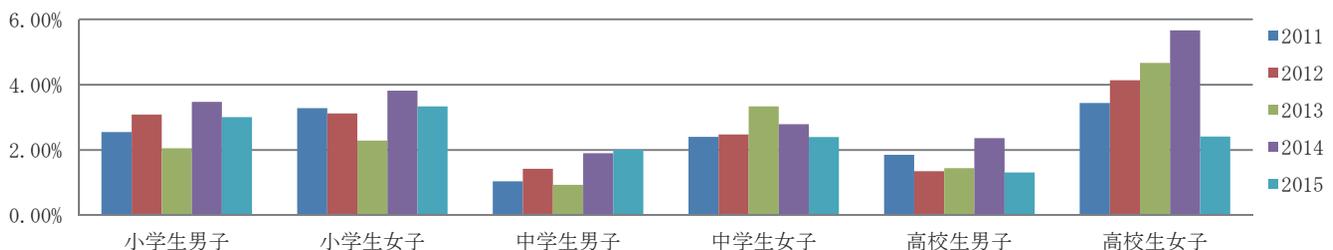


ヘモグロビンの要精査率は、中学生と高校生の女子が男子に比べて高い。これは生理が始まる年齢であり、それに伴う貧血傾向を表しているものと考えられる。
また男子も小学生に比べ中学生・高校生の要精査率が高い傾向にある。思春期の偏食やダイエットによる鉄分の不足などに起因しているとの考え方もあり、注意が必要と考えられる。

C 総コレステロール (年度別要精査率)

	2011	2012	2013	2014	2015
小学生男子	2.55%	3.09%	2.06%	3.47%	3.01%
小学生女子	3.28%	3.12%	2.29%	3.82%	3.33%
中学生男子	1.04%	1.42%	0.93%	1.90%	2.01%
中学生女子	2.40%	2.48%	3.34%	2.79%	2.40%
高校生男子	1.85%	1.35%	1.44%	2.36%	1.31%
高校生女子	3.44%	4.14%	4.67%	5.66%	2.41%

総コレステロール 要精査率(年次別推移)



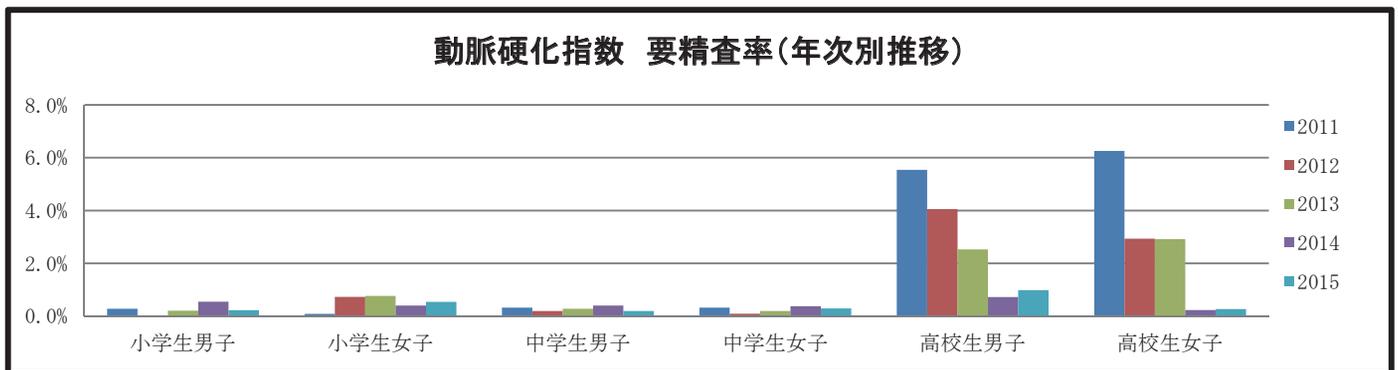
総コレステロールの要精査率は、最近では2%前後となっており、小学生・中学生・高校生の区別や男子・女子の区別による一定の傾向はみられない。

D 動脈硬化指数 (AI) (年度別要精査率)

動脈硬化指数とは

動脈硬化指数(AI)とは、動脈硬化を起こしやすいかどうか、その指数を調べるものである。総コレステロール値からHDL-コレステロール値を引き、出た数値をさらにHDL-コレステロール値で除して値を求める。

	2011	2012	2013	2014	2015
小学生男子	0.28%	0.00%	0.21%	0.54%	0.22%
小学生女子	0.08%	0.73%	0.76%	0.40%	0.54%
中学生男子	0.32%	0.19%	0.28%	0.40%	0.19%
中学生女子	0.32%	0.09%	0.19%	0.37%	0.29%
高校生男子	5.54%	4.05%	2.52%	0.72%	0.98%
高校生女子	6.26%	2.93%	2.92%	0.23%	0.27%



動脈硬化指数の要精査率は、小学生・中学生に比べ高校生にかなり高く出ている時期も見られたが、近年では小学生・中学生・高校生の区別や男子・女子の区別による一定の傾向は認められない。

② 心電図検査 ～過去5年間の推移～

近隣の中学校及び主に県東部の高等学校から検査を受託している。以下、2011年度から2015年度までの実施人数及び各判定率の推移を表にした。要精査率の推移は、グラフで示した。

検査人数

	2011	2012	2013	2014	2015
中学生 男子	594	361	354	203	208
中学生 女子	572	348	341	223	186
高校生 男子	2,548	2,540	2,414	1,792	1,510
高校生 女子	2,353	2,038	1,976	1,557	1,304
計	6,067	5,287	5,085	3,775	3,208

各判定率推移

中学生 男子	2011	2012	2013	2014	2015	島根集計*1	全国集計*2
要精査率	3.70%	1.66%	1.98%	3.45%	1.44%	4.50%	3.56%
要経過観察率	1.18%	0.83%	0.85%	0.99%	1.44%		
放置可率	0.34%	0.55%	0.85%	0.99%	0.96%		

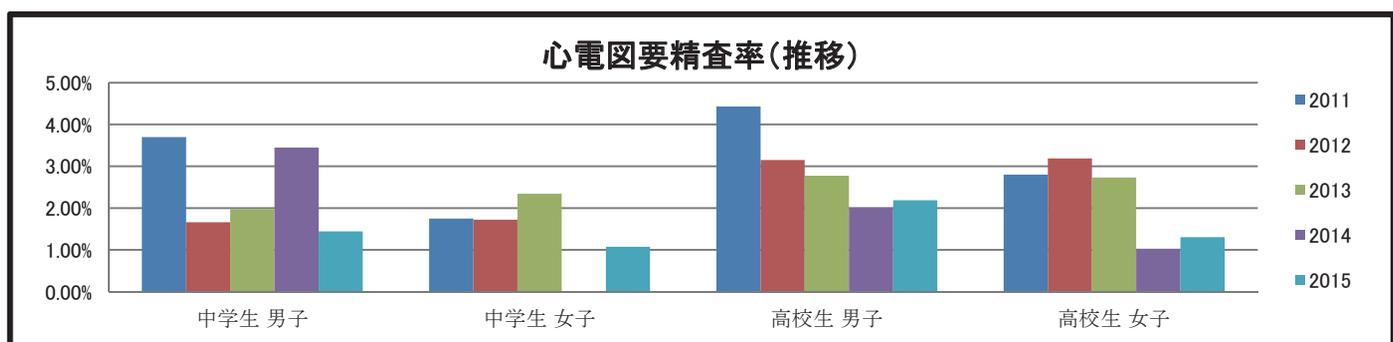
中学生 女子	2011	2012	2013	2014	2015	島根集計*1	全国集計*2
要精査率	1.75%	1.72%	2.35%	0.00%	1.08%	2.30%	2.77%
要経過観察率	0.70%	0.57%	0.88%	0.45%	1.61%		
放置可率	0.52%	0.00%	0.88%	0.45%	0.00%		

高校生 男子	2011	2012	2013	2014	2015	島根集計*1	全国集計*2
要精査率	4.43%	3.15%	2.78%	2.01%	2.19%	3.00%	4.05%
要経過観察率	0.86%	0.55%	0.50%	0.56%	0.93%		
放置可率	0.47%	0.71%	0.91%	0.56%	0.46%		

高校生 女子	2011	2012	2013	2014	2015	島根集計*1	全国集計*2
要精査率	2.80%	3.19%	2.73%	1.03%	1.30%	1.80%	2.60%
要経過観察率	0.55%	0.59%	0.51%	0.19%	1.15%		
放置可率	0.68%	0.74%	0.91%	0.64%	0.46%		

参考資料 島根県政策企画局統計調査課「平成27年度学校保健統計調査島根県調査結果報告書」より抜粋

*1島根県集計 *2 全国集計 但し、*2全国集計は、男女別表記の記載なし。



心電図の要精査率は、経年的に2～3%前後で推移しており、高校生の男子と女子でやや高率となる傾向が見られる。島根県と全国の状況は、表に示すとおりである。

なお、学年が進むほど要精査率が高率となる理由として、「年長になるにつれ、運動量が増加すること、思春期に迷走神経過緊張になること、不顕性心筋炎などが原因として考えられている。」との指摘があり（ちば県民保健予防財団調査研究ジャーナル、2013）、参考意見として引用しておく。

③ 尿検査 ～過去5年間の推移～

近隣の幼稚園・小学校・中学校及び主に県東部の高等学校から受託し、尿中の蛋白・糖・潜血の検査を実施している。2011年度から2015年度までの実施人数と各項目の要精査率の推移を表及びグラフで示した。

検査人数

	2011	2012	2013	2014	2015
幼稚園	1,947	2,187	1,978	2,104	2,037
小学校	12,345	12,092	11,955	11,748	11,587
中学校	6,396	6,301	6,385	6,367	6,366
高等学校	13,193	12,524	11,802	13,368	12,746
合計	33,881	33,104	32,120	33,587	32,736

*幼稚園は保育所を含む

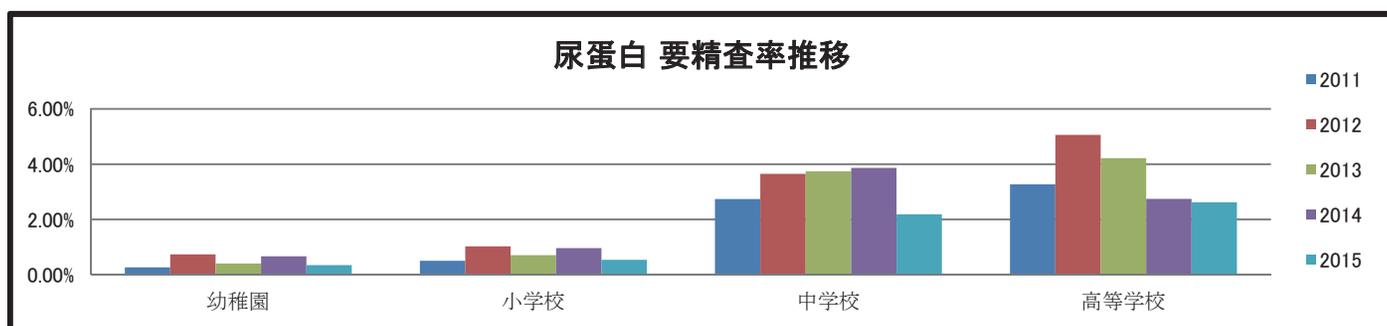
要精査率年次推移

参考資料

*1・*2 島根県政策企画統計調査 「平成27年学校保健統計調査島根県調査結果報告書」による。

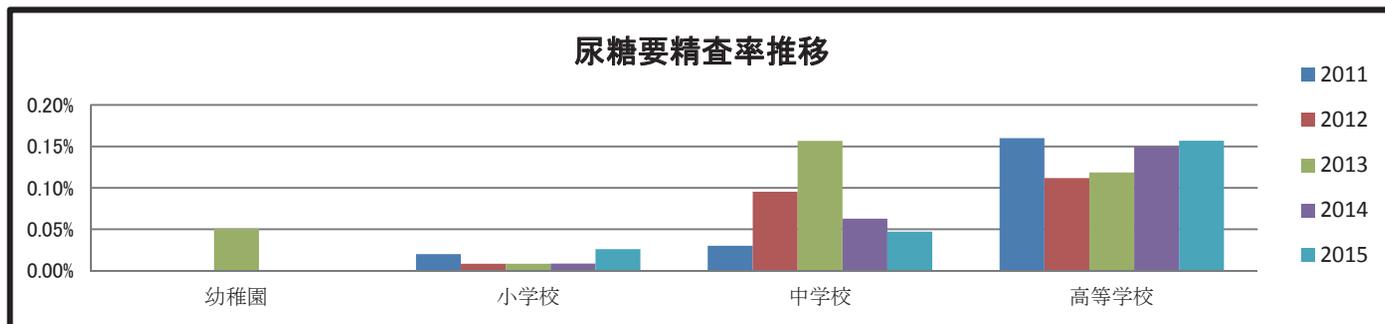
A 尿蛋白 要精査率

	2011	2012	2013	2014	2015	島根県集計*1	全国集計 *2
幼稚園	0.26%	0.73%	0.40%	0.67%	0.34%		0.76%
小学校	0.50%	1.03%	0.70%	0.96%	0.54%	1.10%	0.80%
中学校	2.74%	3.65%	3.74%	3.86%	2.18%	3.00%	2.91%
高等学校	3.27%	5.06%	4.22%	2.75%	2.62%	3.00%	2.95%



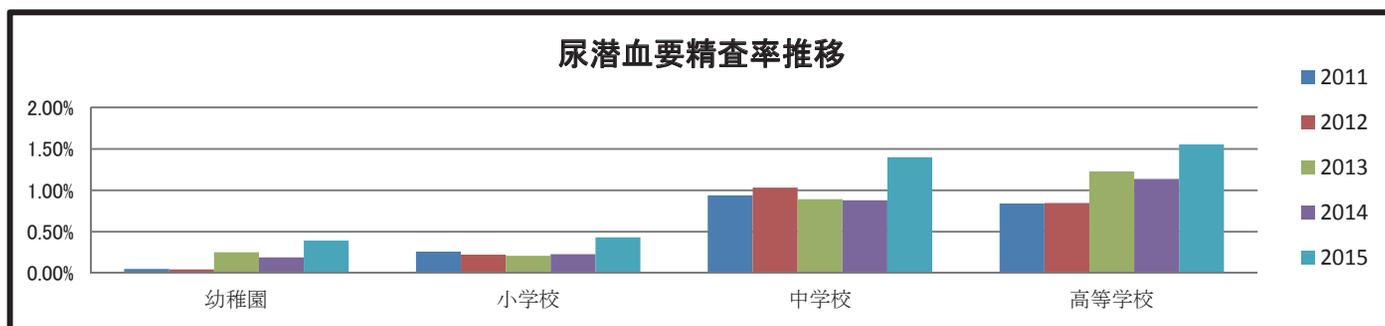
B 尿糖 要精査率

	2011	2012	2013	2014	2015	島根県集計*1	全国集計 *2
幼稚園	0%	0%	0.05%	0%	0%		
小学校	0.02%	0.01%	0.01%	0.01%	0.03%	0%	0.06%
中学校	0.03%	0.10%	0.16%	0.06%	0.05%	0.20%	0.15%
高等学校	0.16%	0.11%	0.12%	0.15%	0.16%	0.20%	0.22%
							平均



C 尿潜血 要精査率

	2011	2012	2013	2014	2015
幼稚園	0.05%	0.05%	0.25%	0.19%	0.39%
小学校	0.26%	0.22%	0.21%	0.23%	0.43%
中学校	0.94%	1.03%	0.89%	0.88%	1.40%
高等学校	0.84%	0.85%	1.23%	1.14%	1.55%



尿蛋白と尿潜血の要精査率は、中学生・高校生ともに同じ傾向がみられる。尿糖の要精査率は、小学生・中学生に比べ、高校生は高く出ている。尿蛋白と尿糖の島根県及び全国の状況は表に示すとおりである。なお、近年では、糖尿病性腎症が原因で透析となる患者は増加傾向にある一方で、慢性腎炎が原因で透析となる患者は減少傾向にある。この理由として、「治療法の進歩にもよるが、学校検尿で腎炎が見つかって早期に治療を受けて透析に入るのを回避できた患者が多いことも大きな要因になっている。」との指摘があり（ちば県民保健予防財団調査研究ジャーナル、2013）、参考意見として引用しておく。